銀河戦国群雄伝
ライ
2
COMP COMICS DX
銀河戦国群雄伝ライ
2
真鍋譲治
真鍋譲治
COMP COMICS DX
CD-7-2
角川書店

ISBN4-04-712013-8 C0379 P890E

COMP COMICS DX

# 銀河戦国群雄伝ライ 2

真鍋譲治

CD-7-2
角川書店
角川書店
定価890円
本体864円

●真鍋譲治作品

| | |
|---|---|
| 天の神々たち | DRAGON COMICS |
| 銀河戦国群雄伝ライ❶❷ | COMP COMICS DX |

●COMP COMICS

| | |
|---|---|
| 宇宙英雄物語❶❷❸ | 伊東岳彦 |
| 1・2・3でキメてあげる❶❷❸ | 大宮直樹 |
| ちぇりーげいる金❶ | 中澤慶也 |
| 刑事剣士Xカリバー❶❷❸❹ | 菅原雪幸 |
| ラプラスの魔 | MEIMU |
| ヤンキー❶❷❸ | 山本よしふみ |
| トンガリポテチ | 中村大悟 |
| ストライダー飛竜 | 和田たつみ |
| てっぺー参上 | 中津賢也 |
| 爆走CITY | 田中正仁 |
| 卒業写真 | MEIMU |
| めたもる伊介❶❷ | 中津賢也 |

●COMP COMICS DX

| | |
|---|---|
| サイレントメビウス❶❷ | 麻宮騎亜 |
| 精霊伝説ヒューティー❶❷ | 大野安之 |
| トラコンウォーズ | 松田洋仙 |
| エルテガイン❶❷ | 円 美喜 |
| イース❶❷ | 羽衣 剛 |
| 地球防衛少女イコちゃん❶ | あさりよしとお |

コミック 月刊コンプ

毎月26日発売 角川書店

COMP COMICS DX

# 銀河戦国群雄伝ライ

2

真鍋議治

℗
CD-7-2
角川書店

COMP COMICS DX

# 銀河戦国群雄伝ライ

2

真鍋議治

CD-7-2
角川書店

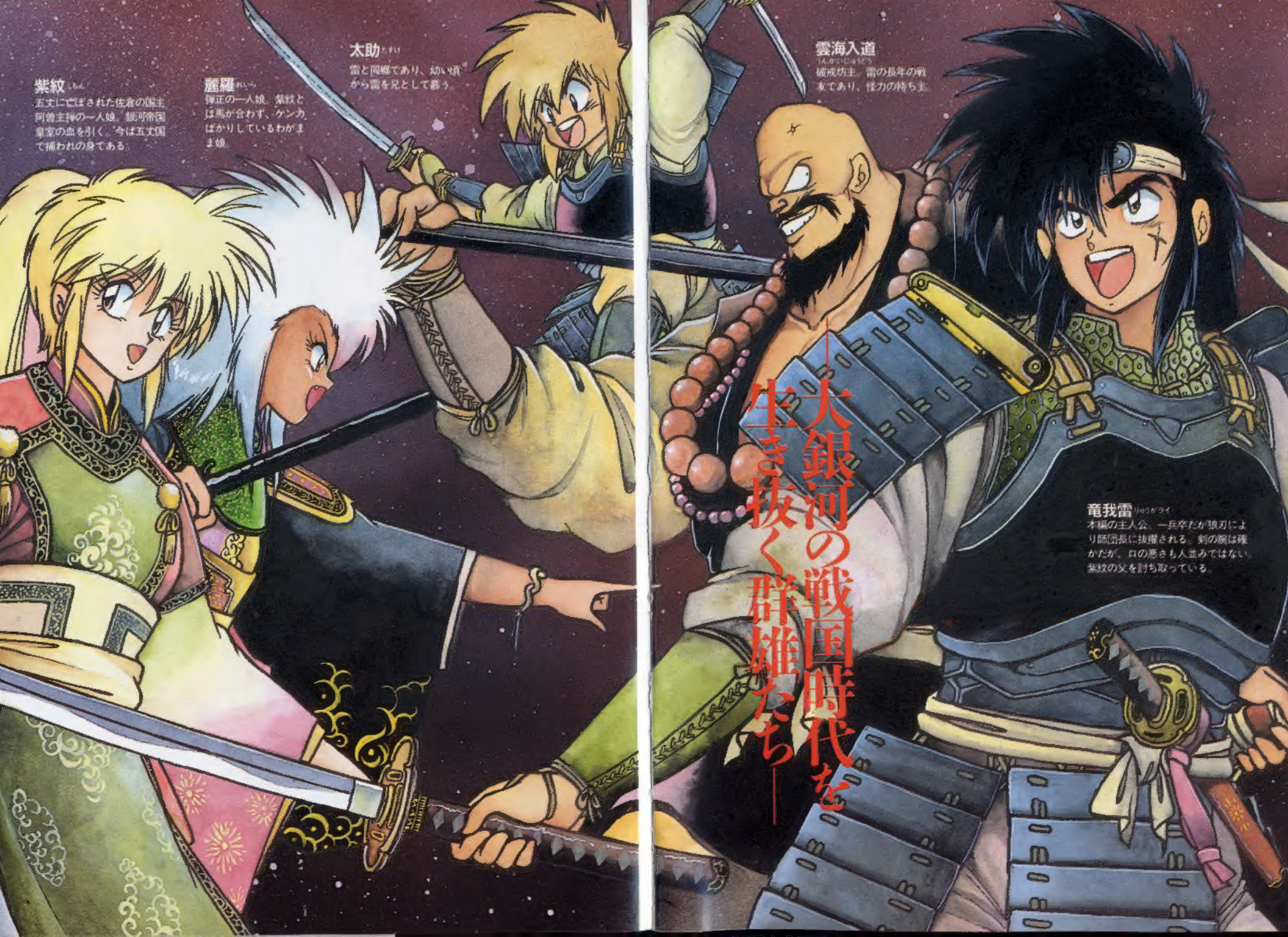
by Joji Manabe

● ARTIST
JOJI MANABE

● EDITOR
NAOAKI ARAKAWA
ANRI KOMATSU

● BOOK DESIGN
TETSUYA ASAKURA

● SPECIAL THANKS TO
MASAHIKO YAMASHITA
HIROYUKI HIRAYAMA
YUSUKE MATSUO
HIDEMASA IDEMITSU


紫紋
五丈にてほろぼされた佐倉の国主阿曽主税の一人娘。銀河帝国皇室の血を引く。今は五丈国で捕われの身である。
麗羅
弾正の一人娘。紫紋とは馬が合わず、ケンカばかりしているわがまま娘。
太助
雷と同郷であり、幼い頃から雷を兄として慕う。
雲海入道
破戒坊主。雷の長年の戦友であり、怪力の持ち主。
竜我雷
本編の主人公。一兵卒だが独刃により師団長に抜擢される。剣の腕は確かだが、口の悪さも人並みではない。紫紋の父を討ち取っている。
―大銀河の戦国時代を生き抜く群雄たち―

華玉
女偉将軍の謀臣。天文に通じ、五丈の行く末に不安を抱く李張道師の愛弟子。
独眼竜正宗
飛竜
剛志
雷神
羅刹

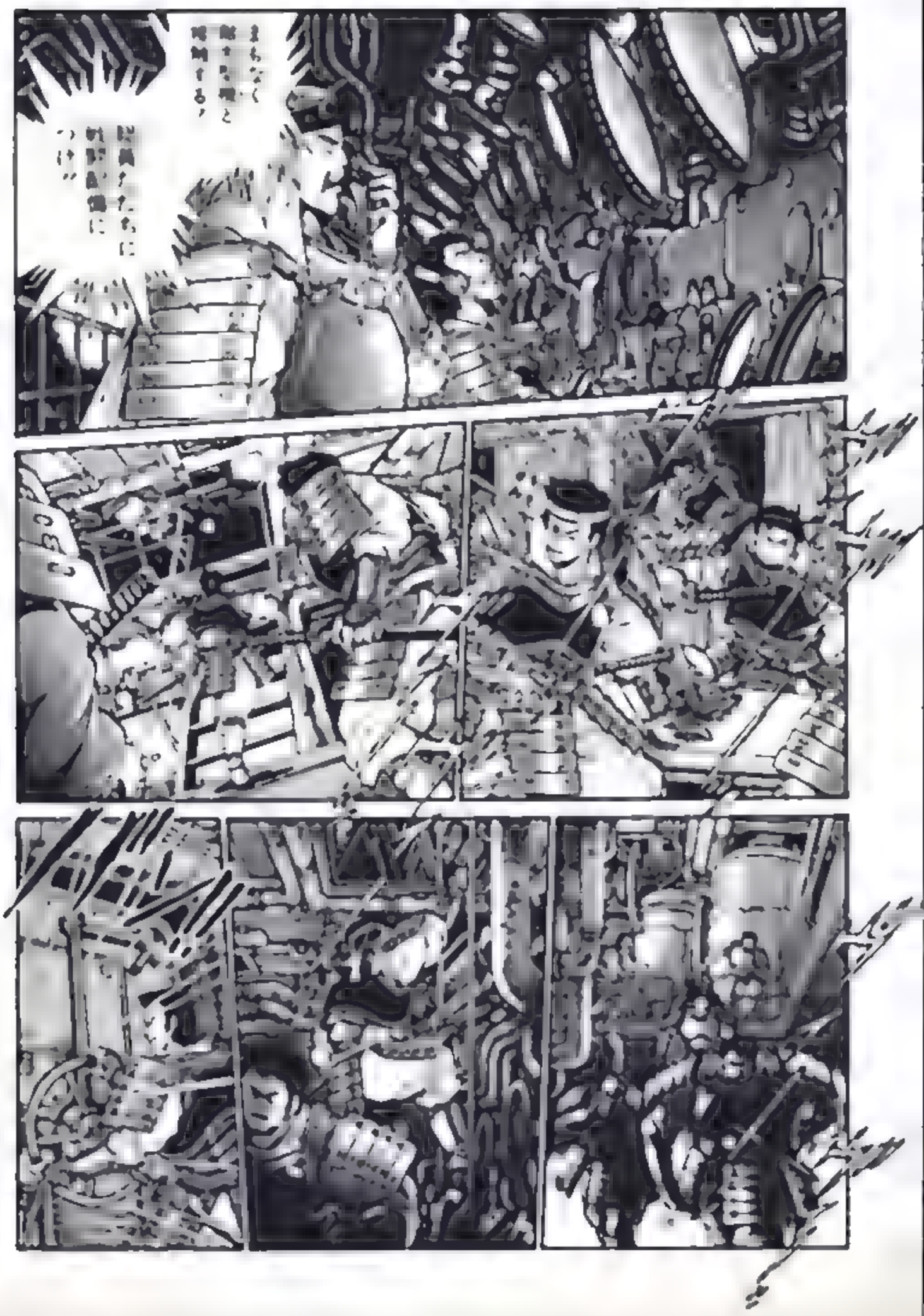
比紀弾正
五丈国国主。元銀可帝国左将軍。雄雄を決すべく、南天に侵攻する。
骸羅
五丈四天王の一人。南征において後詰めを命じられ、大いに不満である。
孟闇
狼刃
五丈四天王の一人。智勇を兼ね備えた勇将で、軍の才能を見抜き、南征の先鋒を命じる。

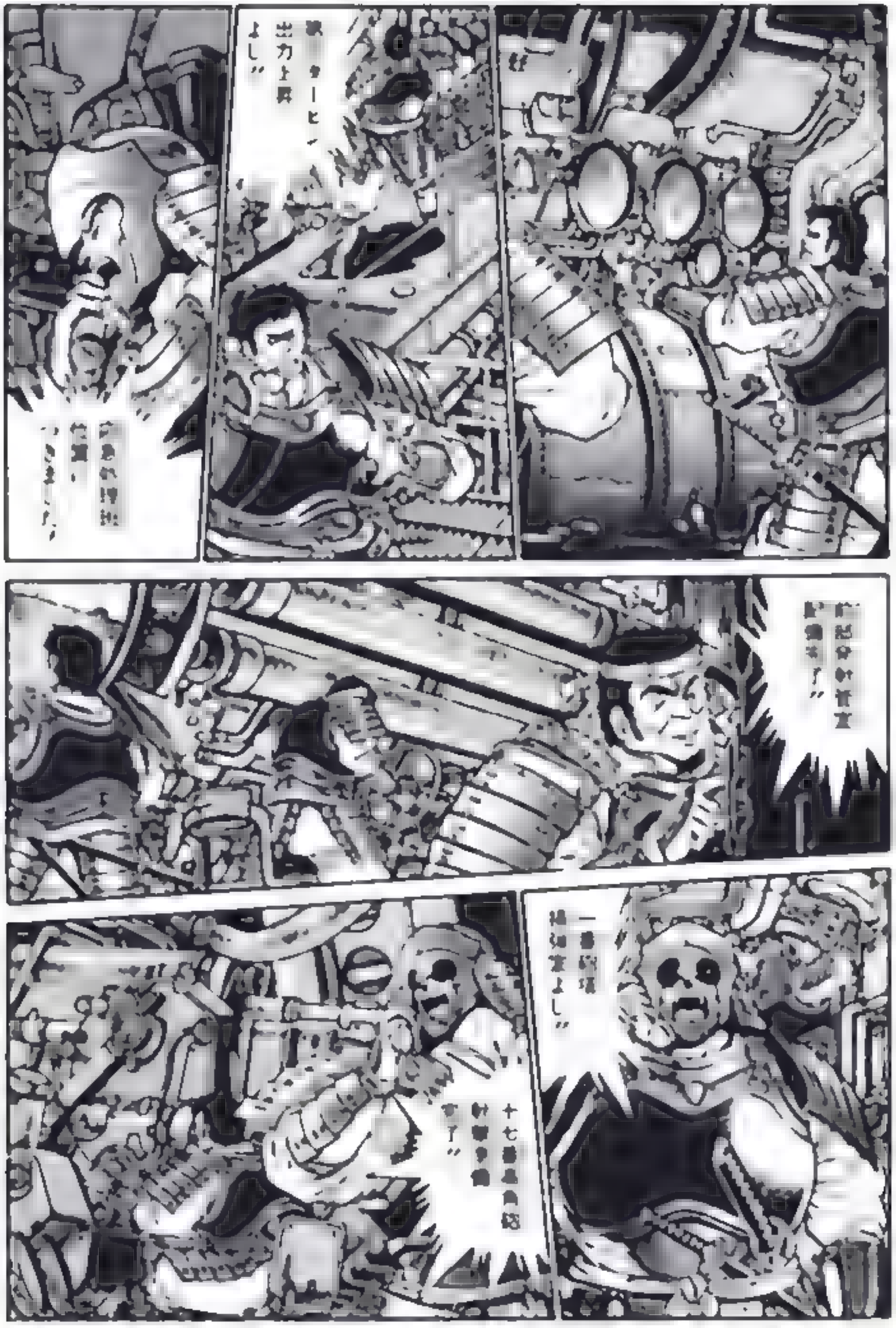
神聖銀河帝国皇帝の崩御により
衰退した帝国に代わって
銀河統一を目論んだのは
元帝国将官の比紀弾正であった

弾正は北天を征圧し
四天王を中枢とした五丈軍を引き連れて
さらに南天へと攻めのぼる

そしてその先鋒の師団長に抜擢されたのが
元突撃中隊の一兵卒にすぎなかった
竜我雷であった……

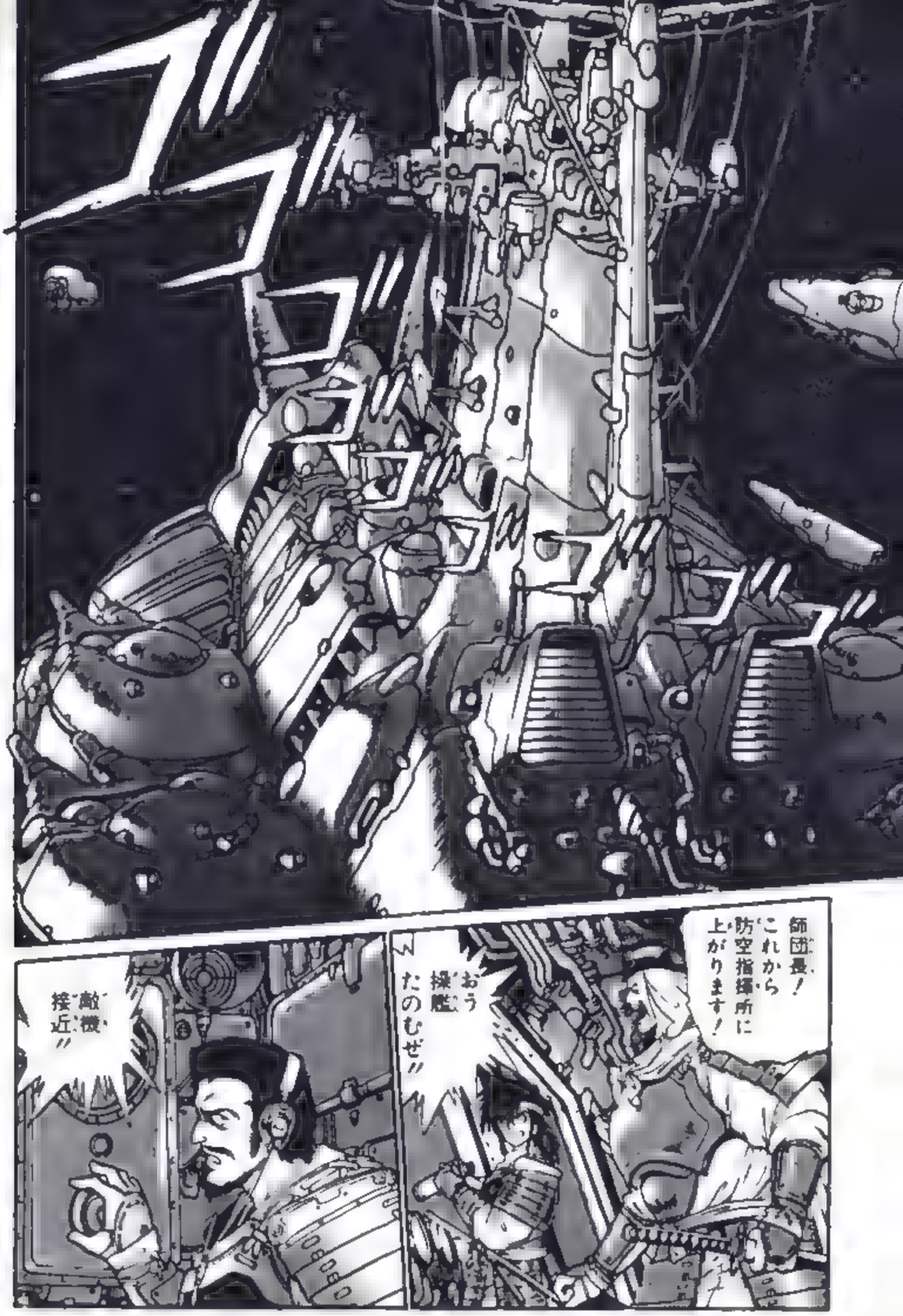
全銀河を舞台にした群雄たちの抗争は
さらに激しさを増してゆく――

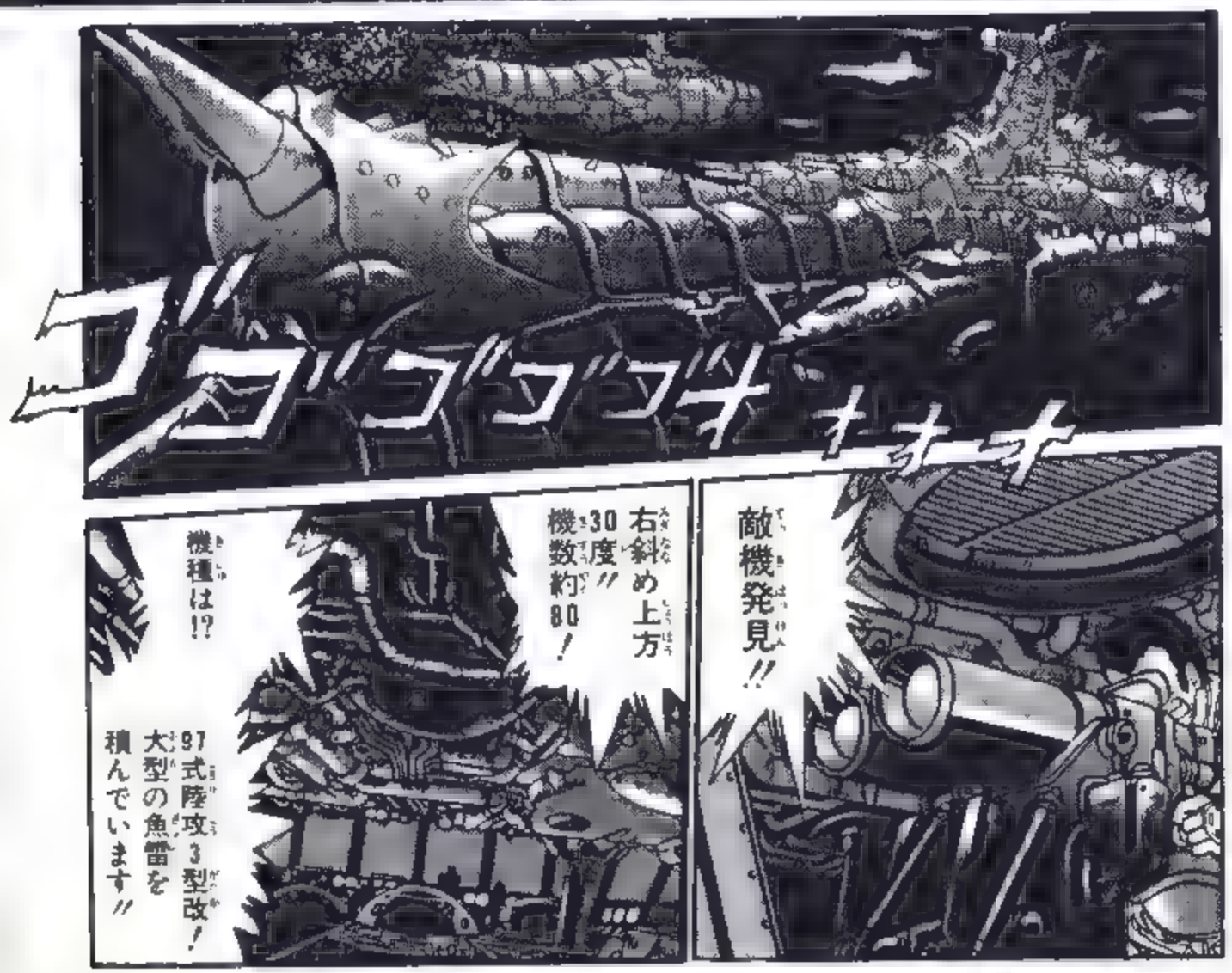


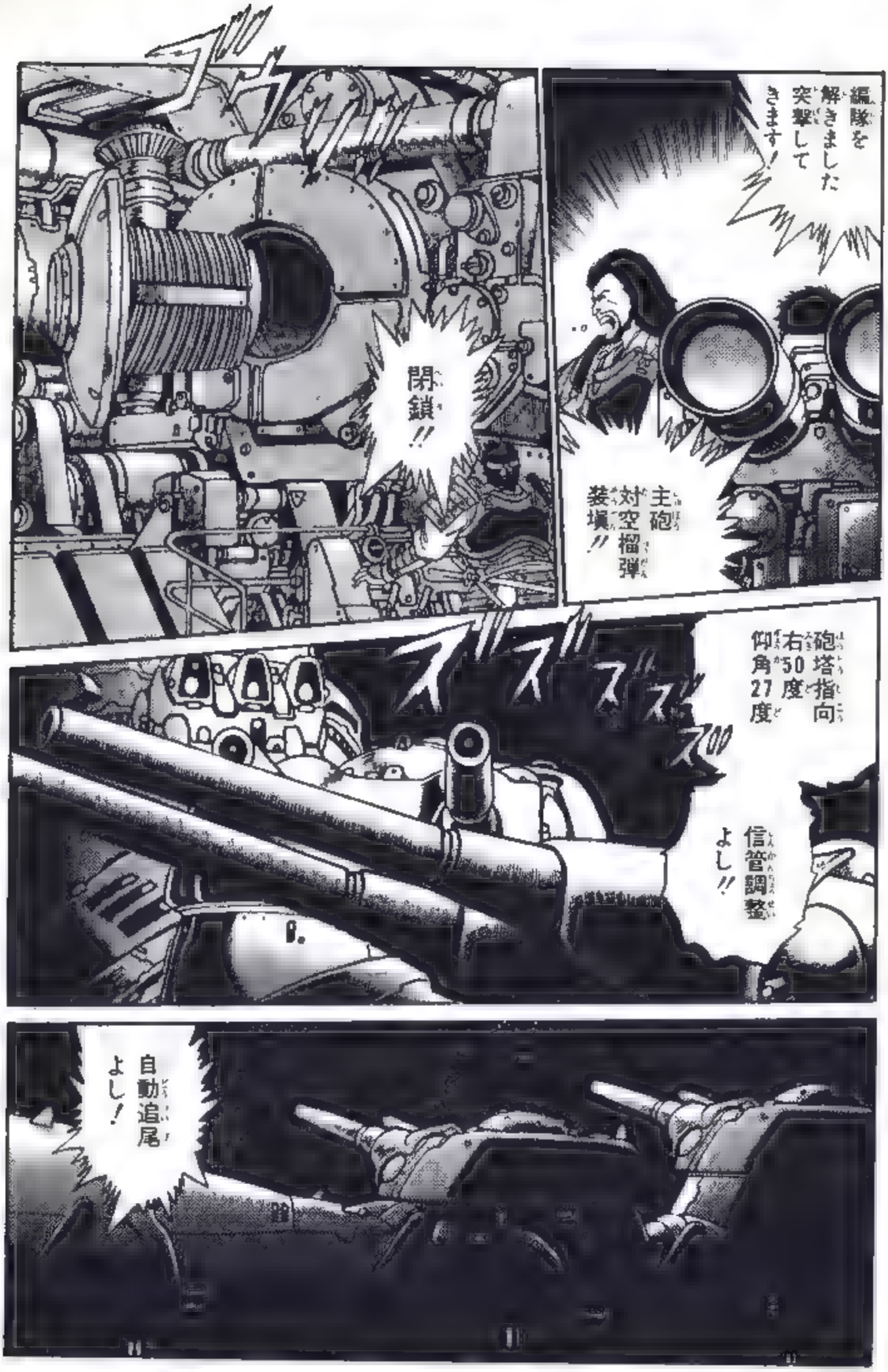

敵、ターヒー
出力上昇
よし"
一番隊準
備完了よし"
十七番魚雷発
射管準備
完了"

機長より
各種
配置に
つきました
〃
飛行機関手
準備
配備よし〃
機関室
すべて順調！
エンジン
増速可能〃
最高速度
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ

第三砲塔よし！
閉鎖機異常なし！
八番高角砲よし！！
後部発射管室よし！
全艦戦闘配備完了！！
へ――っよく訓練されてる艦だな
どうも
通信手 軍団司令部へ通信を！
我 敵前衛と接触！本艦の現在地と針路を伝えろ
全艦砲雷撃戦用意！！
速度第一戦速へ！！
ズズズズズ

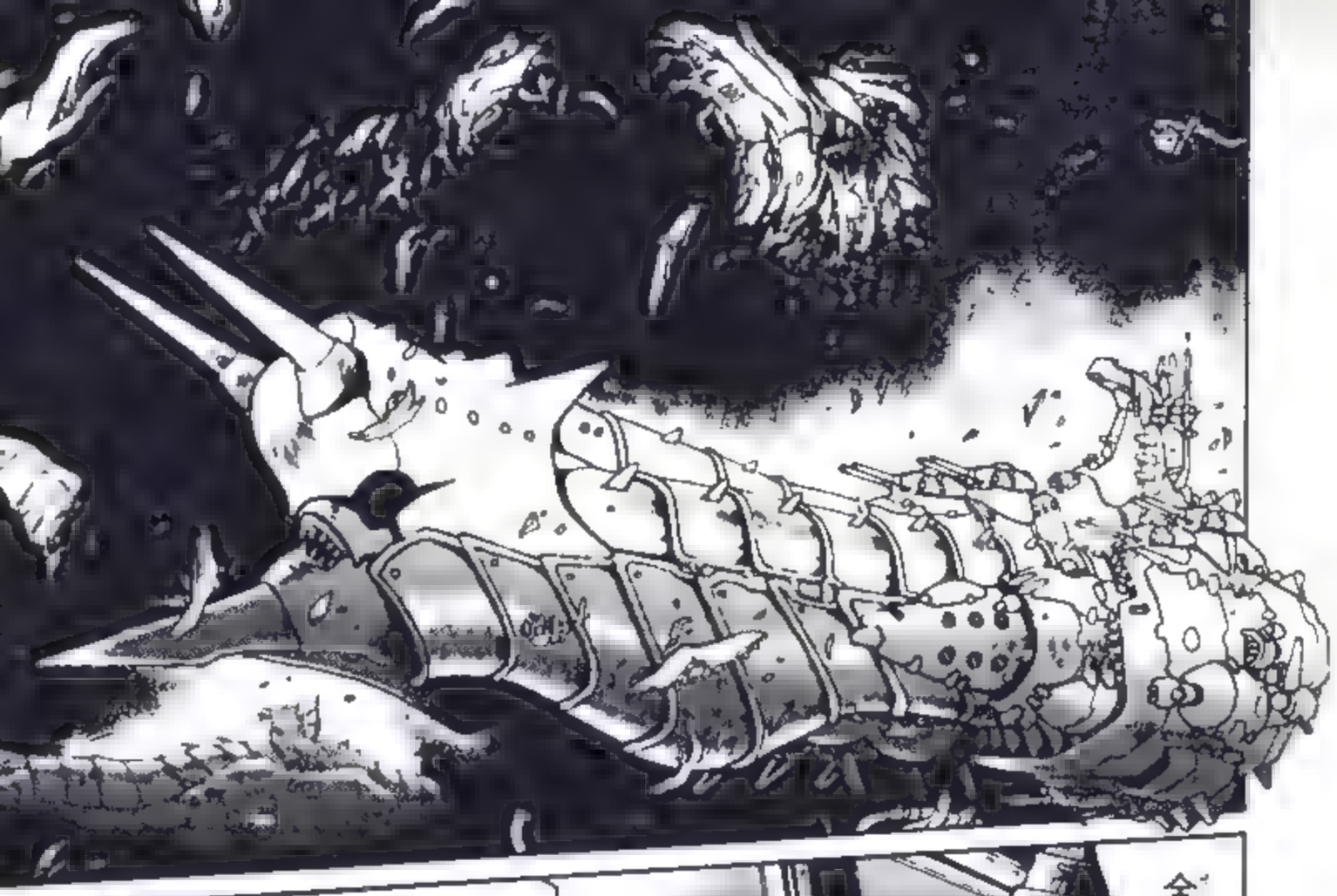

師団長！
これから
防空指揮所に
上がります！
おう
操縦
たのむぜ〃
敵機
接近〃


ゴゴゴゴゴゴ…

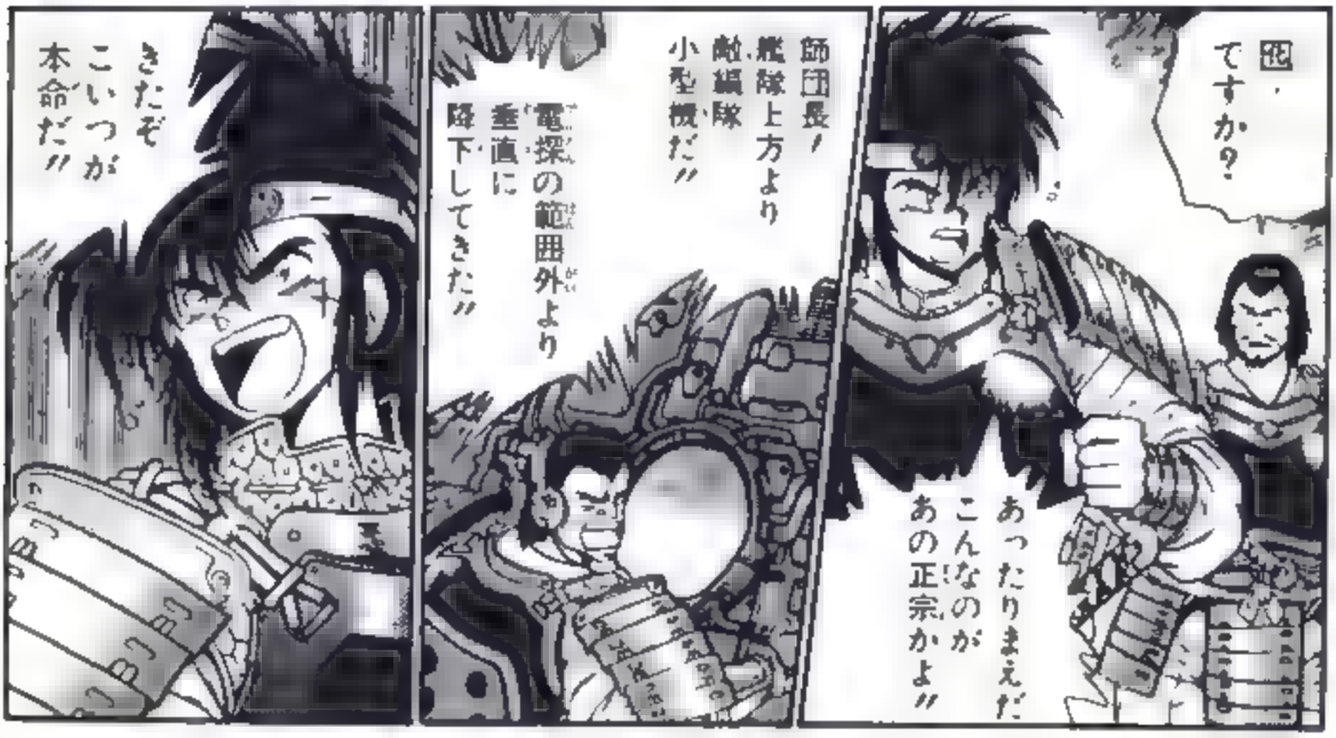

編隊を解きました
突撃してきます！
主砲
対空榴弾
装填!!
閉鎖!!
砲塔指向
右50度
仰角27度
信管調整
よし!!
自動追尾
よし！

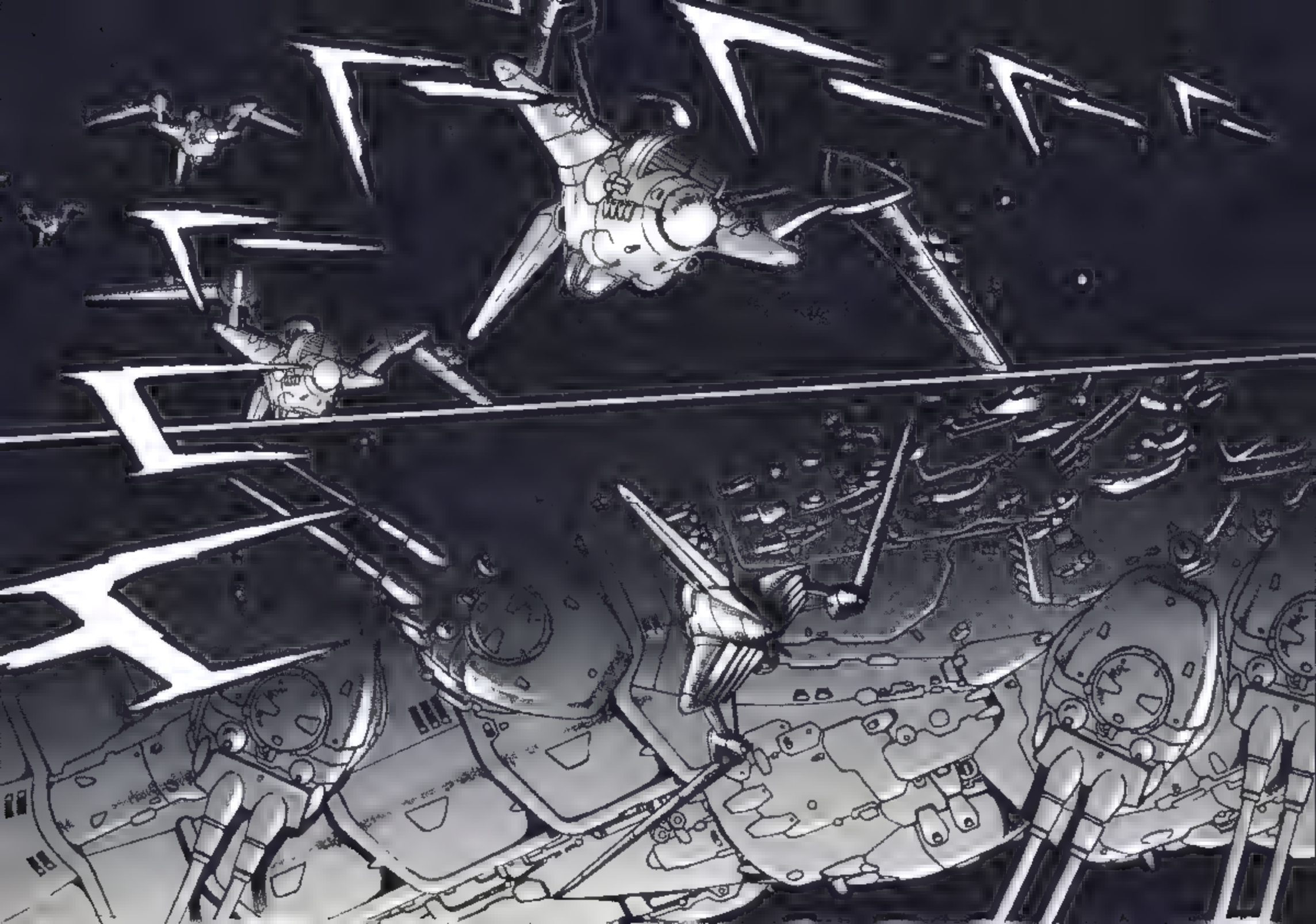
WOWAAAA
敵機
雷撃態勢に
入りました
大尉！
敵を捕捉
してるか!?
まだだ
まだ撃つな
よ!!
一斉射で
全部叩き
落とすんだ
！
外すと
こっちの砲煙で
第二斉射が
遅れるぞ!!
距離一八〇〇〇
4機編隊で
降下中!!
師団長!!
もうちょい
！

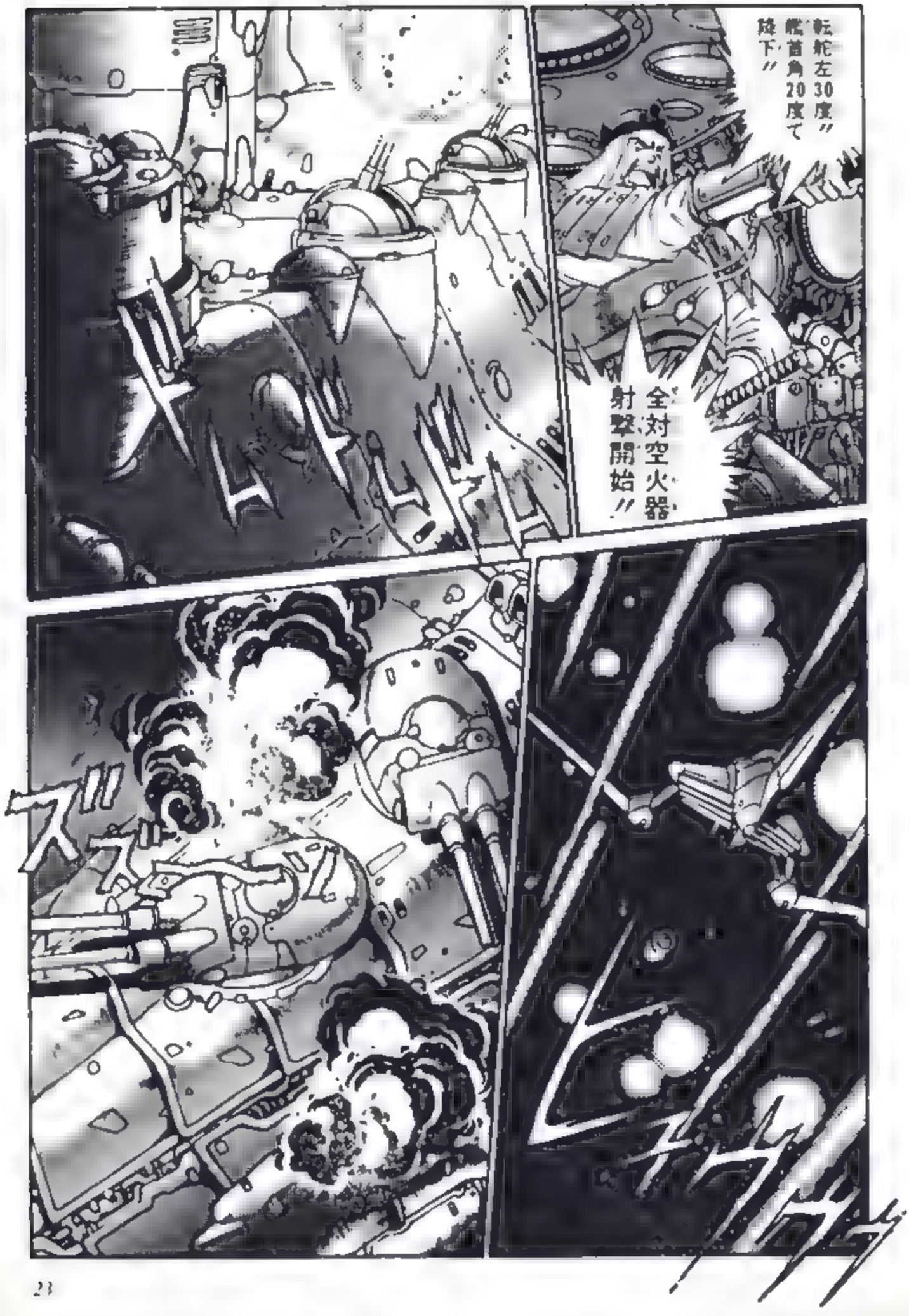
轟ゥ
ゥ——ン!!



全機撃墜!!
なんだ
張り合いねえな
機数といい
こんな程度じゃ
ねえはずだぞ
正宗は!


囮
ですか?
あったりまえだ
こんなのが
あの正宗かよ!!
師団長!
艦隊上方より
敵編隊
小型機だ!!
電探の範囲外より
垂直に
降下してきた!!
きたぞ
こいつが
本命だ!!



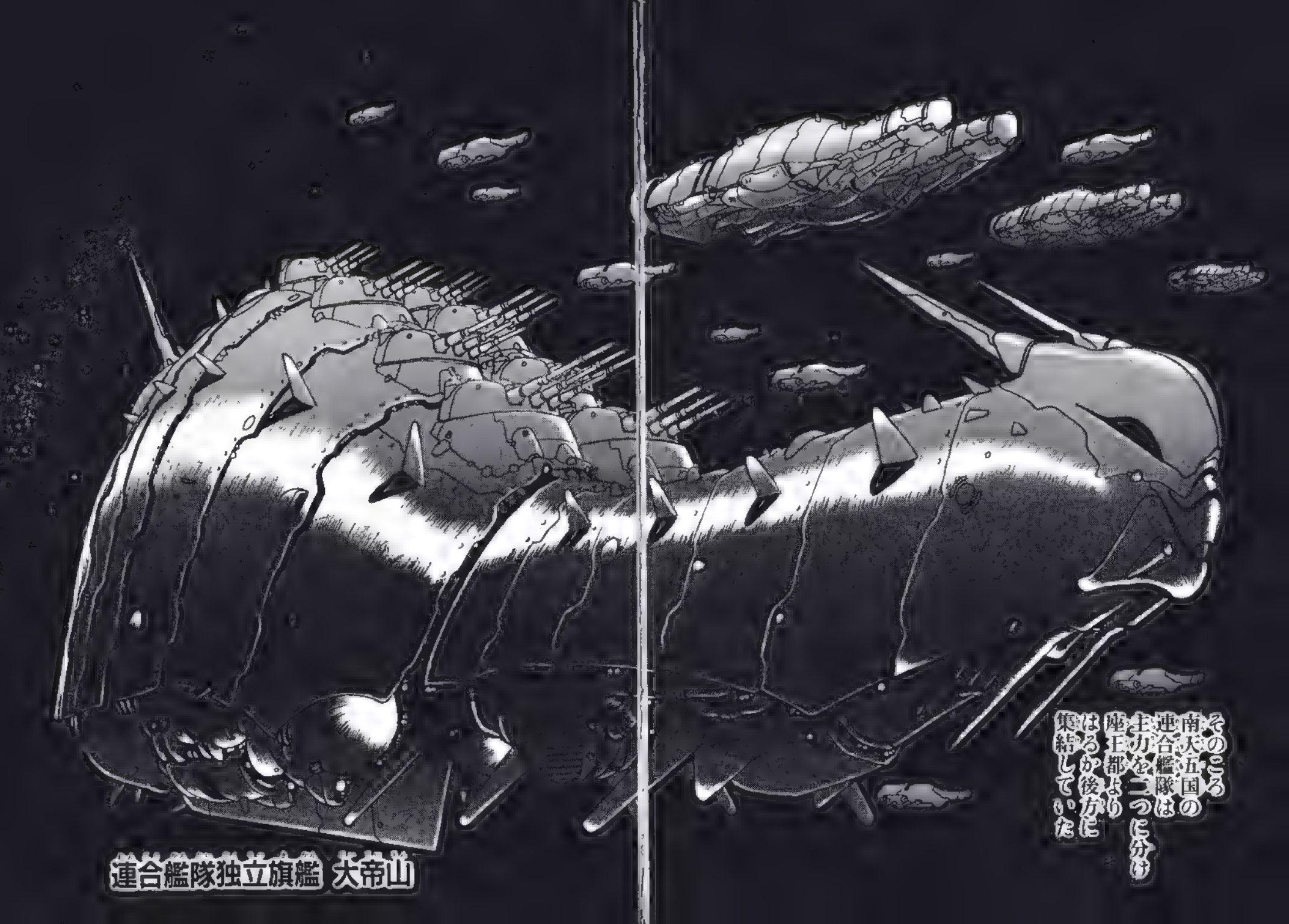

転舵左30度〃
艦首角20度で
降下〃
全対空火器
射撃開始〃
ズ〃ズ〃

敵爆だ!!
智は空母を
持ってるのか
!?
前甲板に
2発被弾!
秋月、
直撃!!

左舷掃弾視室に被弾！負傷者が出ました!!
応急処理班いそげ!!
扶桑も被弾しました!!
これが正宗の戦か！
おもしれえ!! こーいうケンカのやり方気にいったぜ!!
受けて立ってやろうじゃねえか 独眼竜!!

ケッ

敵機
引きあげます！
偵察をだせ！
追っかけろ”
深追いは
危険てすせ
罠かもしれん！
空母がいるんなら
話は別さ！
片づけとかないと
うるさい
せっかく
先鋒うけたのに
敵艦を
まだ見ずじゃ
話にならねえ
”
正宗め！
今度は
こっちの番
だせ”

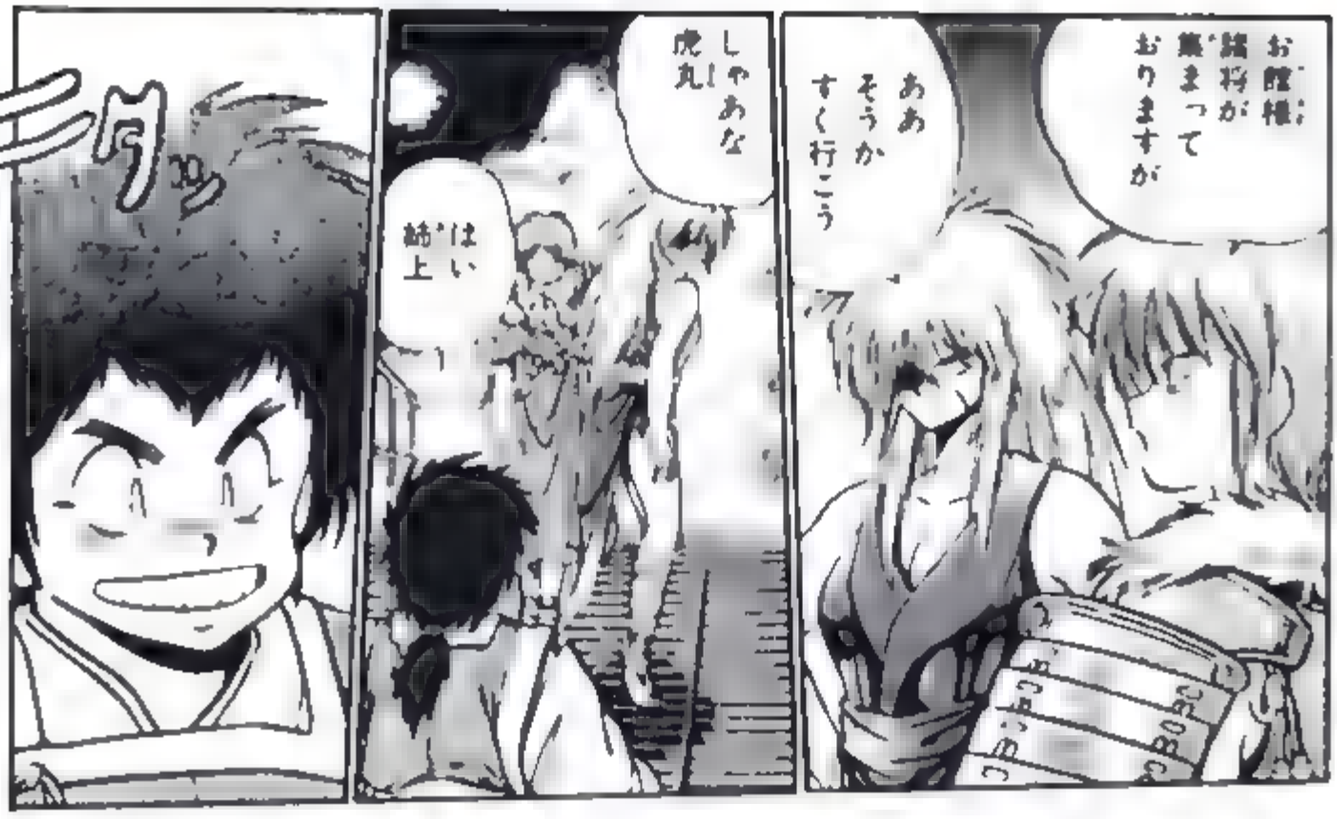



そのころ
南大五国の
連合艦隊は
主力を二つに分け
座王都より
はるか後方に
集結していた

お館様！
飛竜か？
なんだ
はっ 弟君
虎丸様が
ぜひお館様に
お会いしたいと
……
またか…

よお
虎丸
どうしたんだ？
姉上！
虎も
今度の戦に
参加しとう
ございます!!
なにとぞ
初陣を
御命じ
ください!!
また
その話かい？
元服前の
子供を
戦わす
わけには
いかねえだろ
虎は
子供じゃ
ありません!!
戦いたいん
です!!
……
!!
お館様!!

五丈は
こんな程度じゃ
ないんだぞ
わかったら
さっさと
城にもどれ!!
二人して
死んで
どーすんだ!
まだ戦は
続くんだぞ!!
姉上
ごめんなさい
自分の
わがまま
でした
いや
こっちも
手荒なことをして
悪かったな
痛かったろ?
ううん!
虎は
男だから!
姉上こそ
お元気で
ご武運祈ってます
ああ
おまえが
元服するまでは
死なないよ!
初陣姿を
楽しみに
してんだからな
はい!!


お館様
諸将が
集まって
おりますが
ああ
そうか
すぐ行こう
しゃあな
虎丸
はい
師上
ニタッ

……前線からの
報告は以上だ
遼中は
30個師団で
智の国境を
越えた
30個師団!?
して
遼中は
おまえさんの
エサに
食いついて
くるかのう ?

まちがいなくね
自分達の情報外の
戦力に
気づいたんだ
機動部隊を
しとめなきゃ
自分の背後が
心もとないだろう？
戦艦に戦艦を
ぶつけるはと
ムダなことはない
消耗するだけだ
やつらの相手は
機動部隊に
まかせよう
主力艦は
温存しとか
なきゃな
軍団主力には
わしの戦隊で
ストップをかけれる
しばらくの
間はな
フッフッフ
帝王部を
殲滅するのか？
軍団するには
苦労するぞ
天険の要害
だからな
軍団なと
しない
閉しこめて
おくんだ
いつまでだ？
11個軍団が
丸々干上がる
までさ”

偵察機より入電！

敵機動部隊発見！

かなりの速度で針路一四〇にて前進中〃

そいつだ！それを叩くぞ〃

副師団長！

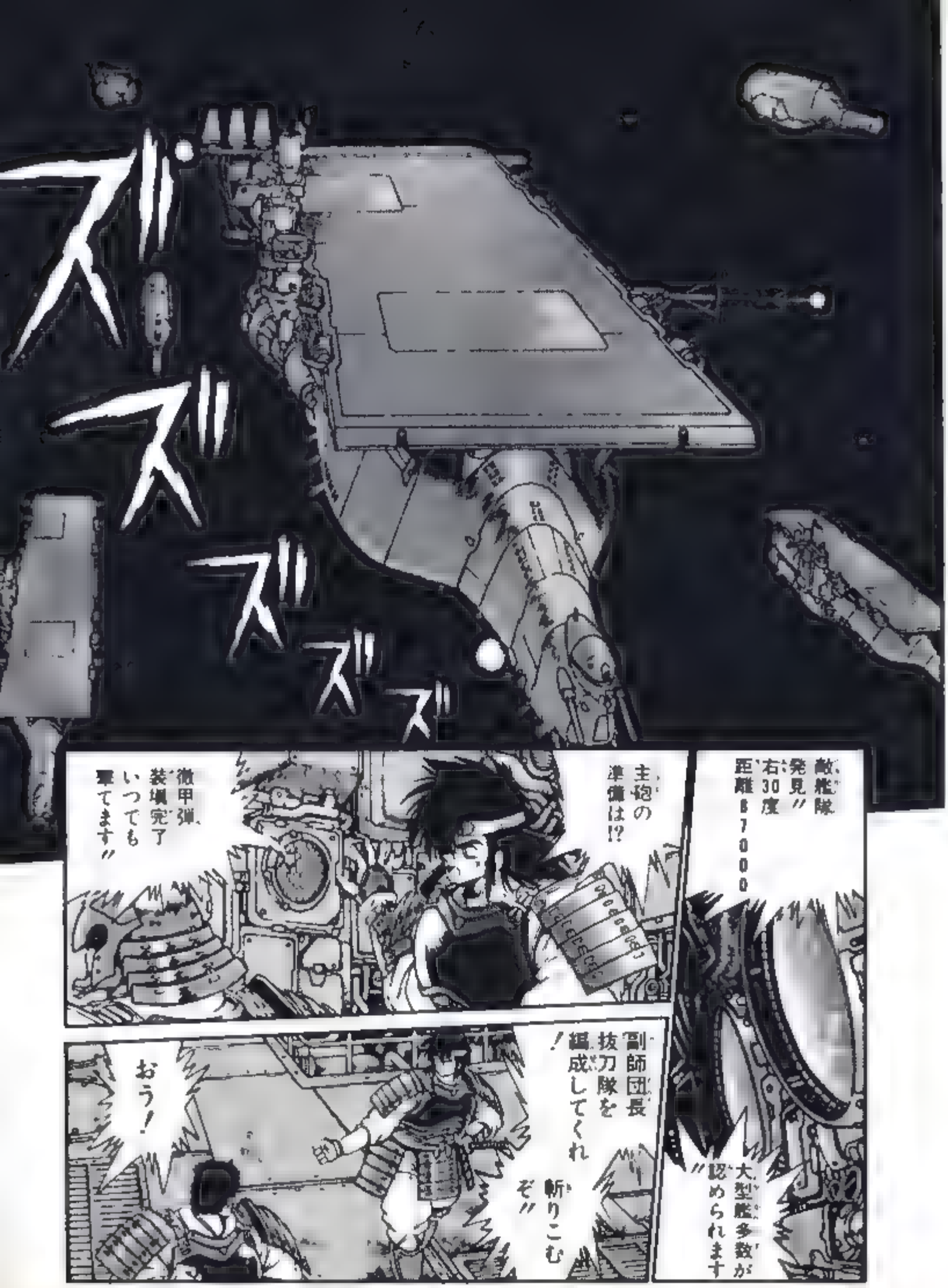
わかりやした！面舵40〃

ズゴゴゴゴゴゴ…

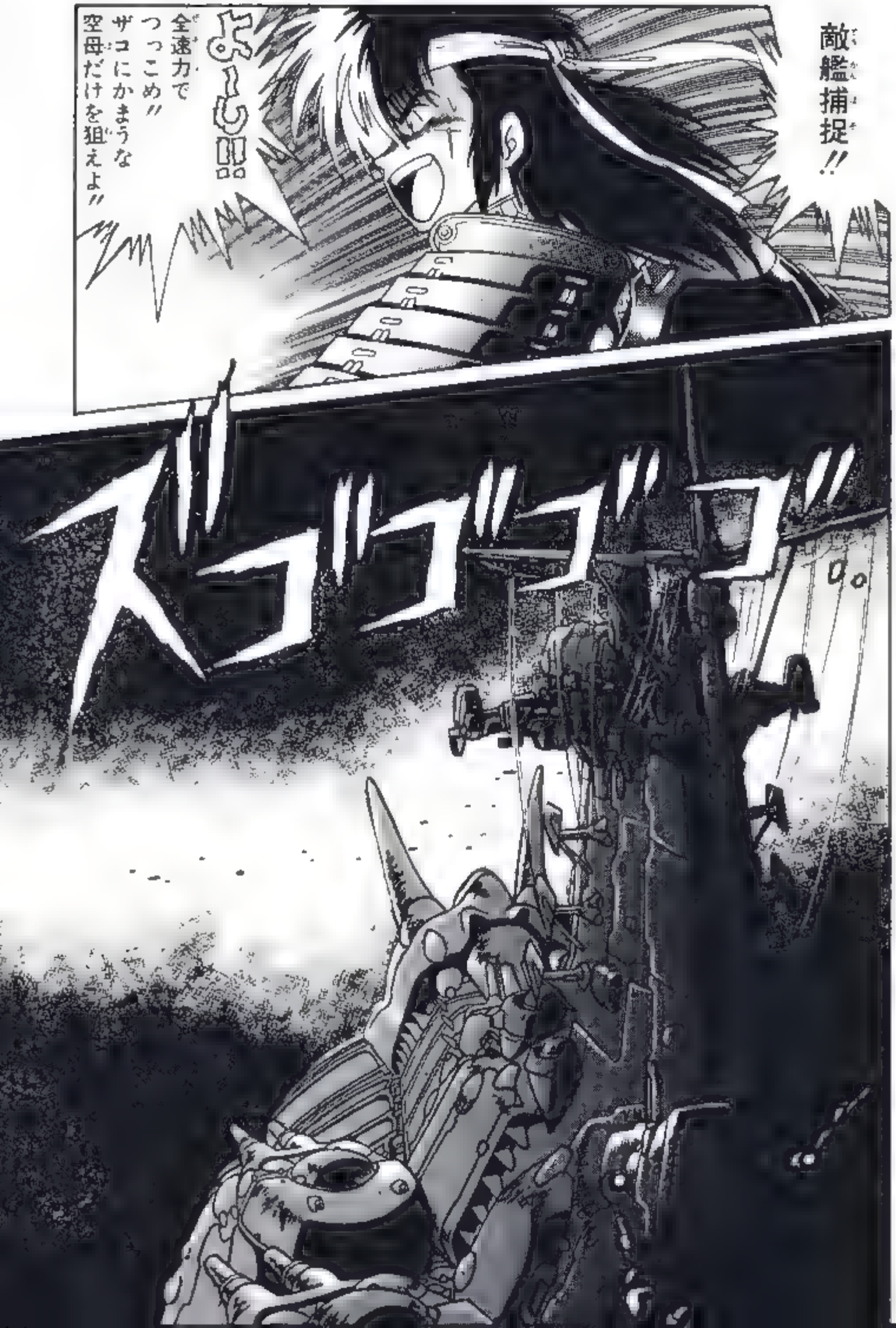
第五・第六駆逐艦は後方で支援艦隊と共に待機させとけ

山城も残ってろ！残りは続けーっ〃

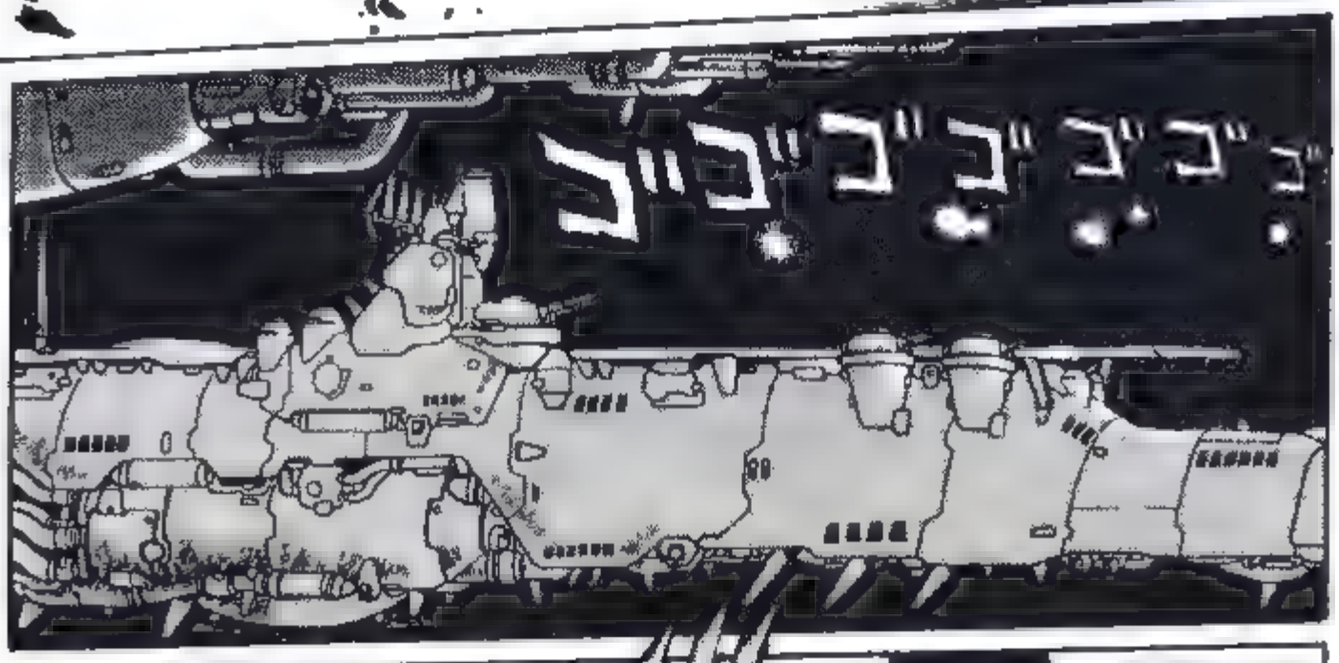
味方の艦隊がもどってきやした！
入電！我に続け〃
よーしよくやったこれでいただきだ！
空母など戦艦の主砲で粉々にしてくれますわ！
おうとも〃


ズ
ズ
ズ
ズ
敵艦隊発見〃右30度距離870000
大型艦多数が認められます〃
主砲の準備は!?
徹甲弾装填完了いつでも撃てます〃
副師団長抜刀隊を編成してくれ！
斬りこむぞ〃
おう！

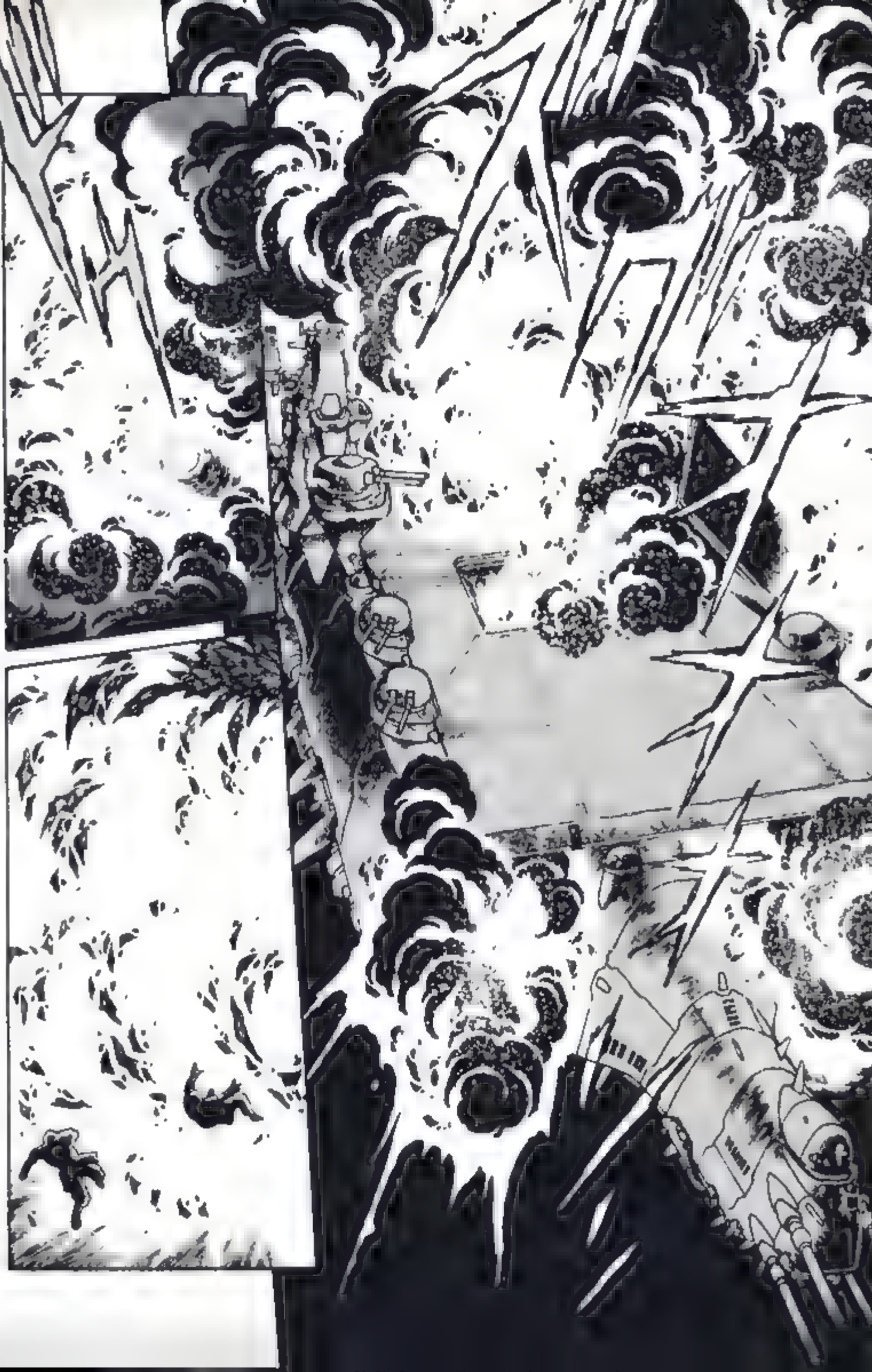
やっほー
いよいよ
俺達の出番だね
ヒヒ
ぴ
"やるぞ！っ
けど
雷兄きが
いないと
今いちだね
まあ
師団長
だからな
だが
一度フタを
あけてみると
わからんぞ
雷の奴！
いつまでも艦橋で
じっとしてる
かな？
トン
トン
……


敵艦捕捉!!
よ~し!!
全速力で
つっこめ!!
ザコにかまうな
空母だけを狙えよ!!
ズゴゴゴゴゴ

主砲の準備はできてるか!?
徹甲弾装填完了!!
いつでも撃てます!!
距離つまります!
敵先頭艦捕捉!!
うてぇ――っ!!

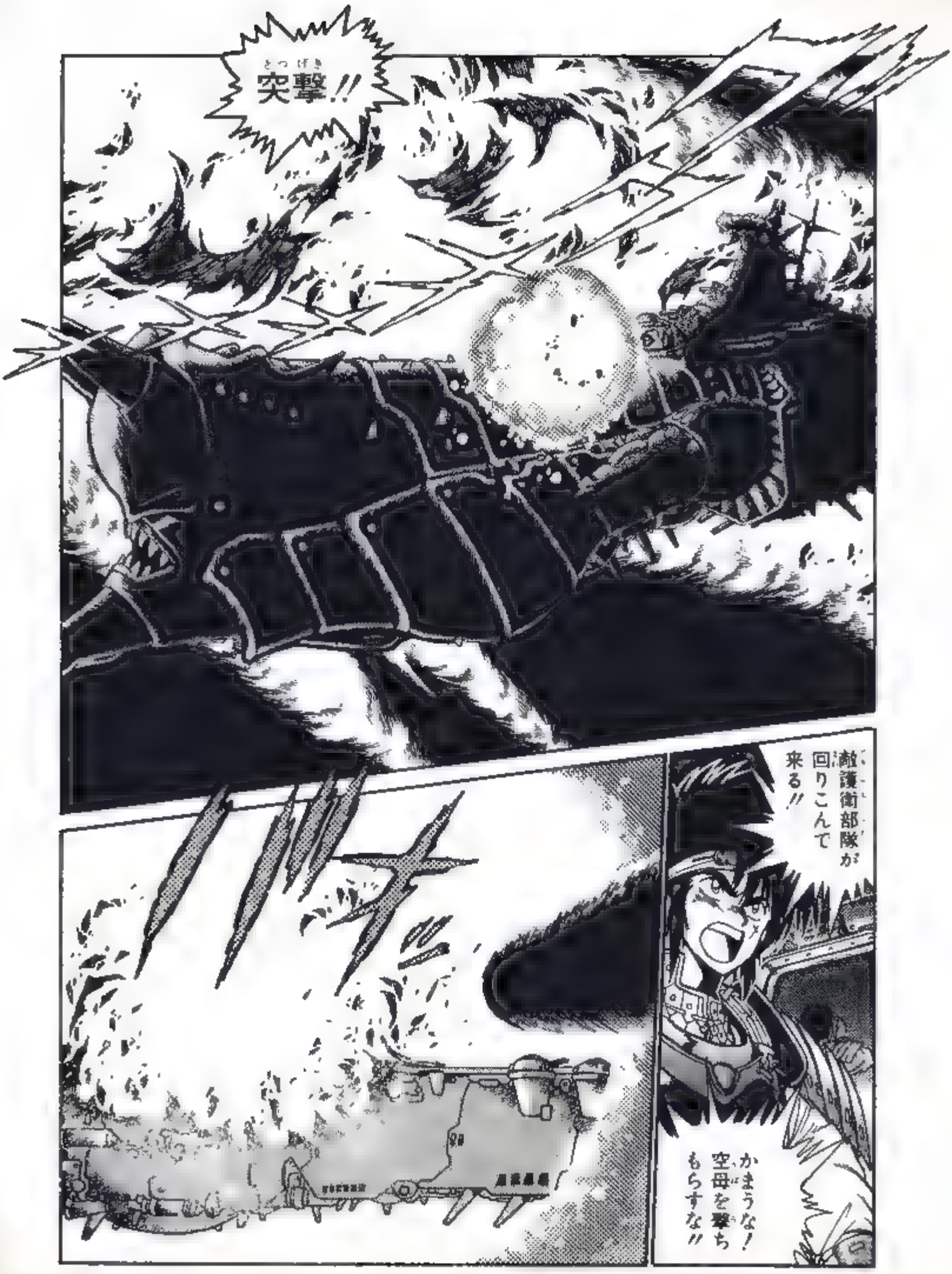


敵大型艦左舷より接近!! 戦艦です!!
なに!
ぐわ!

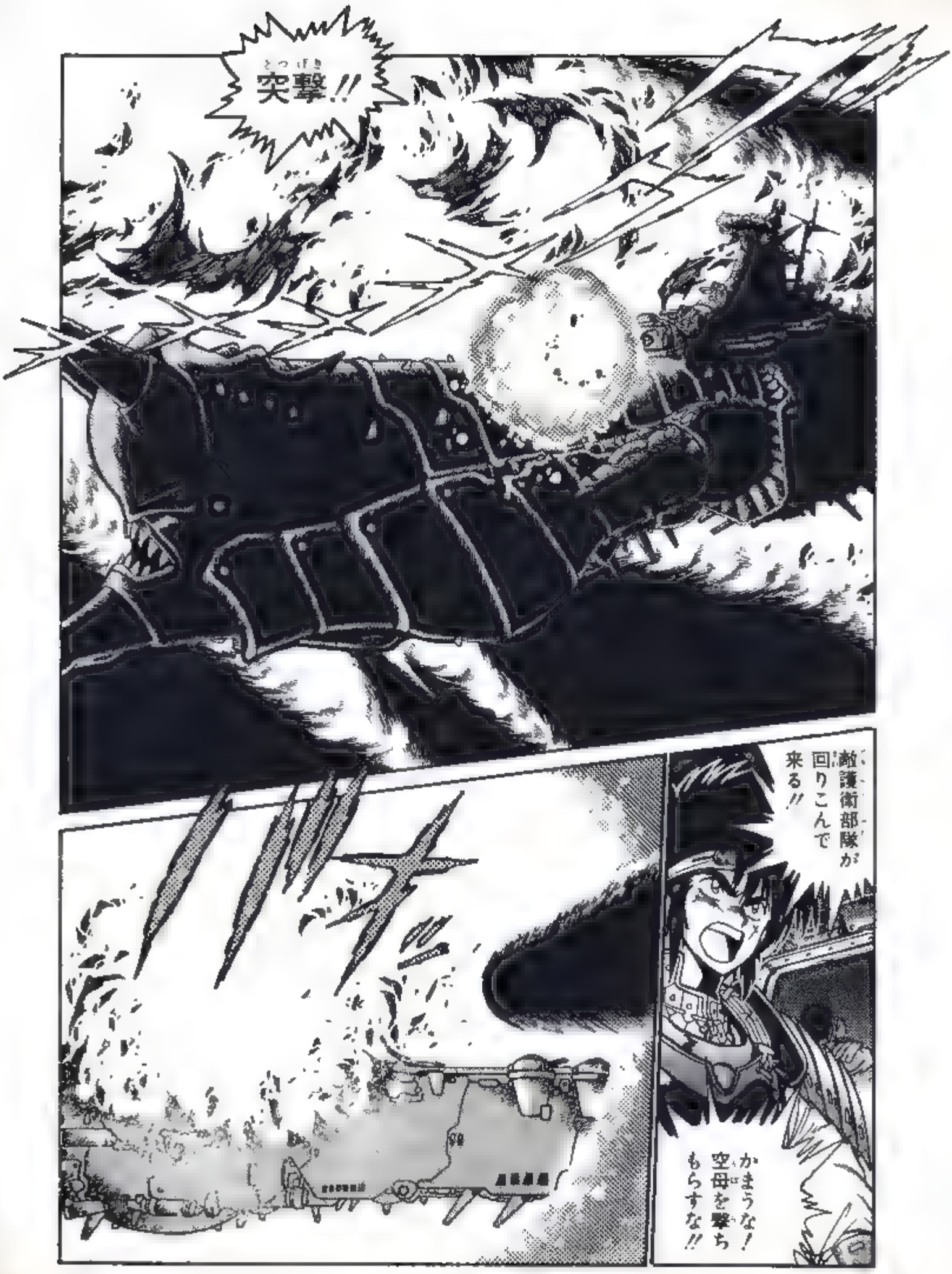


逃がすなよ！
一撃残らず
たたき
つぶせーっ!!
もう二度と
つまらん真似が
できないように
してやれ!!

目標零時！
右に回頭中!!
うてえっ!!
命中！
次発装填!!
2時の方向に
逃げるぞ！
うてえっ
命中!!


突撃!!
敵護衛部隊が回りこんで来る!!
かまうな! 空母を撃ちもらすな!!

10時の方向より
敵艦隊
接近！
大型艦だ！
敵戦艦だ!!


突撃!!
敵護衛部隊が回りこんで来る!!
かまうな! 空母を撃ちもらすな!!

ゴゴゴゴ
10時の方向より敵艦隊接近！大型艦だ！
！
敵戦艦だ!!
ドドドドド

やった！
間違いねえや！
戦艦だ〃
まっすぐ
こっちに向かって
くる！
右舷からも
2隻護衛艦を
従えて
くるぞ〃
連中も
とうとう
ンヒレ切らして
戦艦を投入して
きたな
おもしろく
なってきたぜ！
俺達に
小手先の手段は
通しないと
わかったようだな！
いくぞ〃
まってください！
後方の山城から
入電〃
我、敵艦載機の
猛攻を受けつつ
あり〃
支援艦隊に
莫大な損害が
出ている
そうです！
な

のべ3機による
三度に
わたっての
波状攻撃で
損害は
戦車砲1発
輸送艦12隻
撃沈！

大破
戦車砲2
駆逐艦7
輸送艦1に
およんでます！

山城以下
全力で反転中
ですが
無防備の船団を
守り切れません！

くそうっ!!

まさか
機動部隊が
囮なのかよ

空母を
機動に
して

正宗の奴
正気かよ!!

師団長！
我々も
支援艦隊の
救援に向う
べきです！

そうだ！
弾薬・燃料を
確保しなくては
……！！

師団長!!

バカいうな！
敵戦艦を
そのままに
しとけってのか
!!

奴らだって
バカじゃねえ
追ってきて
輸送船団に
とどめを
さす気だぞ！

ましてや
反転中に
敵に増強
されてみろ！

二度と
座王都を
おがめなく
ならあ

しかし
このままでは
輸送船団は
全滅しますぞ!!

なら
扶桑を
向わせろ！

こっちだって
戦艦3隻を
相手にするん
だぜ
仕方ねえよ！

戦艦1隻
では

師団長!!

味方の
輸送船団を
見捨てる気
ですかい？

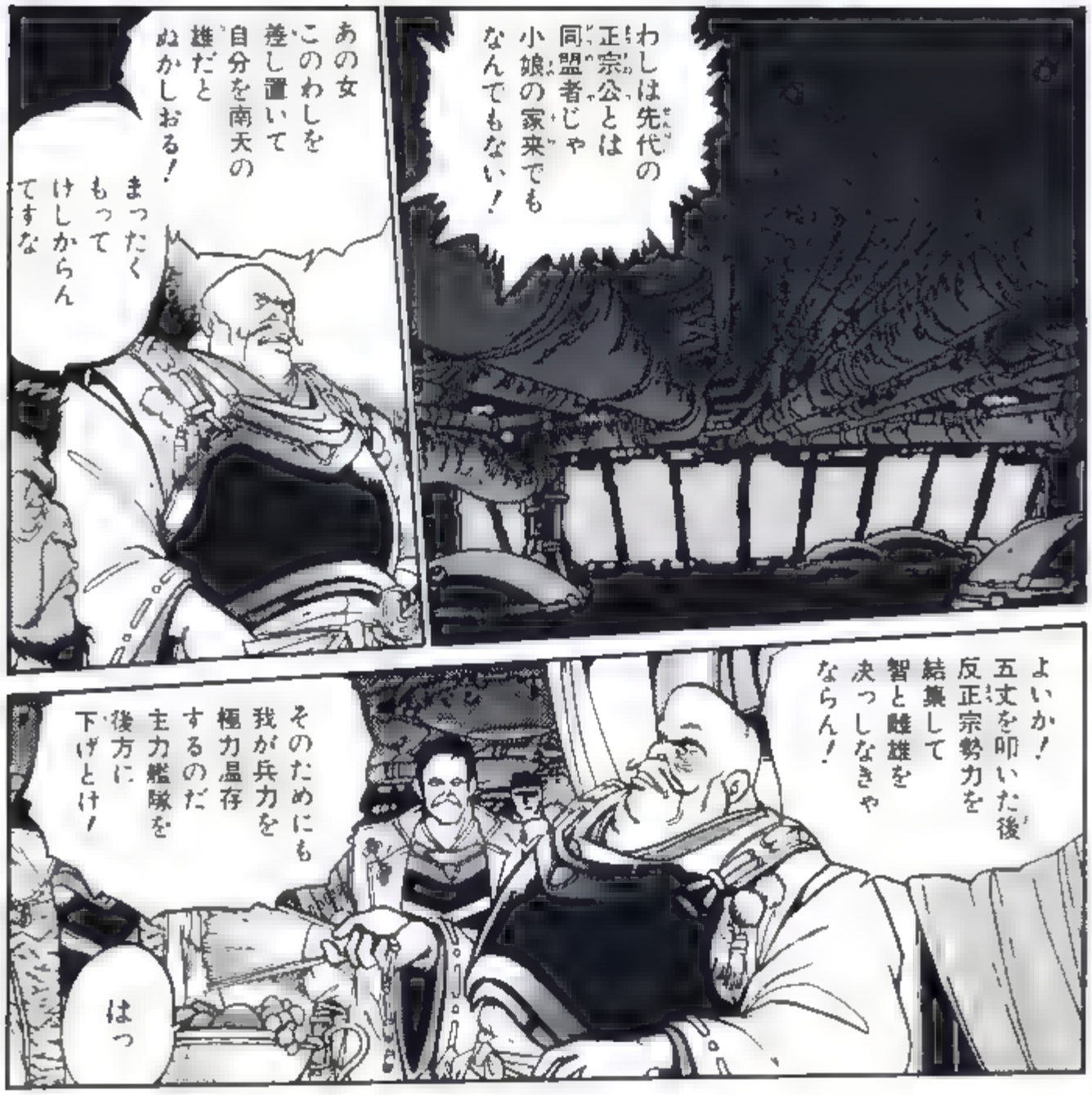
そういう
つもりじゃ
ねえ！

孟閻
あんたこれが
罠かもしれんと
いったな
わかって
たんだな！
ああ
十中八九な
だが決断するのは
あんたた
師団長
ちくしょうーっ!!
てめえ
人を笑いもんに
しやがったな!!
おまえらも
そうだろ！
みんな
罠たと
気付いて
たな!?
!!
それほど
性格の悪い奴は
ここには
いないですせ！
なに?

けっ
話は後だ
副団長〃
なにせ
敵は3隻
だからな！
回頭を30度！
右エンジン停止！
針路一七〇て
舵もとせ！
いくぞ！
DOOO

五丈の間者からの報告です
主攻部隊はやはり狼刃将軍の第二軍団ですね
そいつは手強いな 前回が来りゃ楽だったけどな
て先鋒は だれだ？ 異起あたりか？
竜牧雪とかいう下級兵士です
なんだそりゃ そんな奴がどーして先鋒をまかされるんだ？
この男に関しては資料がなくもう少し詳しく調べさせますか？
まあいいとっちにしろ俺の翼に簡単にかかったようだ
大した奴しゃないようだ

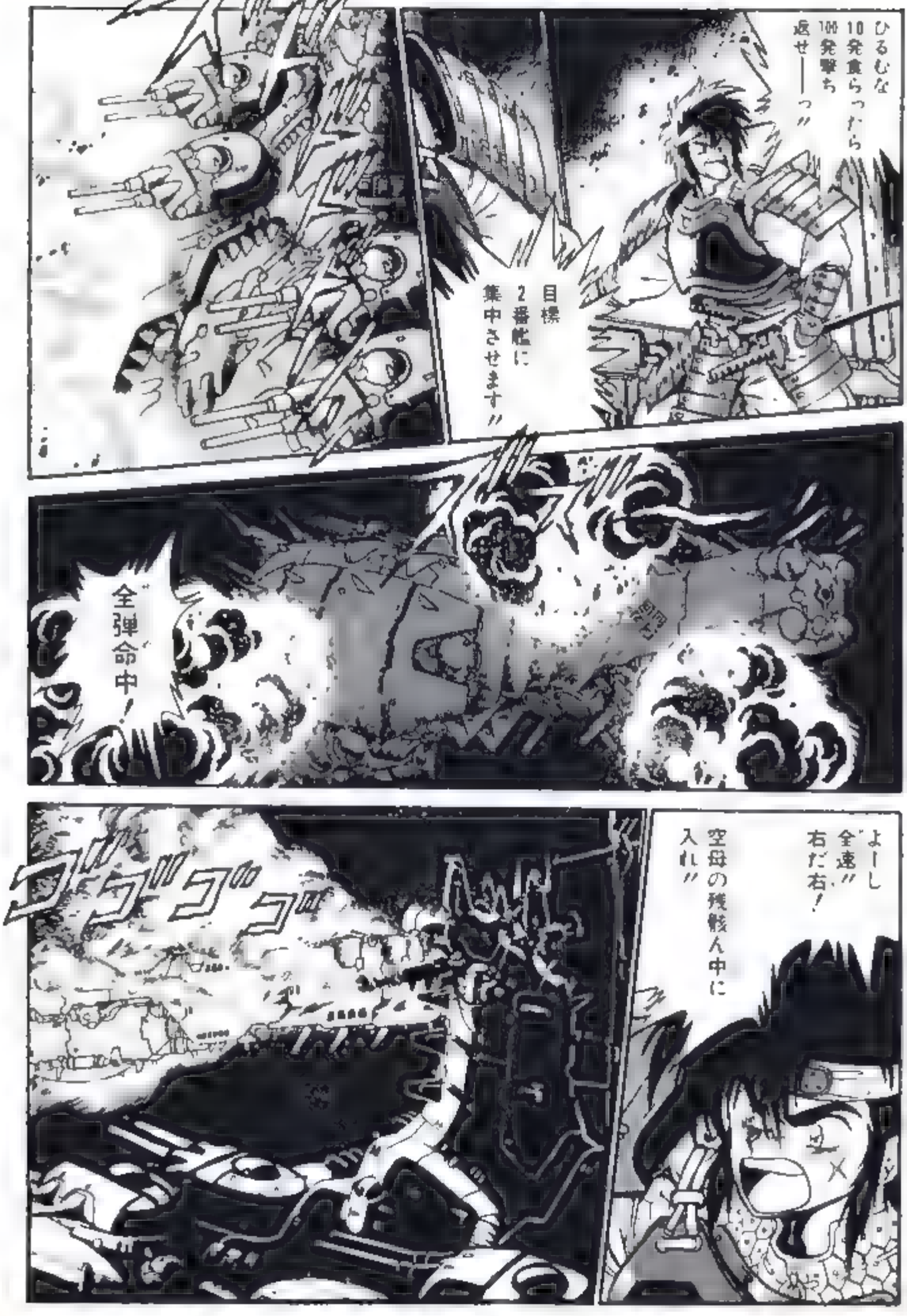
正宗公！
ふん！
うるさい奴が
きた！
正宗公　お主
わしが
貸し与えた
空母を囮に
したというのは
まことか！
搭載機が
いない間は
囮にしか
使えないだろ
連中　立派に
務めを
果たしたせ
とうあろうとも
わしに一言の
ことわりもなく
我が艦隊を
犠牲にするとは　〃
おいおい
そんなに
いうほどの船か？
中古貨物の
改造だろ？
何が新設艦を
貸そうだ
何をいうか
我が兵士の練強を
持ってすれば
船の古さなど
おきなって余る
ものがある！
艦の新旧
なぞ
関係ない！
だから
あんたとこの
優秀な
搭乗員はみな
うちの新艦が
回収してやるよ
船は遅れても
人間は無理
だからな


わしは先代の正宗公とは同盟者じゃ小娘の家来でもなんでもない！
あの女このわしを差し置いて自分を南天の雄だとぬかしおる！
まったくもってけしからんてすな
よいか！五丈を叩いた後反正宗勢力を結集して智と雌雄を決っしなきゃならん！
そのためにも我が兵力を極力温存するのだ主力艦隊を後方に下げとけ！
はっ

いい加減頭にくるな

南天の奴ら
側面から
輸送船団を
集中的に狙って
きやがる
そいつを
かばってちゃ
進撃速度を
維持できゃ
しない！
亀の方が
まだ速いよ
前面の
敵兵力は？
よくわかりませんが
かなり強力です
第一線部隊を
全力投入していると
思われます
四〇七七師団
開戦1日目
第三軍団が
突破口を
固める前に
敵艦隊の反撃が
始まった
第三軍団主力
編制率にて
10個師団が軍団に
アセンブルされた
そして
第三軍団
先鋒として
景気よく
進んだ南半球の
四七七師団も
罠に落ちようと
していた
その一隊は
遊撃戦を
展開し
小兵力で
支援艦隊を
攻撃し
狼狽を
誘いだせた

ウォーン
ウォーン
右舷後部に2発被弾!!
5番砲塔揚弾機故障!発砲不能!!
3番ボイラーやられました!!
負傷者を運び出せ!!
衛生兵!担架!早くこい!!

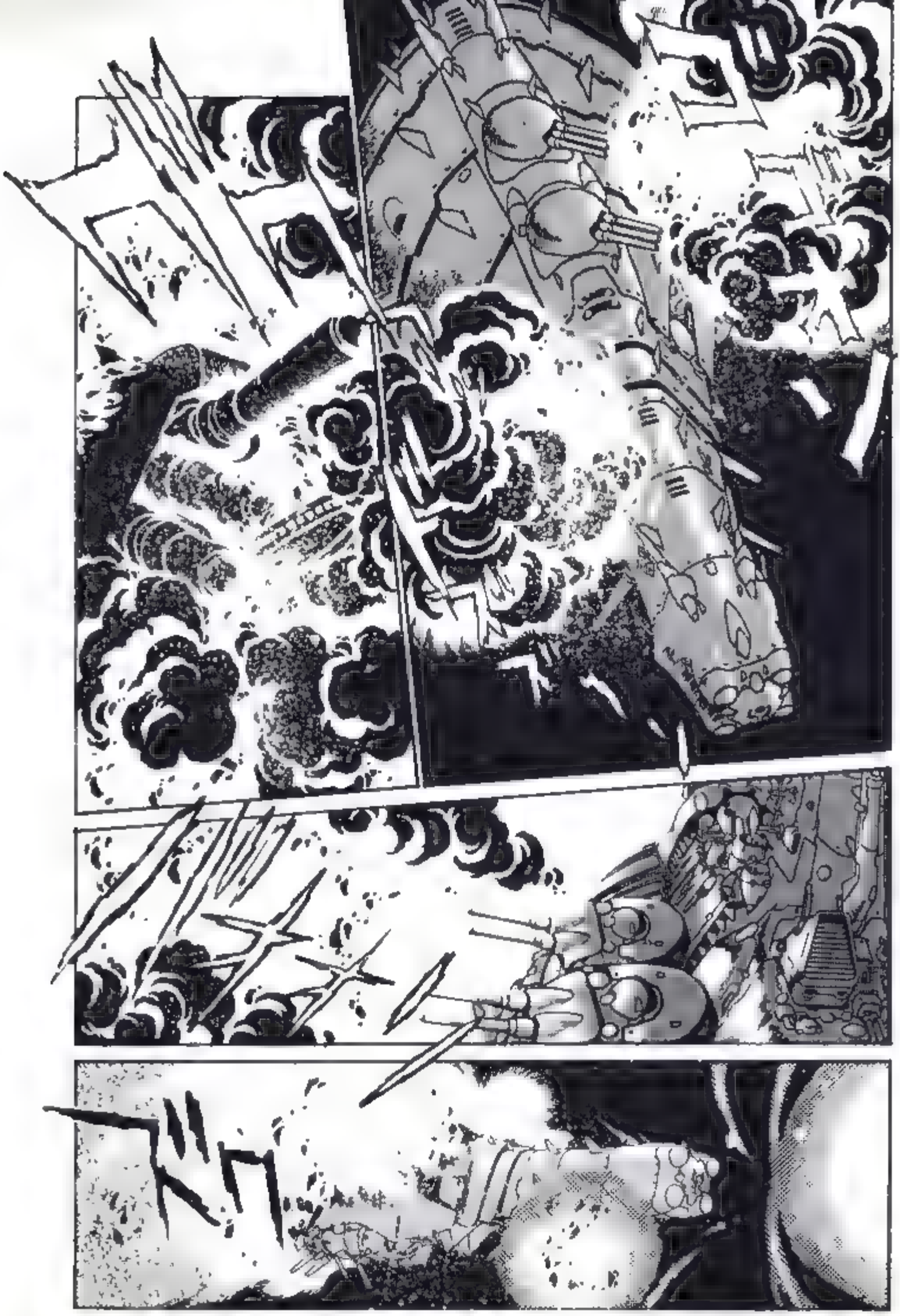

ひるむな
10発食らったら
100発撃ち
返せ――っ!!
目標
2番艦に
集中させます!!
全弾命中!
よーし
全速!!
右だ右!
空母の残骸ん中に
入れ!!

なるほど
残骸を盾に
するたあ
よく考えたな
連中の目的は
戦艦を分散させる
ことだったんだな
1隻ずつ
仕止める気だ
たしかに
3対1じゃ
分が悪い
旗艦を
やろう!
大将旗を
掲げた
先頭の奴だ
接舷して
斬りこもう
今度は
大将艦を盾に
しちまえ
なら
師団長は
抜刀隊の指揮を
!
ここは
俺にまかしといて
くれ
いいのかい

あんたに
とっちゃ
この狭い艦橋は
居心地悪いだろ
うちの兵隊の
強さを
その目で見てきな
もしあんたの
目から見て
道中が
物足りなかったら
かまわねえ
斬っちまいな
ああ
そうすらあ
じゃあ
ここ
まかしたぜ
さっきの話の
続き
生きて帰ったら
聞かして
もらうぜ!
たっぷりとな!
ここで俺達が
やられちまったら
狼刃将軍と
独眼竜に
笑われちまわ
女二人に
笑われるなんざ
死んでも死に
きれねーからな
へっ!
正宗の罠に
まんまと
はまっちまったけど
戦ってのは
戦略や船の数で
決まるもんじゃ
ねえや〃
結局こいつが
物をいうのさ〃

信号主
今必要ねえから
一緒にこい！
他にも
手があいてる奴
いるかーっ!?
機関室！
出力を最大にして
機関長以外は
抜刀隊に
加われ！
一人でも
多い方がいい！
副団長
敵戦艦
左へ回り
こみます！
よーし！
両舷全速〃
敵旗艦に
つっこめ！

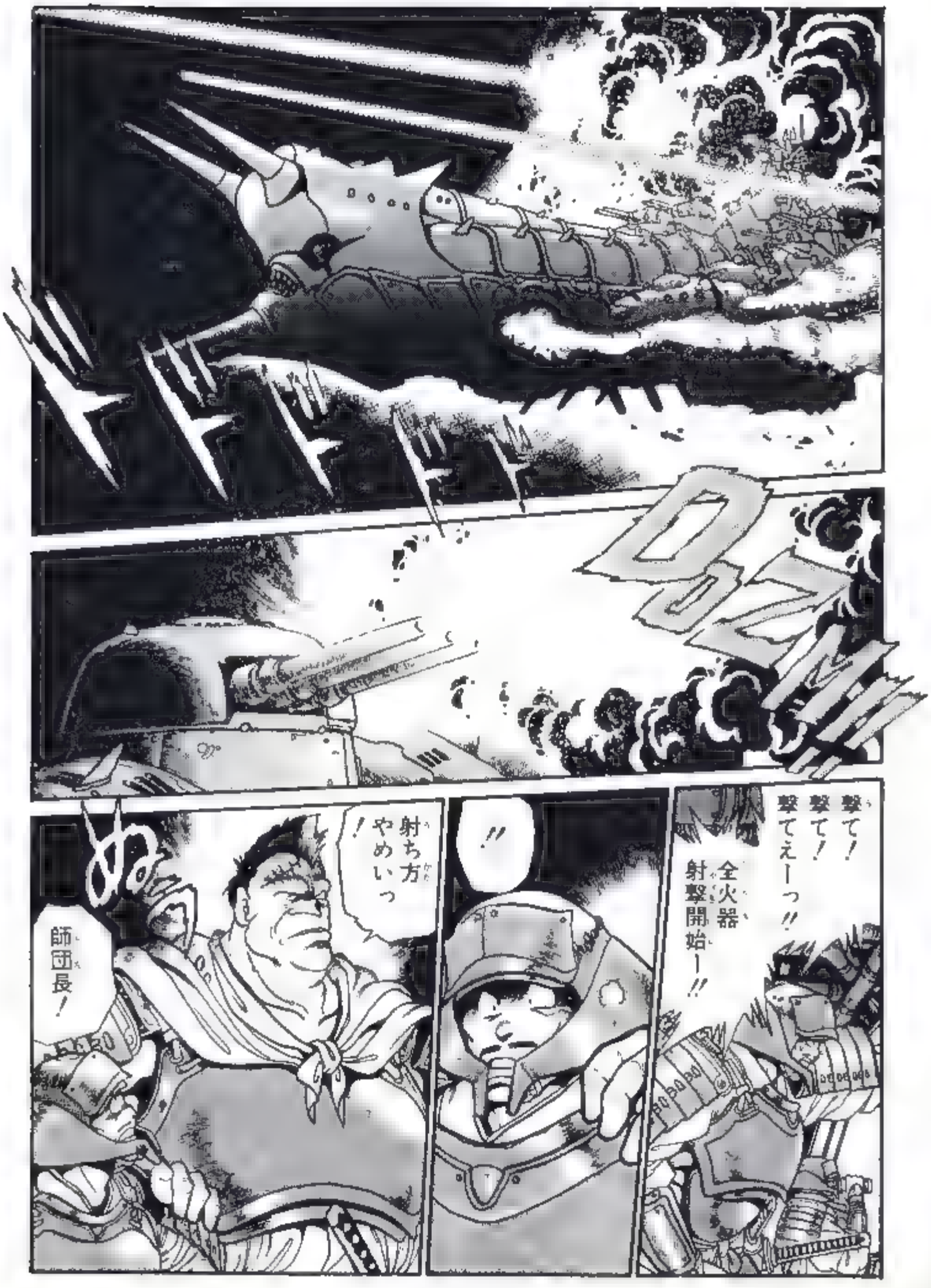
他の2隻をだまらせろ
砲塔指向左10時方向"
斉射3連"
敵戦艦が出てきたぞ"
かかー隻に手間取るな仕止めろ"



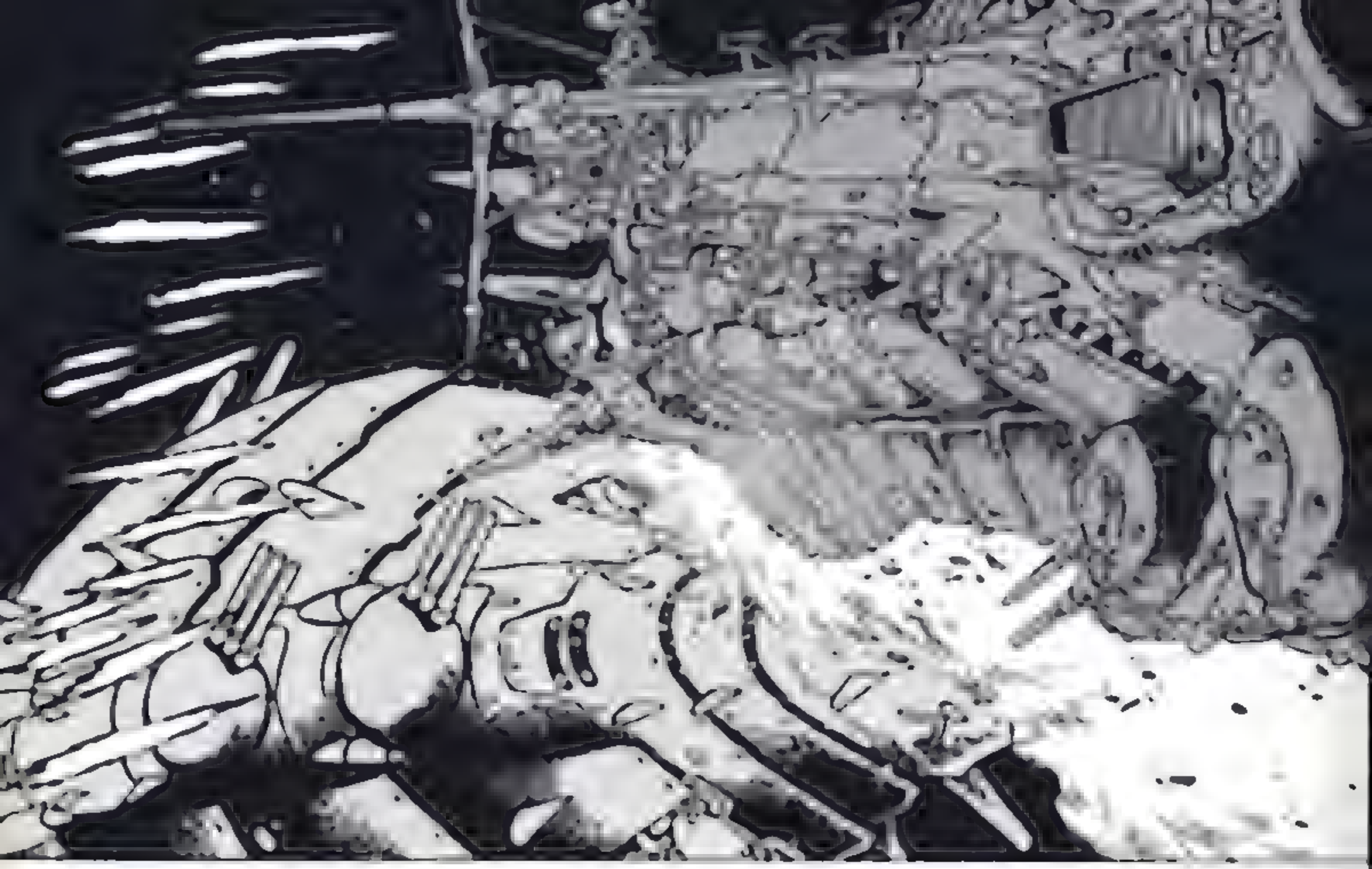
?番砲
沈黙
目標3番砲に
変更
1時の方向
上方5度
装填
急げ
撃てえ
うわっ
ひっ
とうなっちゃってんだろ
さあなけど とうもやはいみたいだせ
おらとけとけ
道を開けろ

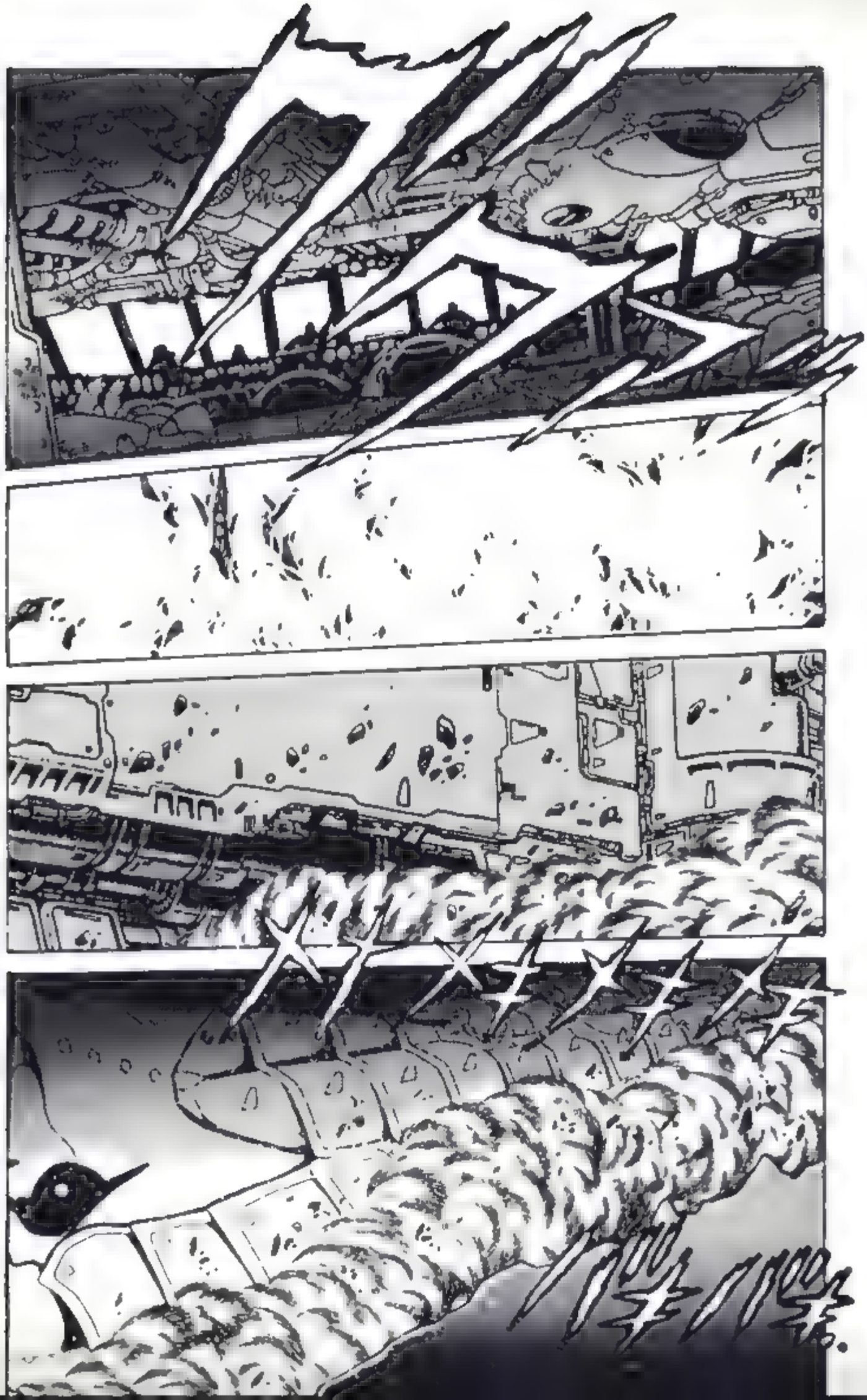
おい邪魔だ！
そこどけ！
なんだなんだ
このカキはーっ!!
いってえな！
押すなよ!!
雷兄き――っ!!
おう
太助・雲海
また一緒に
やろーせ!!
やったーっ
俺がんばっちゃう
もんねーっ!!
よーし
みんな聞けいーっ
！
俺達は今から
敵旗艦に
斬りこむ！
狙うは敵将の
首たた一つ
――っ！
あ
こいつ
師団長だ!!
ほんとたせ
こいつに
間違いねえ!!
うわさに聞く
重機甲師団の
抜刀隊の力
見せてもらう
せ!!
いいなーっ!!

ハカヤロ～
ガキのてめぇに
いわれる
筋合いは
ねえや〃
俺達を
なんたと
思ってやかる〃
やっかま
しいーっ〃
ガタガタ
いう前に
俺を納得
させろよな〃
てめえこそ
逃げ出し
やがったら
敵の大将と
一緒に
首並べて
やらあっ〃
よーレ
いくぜ!!
艦長!
敵戦艦
突っこんて
きますーっ〃
おのれ～っ
副長!
こっちも
斬りこみの
準備を〃


ドゴォ
撃て！
撃て！
撃てえーっ!!
全火器
射撃開始ー!!
!!
射ち方
やめいっ
！
師団長！

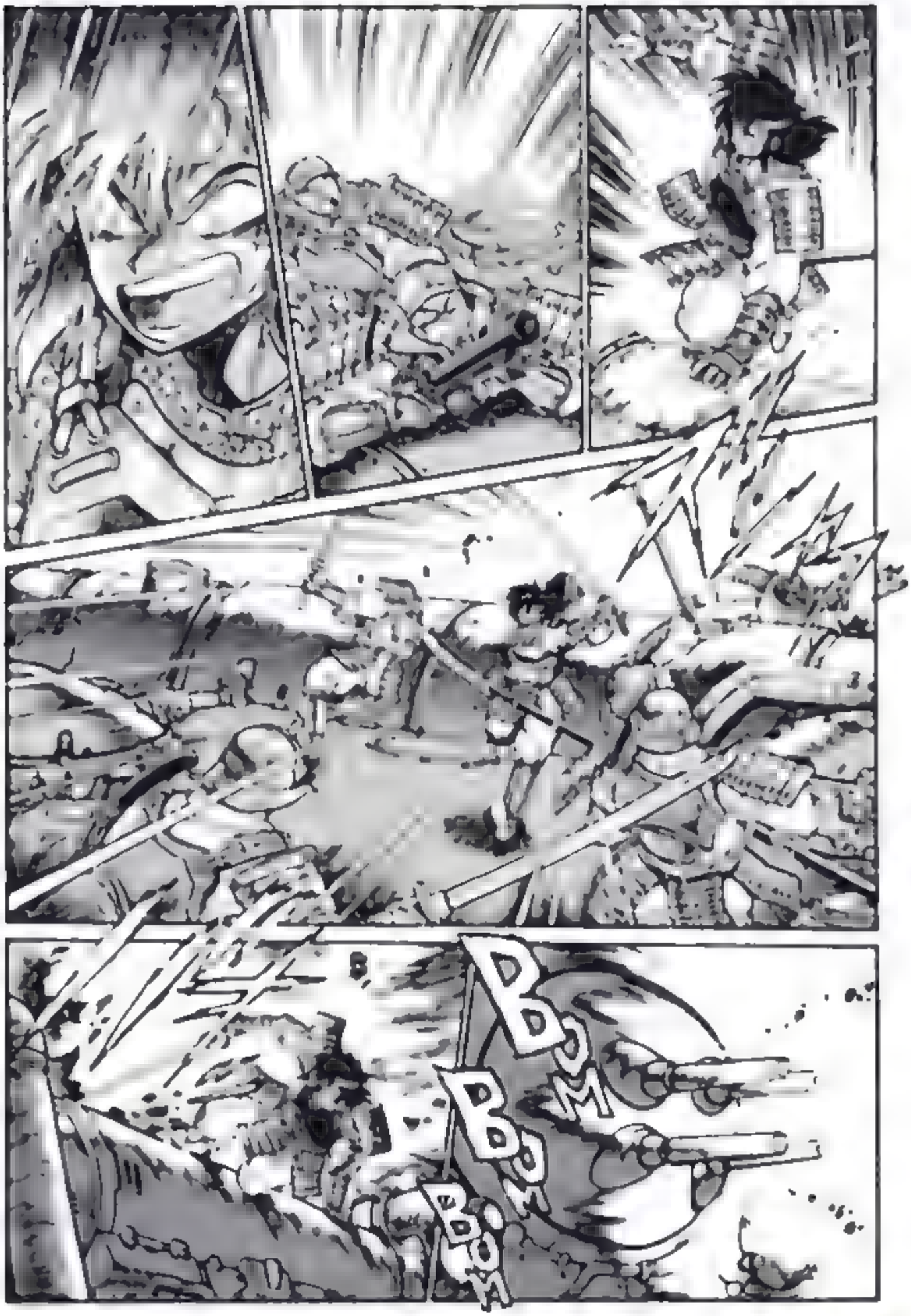
どんな連中か
知らんが
最初の敵だ
態をおかんで
やろう！
艦長！
わしい槍を
持ってこい！
はは！



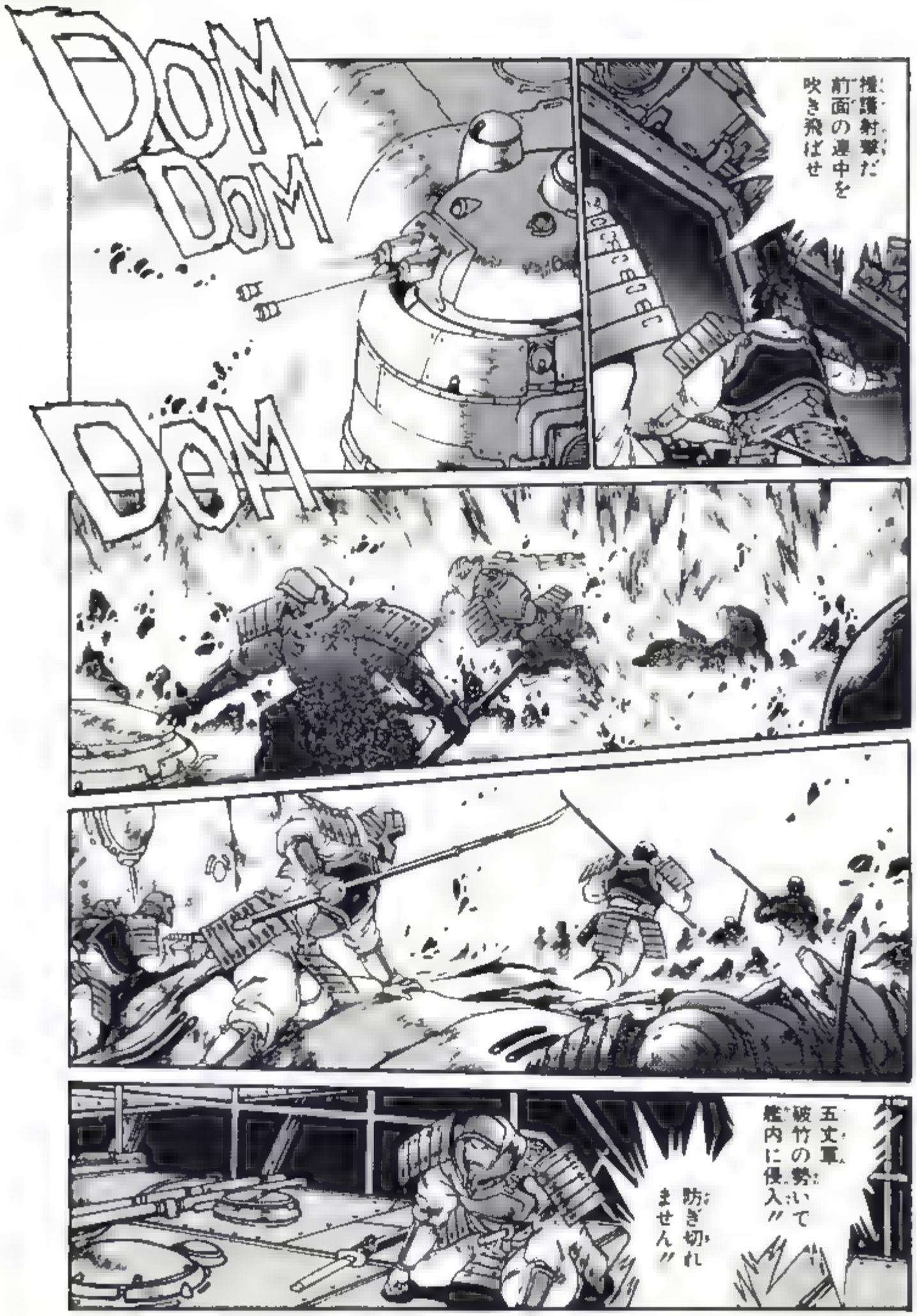


"接舷成功"
敵左舷に
横づけしたぜ
！
おう
よくやった
後は俺達が
やるぜ！
よーし みんな
息止めろーっ！
ハッチ
開けるぜ！
おうっ!!
俺に続けよ！

ズバッ!!
五人の兵士は
真空中での射欠時間の
長さで
切られて
比較的山か
また、間一化人な
脱走したのも
いこえ
海兵、川個人
強さ


BOOM
BOOM
BOOM

ガシャ
ガシャ


DOM
DOM
DOM
DOM
援護射撃だ
前面の連中を
吹き飛ばせ
五丈軍
破竹の勢いで
艦内に侵入〃
防ぎ切れ
ません〃

第4中隊を
増援に出せ
押し返すんだ!!
ふふふ
ところでとっつぁんは
知り合いか
噂な奴ぢゃ
…てくれるっちゃ
むーか…
だが
生かしては
帰さんぞ!!
船橋へ!!

アホ！
むやみに
走り回るな
迷うぞ!!
ちくしょう
滝に詳しい奴
水先案内に
連れてくりゃ
よかった!!
滝橋はどこだ
どう行きゃ
いいんだよ!!
ちくしょう
こらぁ
大将
出てきやがれ
ちねえぞ!!
やめろっ
て
物置ん中で
喋えてんだろ！
聞こえてんの
のか！
馬天の
田舎野郎!!
聞こえて
ねえよ!!
き 切れ!!

グズグズ
してられねえ
予備の
3個中隊も
送り込んじめえ！
こっちが
優勢だ
もうかたが
つくな
副団長！
右翼3時の方向、
敵戦艦が
突っ込んで
きやす！
なんだと！
死んじゃ
いなかったのか〃
おおっ!!
アホんだら
もう目と鼻の先
じゃねえか〃
電探は
何やってた〃
接舷の衝撃で
回路がいかれち
まったようで
電探が
だめなら
てめえの
目ん玉
ひんむいて
外を見てろ〃

主砲
右指向
いそげ!!
まにあわねえ
か!!
全艦
衝撃に
そなえろ!!

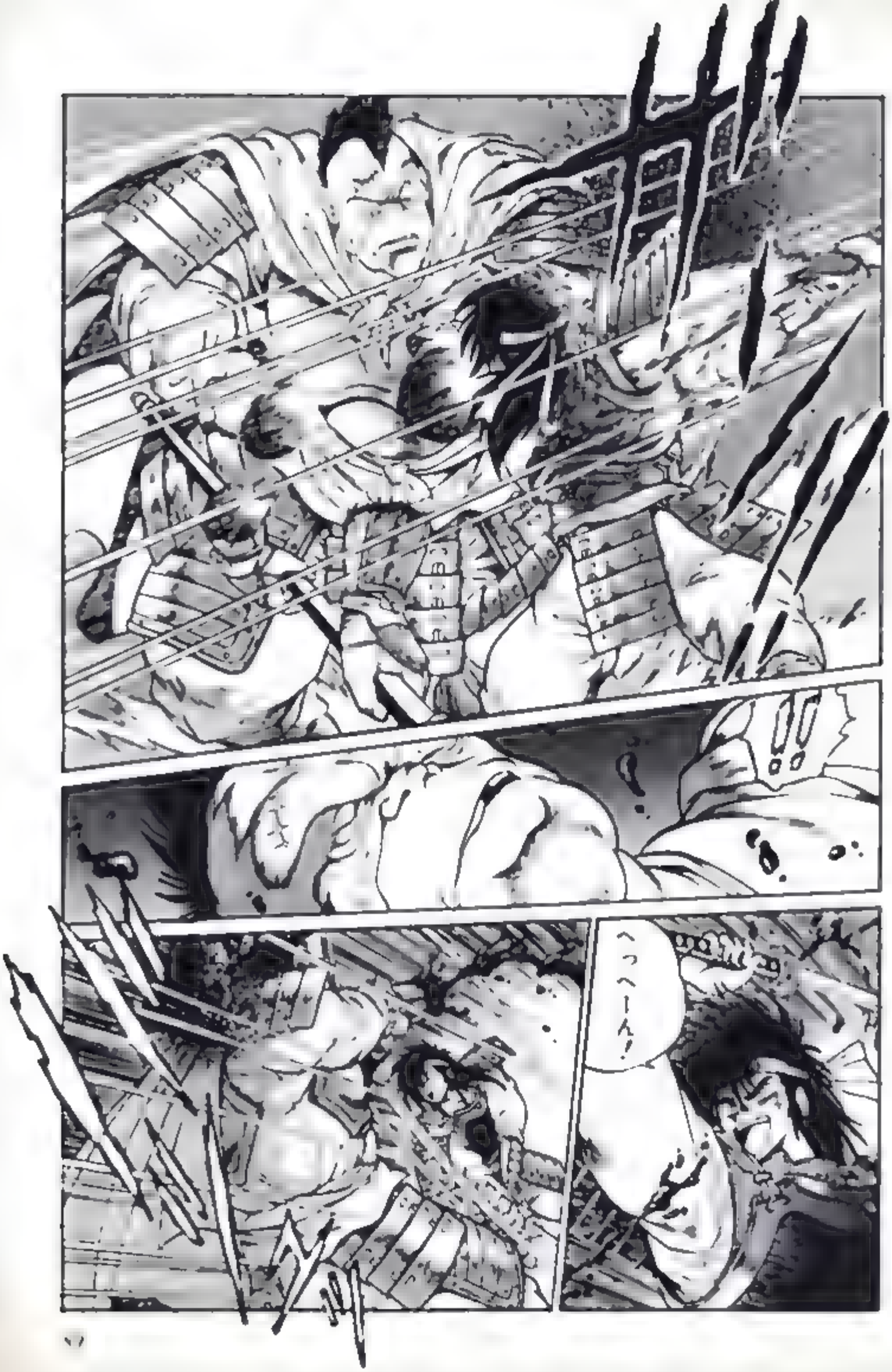
ちいっ"
わっ"
な
なんだ"
ズズズズズズズズ

敵が乗り込んでくるぞ!!
やばいぜ!!
うろたえんなバカ野郎!!
留守を守んのが俺達の役目だろうが!!
!!

!!
へっ！
でたな！大将か!!
ぐふふふ

どんな野郎かと思えばガキかよ！
がっかりだぜ…!!
とっとと帰って母ちゃんのオッパイでも飲ましてもらいな
うるせえデカブツ!!

どわっ!!
てててて
たいしたバカ力だなええ大将!
ガハハハハ口だけは達者だな
切り刻んでやらあっ!!
おもしれえやれるもんならやってみやがれ!


!!
へっへーん!

あれは
DOM
DOM DOM
敵大将
討ち取ったり〃

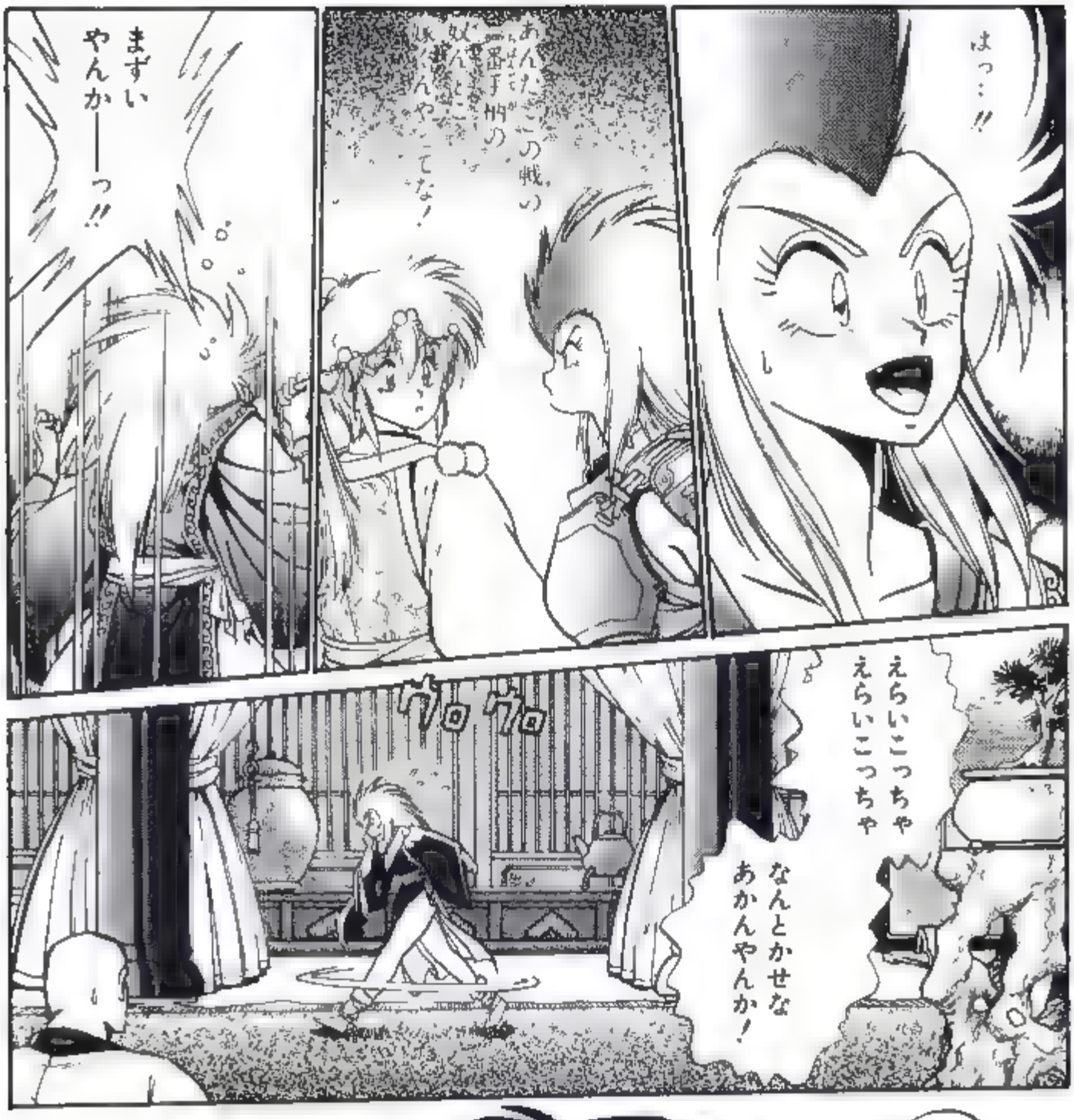
なにっ！
敵戦艦が後退を始めただと!?
ふふ あのボウヤやってくれるね
はっ 両側面より前線を縮小し後方部隊より引き始めました
四〇七七か 前衛を突破しましたからな 後方遮断の効果が出始めましたな
よし 敵を追え！ 第2戦線ができる前に叩きのめすんだ!!
競争だぞ！ 全艦全速だ!!

羅鶴の艦隊の脱出を援護しなければなりませんな
やつらの遅退戦闘はうまくいった
問題はこの目ざわりな先鋒師団だ
俺の罠を噛み破りやがった…
こいつらには小手先の戦術は通じんようだな
羅鶴か!?

狼刃！
しゃらくせえっ!!
羅鶴を
討ち取ったぞ!!

ご報告
申し上げます！
うむ
なんだ？
狼刃将軍率いる
第一軍団
敵前線を突破
敵陣深に大損害を
与えたようです！
それは
いい知らせだ
我々の
進撃速度も
上げねば
ならんな

狼刃のことなんかどーでもええわ！
うちが知りたいんは雷のことや！雷の四〇七七師団はどーなっとんのや!!
ははっただいま入りました知らせによりますと
先鋒として敵前線を見事に突破し第三軍団に勝利をもたらしたそうです
えらいっ!!!
ひっ
見てみいうちの思った通りや！いきなり師団長になってこの手柄やで大した奴や!!
一番手柄は雷のもんやで


はっ…!!
あんたこの戦いの一番下っ端の奴隷やってな!
まずいやんか――っ!!
ウロウロ
えらいこっちゃえらいこっちゃ
なんとかせなあかんやんか!

紫紋姫様!

あら
えーと…
蘭々だったわね
李張老師様の
お弟子さんの…
何かご用？
はい
ちょっと
聞きたい
ことがあって
姫様は
今度 一番手柄の
方のところに
お嫁に
行かれるって
本当ですか？
まっ
どーして
知ってるの？
兵隊の間で
ウワサに
なってました
やだ——
なんか
恥ずかしいな
姫様は
強い男が好き
なんですか？
……
あたし 自分の最が
亡んだ時
思ったの
強い人なら
あたしを置いて
いっちゃうことは
ないってね

愛する者を
もう二度と
亡くしたく
ないもの…
ふーん
こら
蘭々
失礼ですよ
もどりなさい
あっ
お姉様
申しわけ
ありません
何分子供なので
お許し下さい
いえ いいの
じゃあね
蘭々
今度
来る時は
姫様の婿殿を
占ってあげる
ええ？
やだ！

紫紋——っ!!
麗羅様!
麗羅!
ここにおったんかさがしたで!
な、何か用なの?
うちと一緒にこい!
ちょ ちょっと 何すんのよ!
ゴゥ

えっ
なに？
男達の銃後を
守るんが女や!!
お嬢さん暮らしの
あんたに
武将の妻の
なんたるかを
た――っぷり
教えたる!!

紫紋様!!
きゃん!!

なんやなんや
そのへっぴり腰は!?
んなもんでうちの
突きをかわせると
思ってんのかいな!
せやけど
これからやて!
ほんまの稽古は!!
ほらっ
立たんかい!!
……
麗羅様
もうおやめ
下さい!
外野は
黙ってき!
これは稽古や!!
おお
やっとる
やっとる
道師様!!
そんな
悠長なことを
いってる
場合しゃ
ありません!
麗羅様は
槍の使い手
紫紋様が
怪我をなされたら
どうなさいます

華玉よ
おぬしまだまだ
剣先の鋭さまでは
見抜けぬ
ようじゃな
え？
ちっちっ
まあ
見ておれ

ほらほら
逃げ回っとったら
何にもならへんて
はーははは
なんや
おまえんところの
親父は
逃げ回ることしか
教えんかったんか
〃
!!

どう？
逃げ回ってる
だけじゃ
ないでしょ！
こ、
このお～!!
なめ
くさるな!!

ゴホッ
うちを
なめたら
許さへん
でーっ!!
もう
容赦せんわい!
なによ
ヒステリックね
あなたは!!
うるさい
うるさい
そのお嬢様根性
叩き直し
たるわ!!
やれるもんなら
やってみなさいよ
このアバズレ!
なんやてぇーっ!!
ほっほっほっ
よいよい
若い者は
元気が一番じゃ
道師様!!

ところで
どうじゃ
城を覆っていた
邪気はまだ
感じるか？
え？
はい
感じます
それも
ますます
強く…
五丈軍が敗れる
のでしょうか？
いや戦など時の運
このような邪気を
感ずることはない
これは内なるものしゃよ
内なるもの
とは…
だれか悪い人が
いるのかなー？
これが個人の
発する邪気なら
恐ろしいことじゃな
その男は五丈の運命を
変えようとしておる
五丈も決して
一枚岩では
ない
しばらく
暗黒の時代が
続くやもしれん
その先に
一大英傑が
現れる
やもな
はあああっ!!

!!
ガッ
ヒュン
け…けっこう手こずらせてくれたな
せやけどこれできまりや！

どーや？
うちには
かなわん
ちゅうこと
わかったやろ？
わかったなら
態度を
改めるこっちゃな
トン
トン
五丈の国の
ええ男は
み――んな
うちのもんや
当然雷も
うちのもんや
ハッ
亡んだ国の女が
うちの国で婿探しなんて
図々しいにも
ほどがあるで！
このドロボウ娘!!
あ〃
わっ！

な…
なにすんのや!!
まだ
終わっちゃ
ないわよ!
なんや
てーっ!!
ボカボカボカ
きいいっ!!
キャッ
なにさっ!
ど…
道師様…
うわあ
う~~~ん
少々まずい
かのお
しかし
中に入ったら
こっちが統御きに
されるな

もお――っ
許さん！
殺す!!
それは
こっちのいう
セリフよ！
いたい
いたい
これは一体
何事ですか!?
おおっ
麗羅様と
紫紋殿が!!
おお
これは
呂斉殿
いやはや
えらいことに
なってしまった
わい
呑気に
構えてる場合
ですか!!
おい
お二人を
お止めしろ！
それは
やめといた方が
よいぞ
お…
おやめください！
姫様!!

じゃますんなーっ!!
……
だからいったじゃろが
ガア ガア

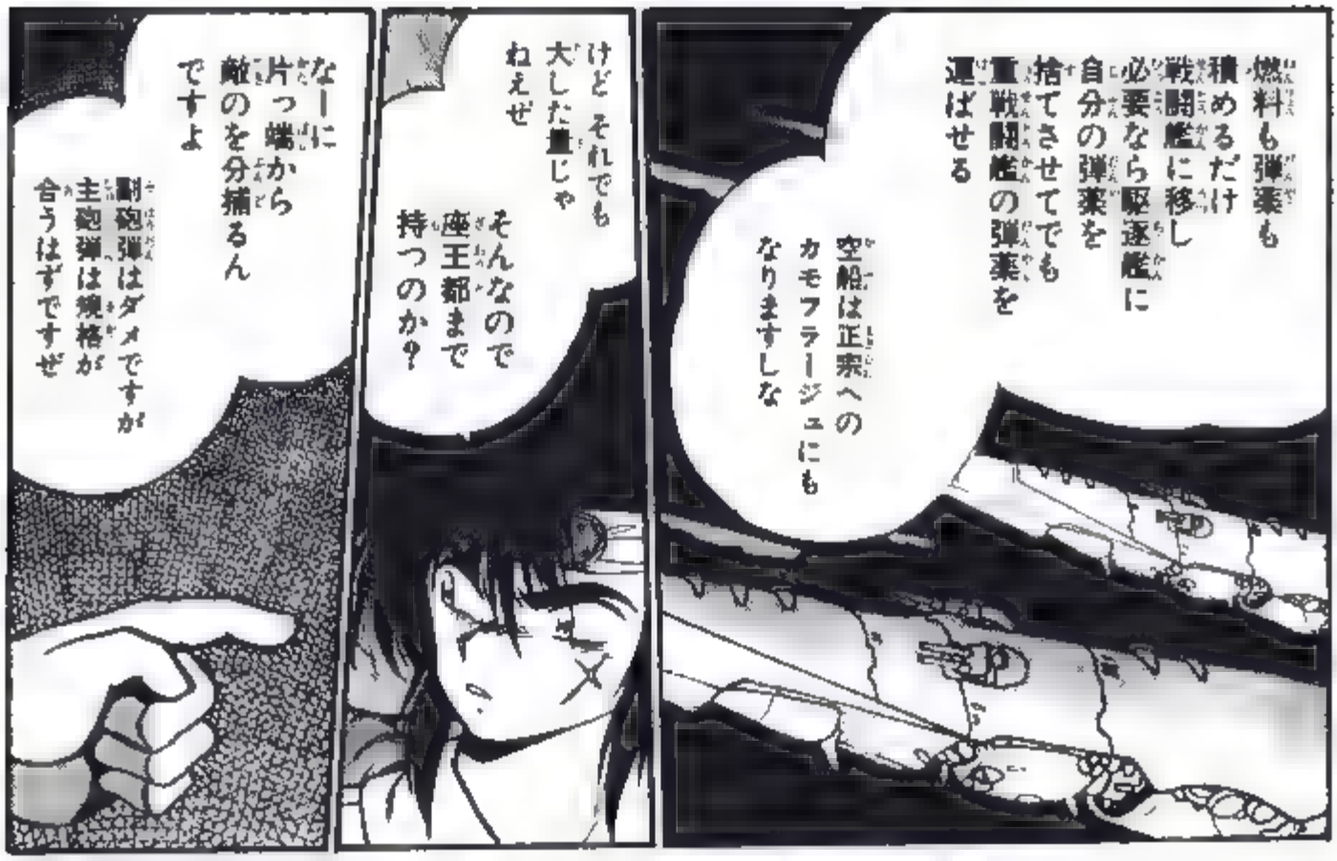
はぁ
はぁ
はぁ
ハァ
ぐすっ
グズ…
うわぁぁぁん

あらあら
いや――
二人とも
青春じゃな
若い者は
ええのお
あのお二人
あのままにして
よいのですか？
よいよい
なすがまま
なるようになる
ゴイン
ゴイン
紫紋
なに？
雷は
渡さへんで！
絶対に
んもう
あたし彼とは
何でも
ないのよ
なんでそう
気にするの？
ほんまに
そう思っとん
のか？

……
あんたが一番手柄の男のとこに嫁に行くっていうたんは
雷が一番手柄になるって見込んでのことちゃうんか？
そ…そんなことないわよ
あたしは父の夢を継いでくれる人なら誰でも…いいの
うそつけ！
それやったらんな条件出すわけあらへんやんか
力のある奴はぎょーさんおるで
それはそうだけど…
ドキドキ
……
……
雷んところに電話せーへんか？
いいのそんなことして…？

軽いもんだったな！
あーハラへった!!
俺が機関室で見せた大立ち回り見たか？12人相手だぜ
メシは？
血糊が取れねえ
つ～～～～一発腹かすりやがった
戦死4名 負傷57名 捕虜224名
抜刀隊の損害はこれで全部ですな
戦艦3隻相手じゃ上できさ
大したもんだな四〇七七の抜刀隊は
いや師団長が敵将の首をあげたんで早く片づいたんできさ

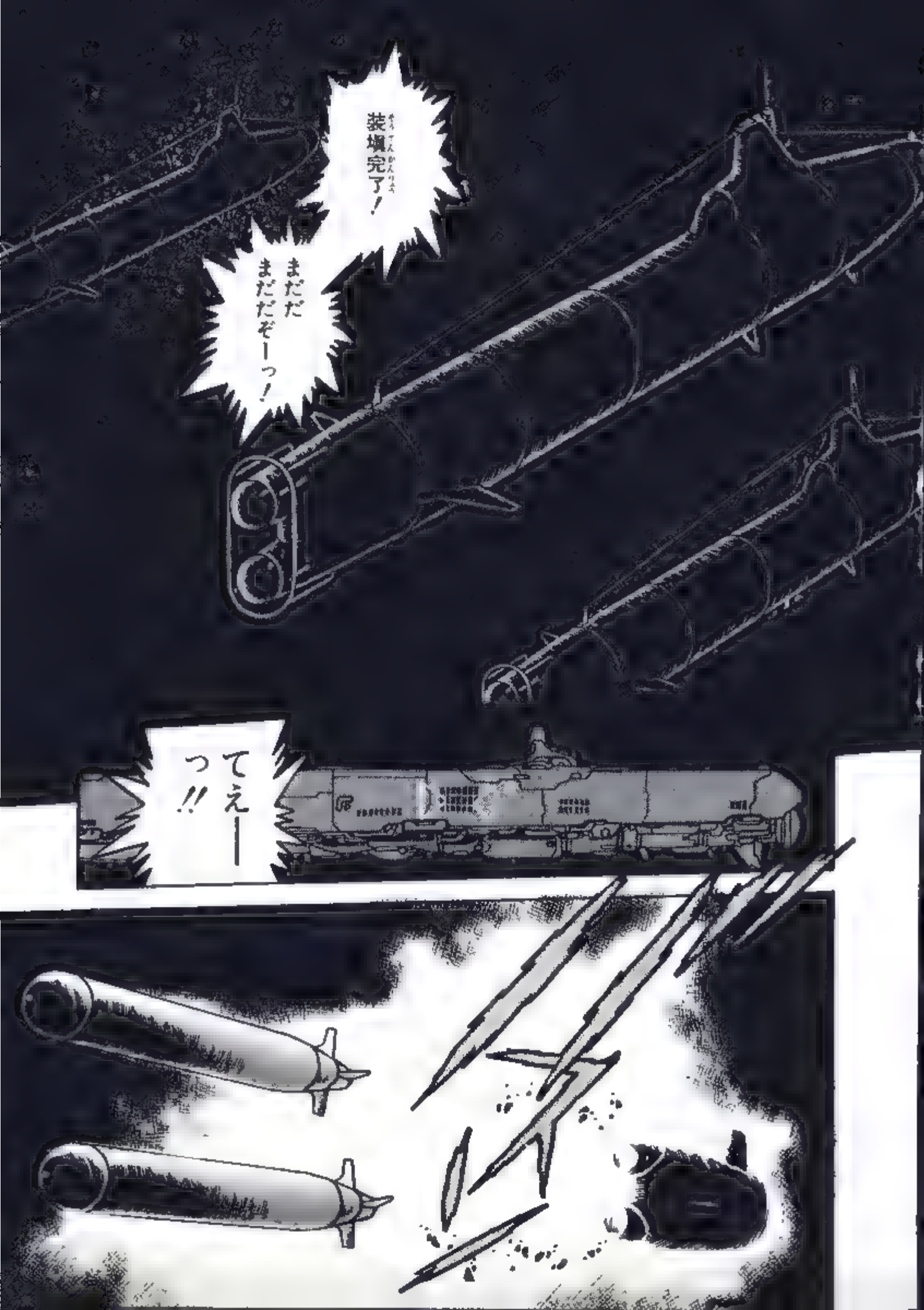
ただ
戦艦の損害が
山城は戦闘不能
重巡妙高・足柄も大破
輸送部隊の半分は
やられました
戦力は半減か・
俺のせいだな・
南天のやつら
俺達の足を
止めたいらしいな
そうですな
機動部隊を
囮にしての
兵站への攻撃は
我々を
干上がらす
ためだけでは
ないでしょうな
確かに
輸送船団を
かばってちゃ
歩みがのろい
よな
きっと本隊の方も
同じなんだろな
どうすりゃいい？
無防備の
船団を連れて
これ以上進撃するのは
むずかしいですな
身軽にならなければ
戦線突破は
できんでしょう
輸送船団を
捨て置くのか？
戦いの前
反対した
じゃねえか
中身だけ
持ってくん
ですよ


燃料も弾薬も
積めるだけ
戦闘艦に移し
必要なら駆逐艦に
自分の弾薬を
捨てさせてでも
重戦闘艦の弾薬を
運ばせる
空船は正宗へのカモフラージュにもなりますしな
けど それでも
大した量じゃ
ねえぜ
そんなので
座王都まで
持つのか？
なーに
片っ端から
敵のを分捕るんですよ
副砲弾はダメですが
主砲弾は規格が
合うはずですぜ

おもしれえ
海賊っぽくていいぜそりゃ！
じゃあ
たちに
手配を
副師団長！
まだ
あの返事を
聞いてねえぜ
俺のやり方が
間違ってたのを
知ってて
止めなかった理由を！

ありゃ
大したことじゃ
ねえですよ
ここの戦力
船の火力
兵の力
師団のクセや
特徴
自分の思う通り
戦ってみて
初めてそいつが
わかるんですよ
戦いの結果なんか
どうでもいいんです
あんたがこの師団を
知ってくれりゃいい
ああ…
ここのことが
少し
わかってきたよ
俺達も
あんたのことは
よくわかった
お互い
わかり合えば
怖いもんなしって
ことだ
そーだな

機関停止
各部閉鎖！
通信も
これで終わりだ
これより
発火信号のみと
する！
電探捜索を
やめて3時間
主力艦を
やりすごして
待ったかいが
あったぜ
前部発射管
魚雷装填！
四方に
重巡がいる
輸送船を
狙え
全弾
ぶち込んだあと
反転して
後部発射管で
やる！
第1小隊は
前の艇団を
狙え！
残りは
後の奴に
集中雷撃だ

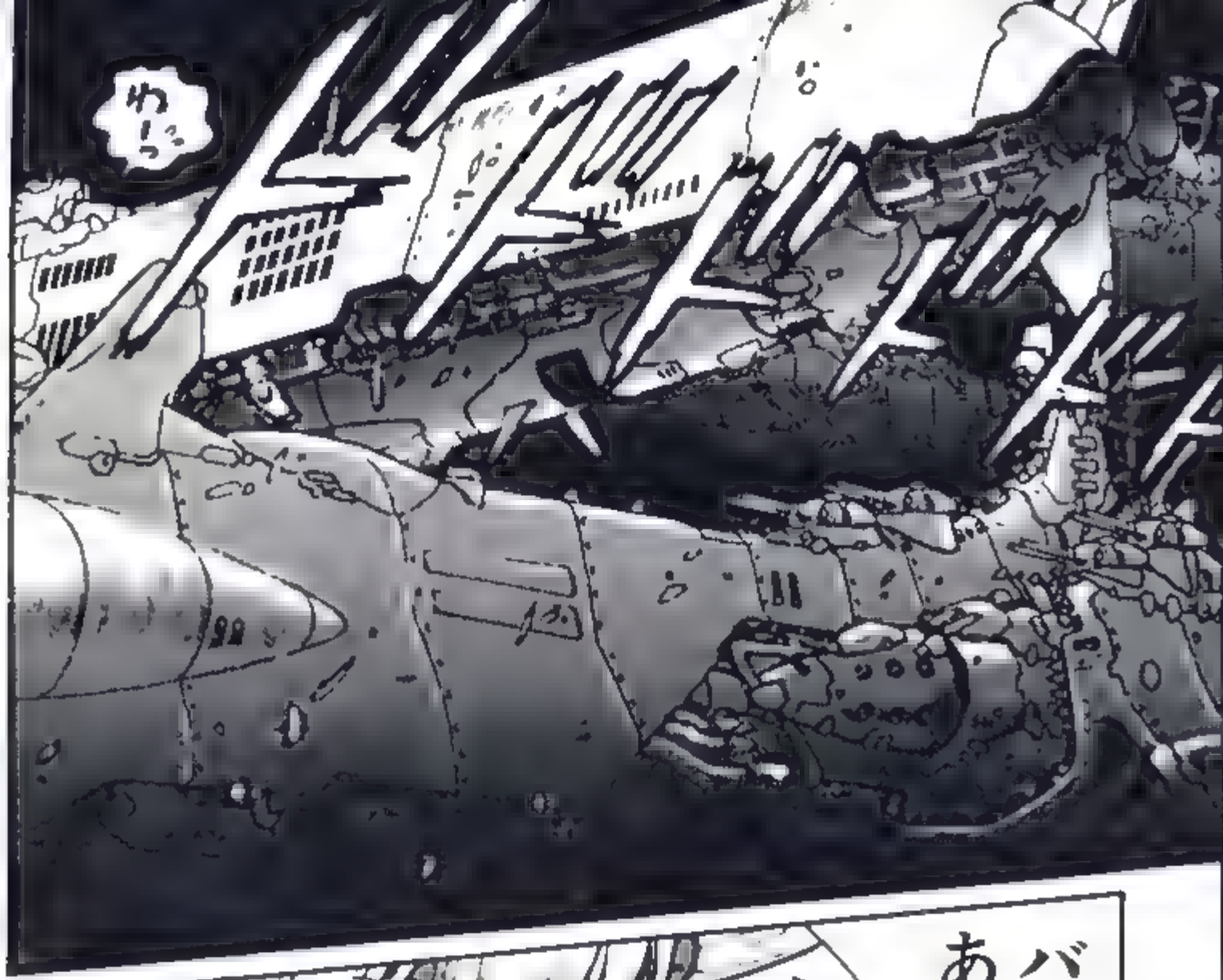

装填完了！
まだだ
まだだぞーっ！
てえーっ!!

SHEEOOWW

ZBoooomm

また雷撃されただと!!
はっ 主力艦の速度に追いつけない輸送船団がやられました
恐らくいたる所にこのような伏兵を配しているようです!
対潜哨戒を強化しろといったはずだぞ!
やったか敵前線を突破したかと思えば伏兵か連中は時間を稼ぎたいのか?
縦陣を討ち取ったとはいえ南天軍は最小限の損害で撤収を成功させていた
そして後方に布陣して狼刃の先鋒を叩いたと思えばまた後退するという遅退戦を展開していた

それは
おかしい
ですな
この戦は
やつらの方から
仕掛けてきたの
ですぞ
戦備も整え
満を持しての
開戦のはず
今更時間を稼ぐ理由など
ありませんが
それも
そうだな
さらに狼刃にとって
やつからいなことか
起きていた
どけどけどけーっ！
道を開けろおっ!!
上からの進撃速度に
業をにやした
後詰めの俄羅軍が
戦線に割り込み
第一軍団の後方で
混乱を起こしていたのだ


ゆ～っ

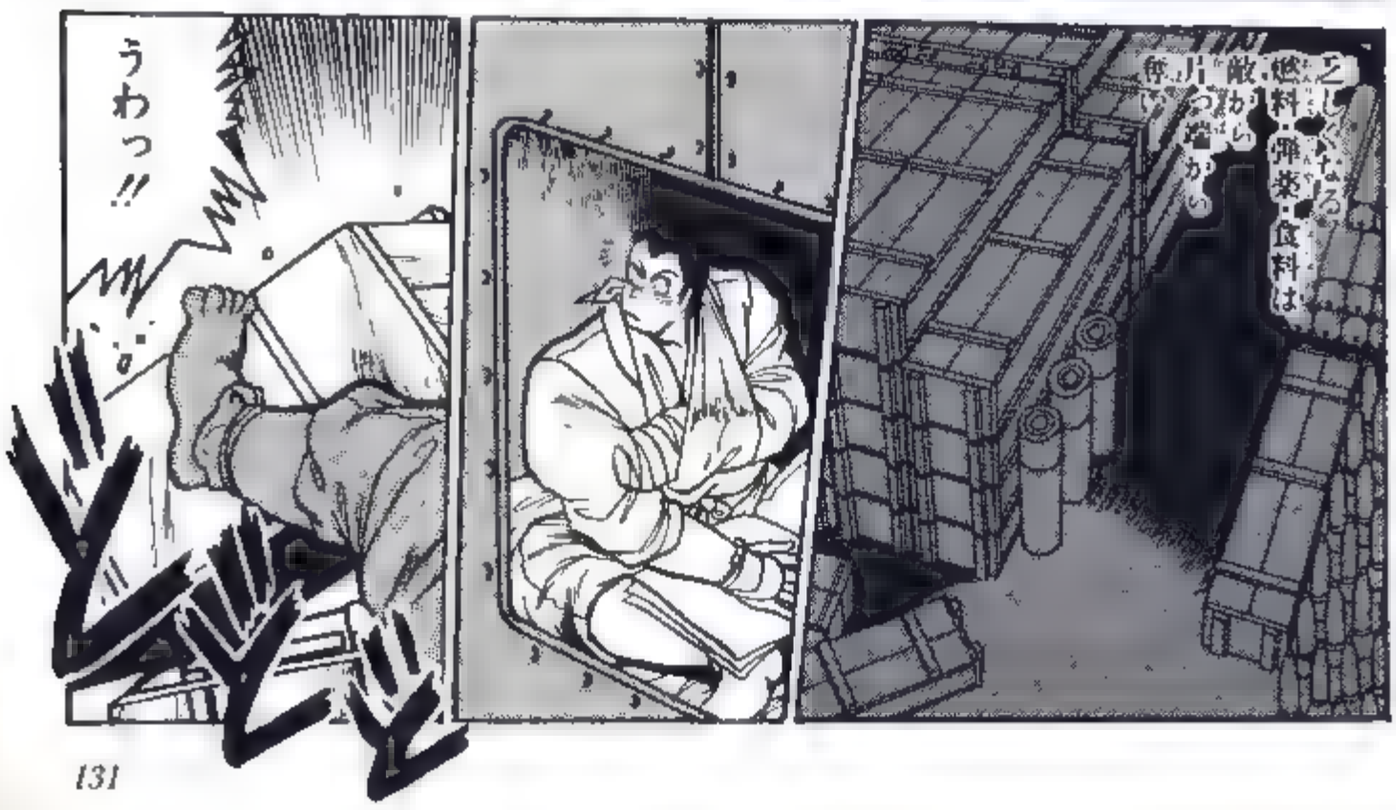
バカか
あいつは!!

こうなることは
予想されましたが
"教軍を
呼び出せ"
"将軍!
独刃将軍から
緊急通信
です"

ふん
やっぱり
文句を
いってきたか
よーし
回路を
開け
骸羅!!
よおっ
狼刃
元気か?
貴様いったい
何のつもりだ!
すぐさま軍を
引き揚げ
後方で待機
しろ!!
あたしの軍団の
邪魔をするな!!
おいおい
そりゃ
ねーだろ
俺はてめえの
手助けを
してやろうって
いってんだぜ
だまれ!!

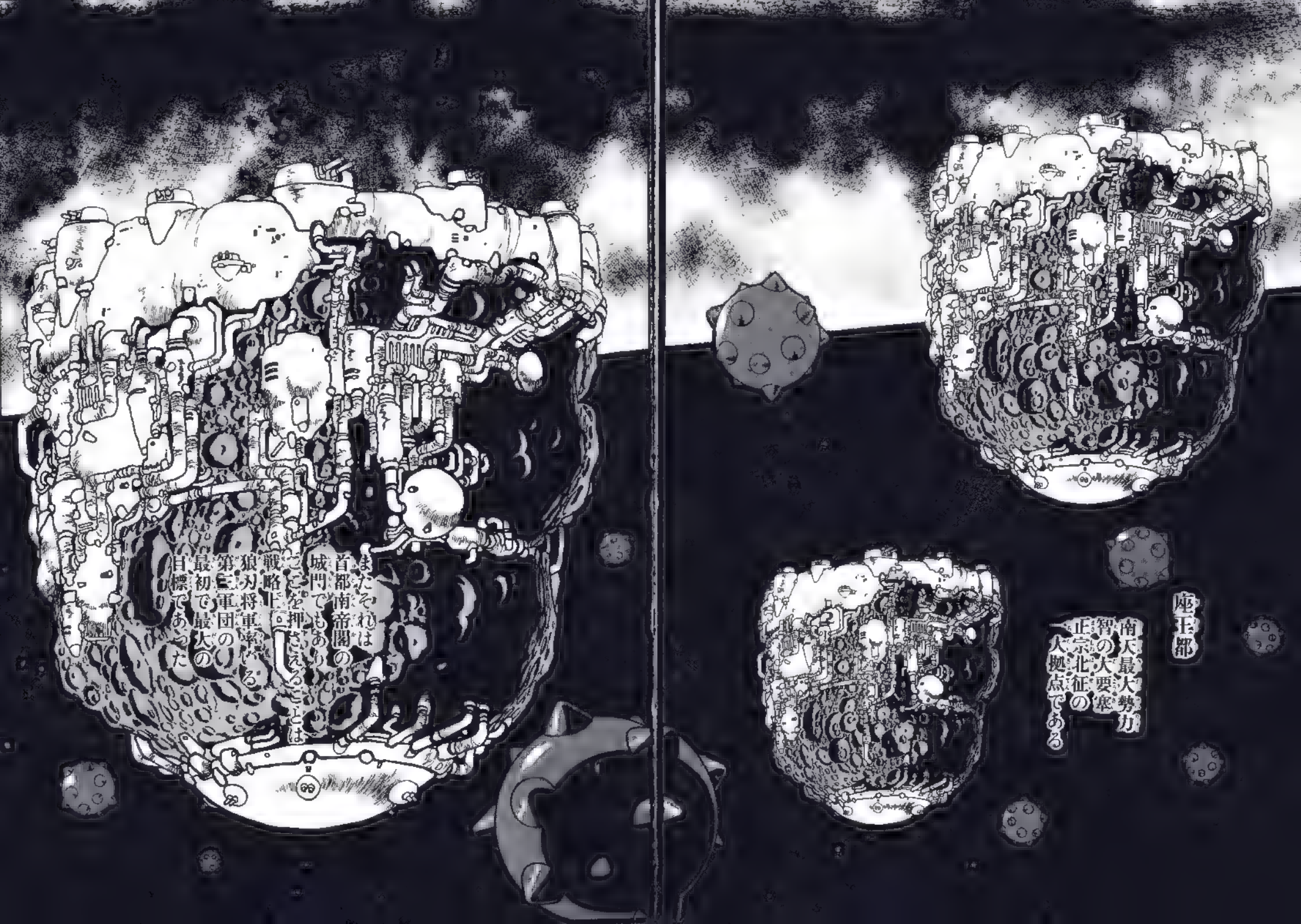
貴様また悪いクセがでたな!!
抜け駆けは許さん!さっさともどれ!
うるせえ!てめえがトロトロしてるからだ!てめえこそ下がれ!俺が先頭に立つ!!
止められるもんなら止めてみろ!!
骸羅まてっ…!!
かまわん!全艦全速だ!
どかねえ連中はふみつぶせ!
おおう!
後方での混乱とは別に、宙の半分を占める四〇七七師団は身軽になったため素晴らしい速度で突進した

敵の後方部隊
集結地点を
次々と襲い
南上都を
めざして
突き進んだ


うわっ!!

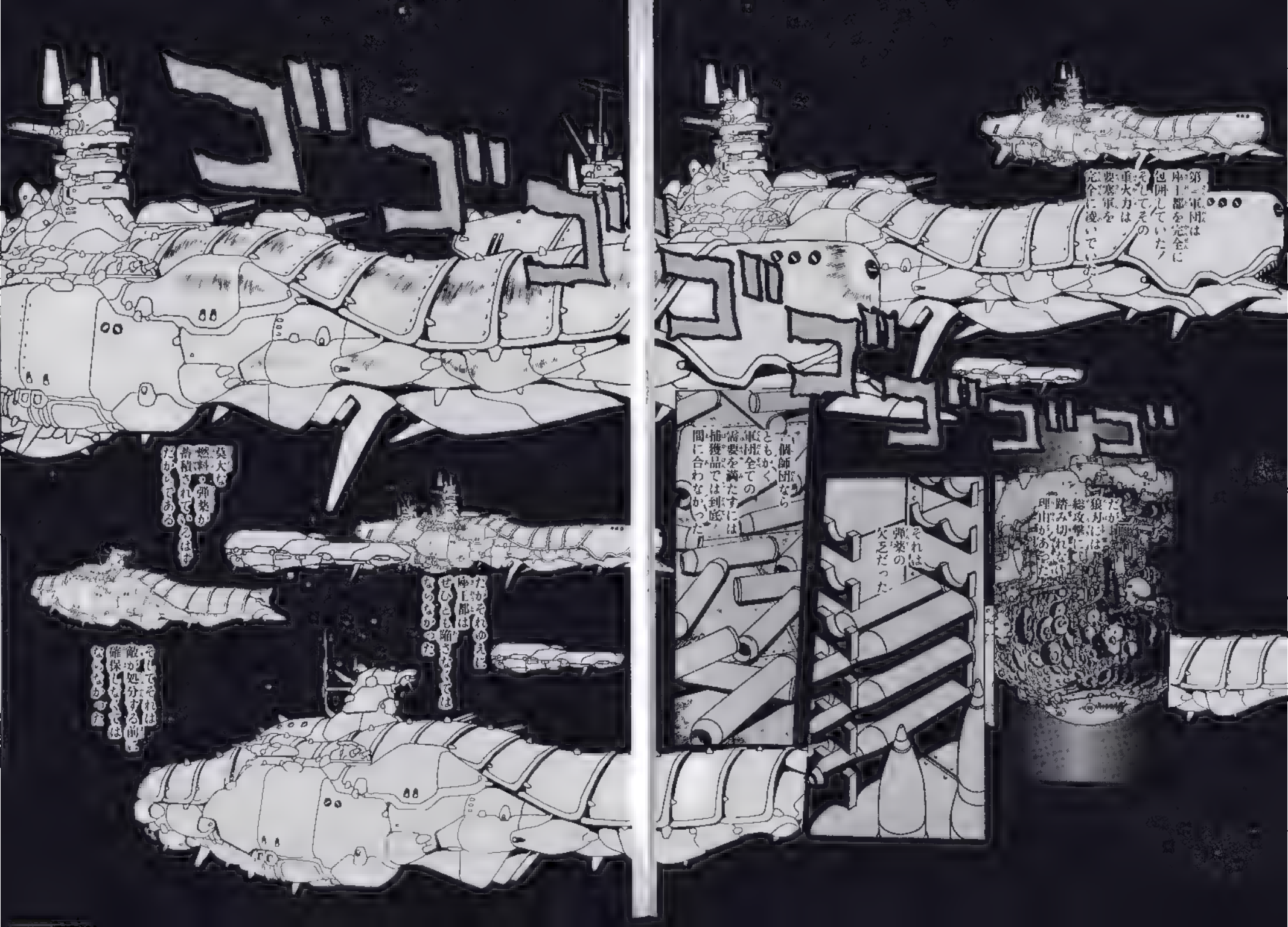
なんだ
これは!?
一気は
いかりそいは
置くとこ
ねえんだ
我慢してくれ
その進撃速度に
周囲も
色めきだった
それは
正宗の出陣表
通りであった

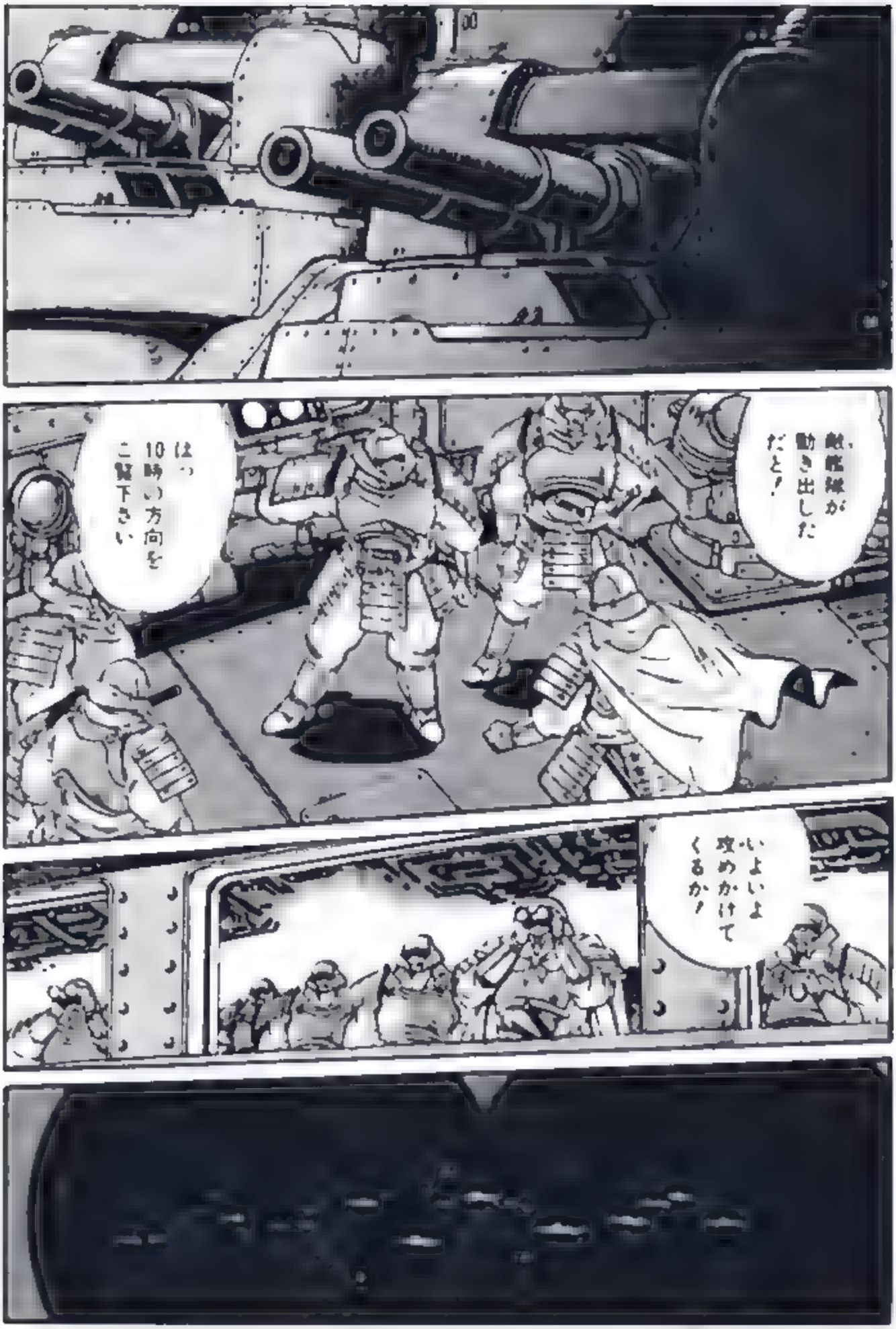
五丈軍
先鋒は
開戦より
二日目で
敵の最大拠点
座王都を
とらえた


座王郡
南天最大勢力
智の大要塞
正宗北征の
大拠点である
またそれは
首都南帝閣の
城門でもあり
ここを押さえることは
戦略上
狼刃将軍率いる
第二軍団の
最初で最大の
目標であった

ふん
砲台に機雷原か…
さすがに南天一の
要塞
備えに厚い
なしか
なーに
あんなの
大したこと
ねーよ！
一気に
やっちまおう
ぜ！
おまえは
少し
だまってな
雷!!
こっちの
弾薬・燃料が
不足してることを
忘れるなよ
敵の火力は
決して
あなどれん

ちっ！
ところで雷！
先鋒での働き
見事だったぞ
おう！
我々の邪魔を
してた敵は
おまえが座王都に
着いたと聞いて
遁走した
退路を断たれたと
思ったようだ
へっへー
こっちは
あんたらが
グズグズ
してるもんだから
俺達だけで
座王都を陥そうと
思ったのによ
調子に
乗るな
バカ！
いて！


第二軍団は
本土一部を完全に
包囲していた！
そしてその
重火力は
要塞軍を
完全に凌いでいた
だが狼男には
総攻撃に
踏み切れない
理由があった
それは
弾薬の
欠乏だった
機甲師団なら
ともかく
軍団全ての
需要を満たすには
捕獲品では到底
間に合わなかった
莫大な
燃料と弾薬が
消費されているはず
だからである
だがそれゆえに
本土一部は
せんとも陥ちなくては
ならなかった
そしてそれは
敵を処分する前に
確保しなくては
ならなかった

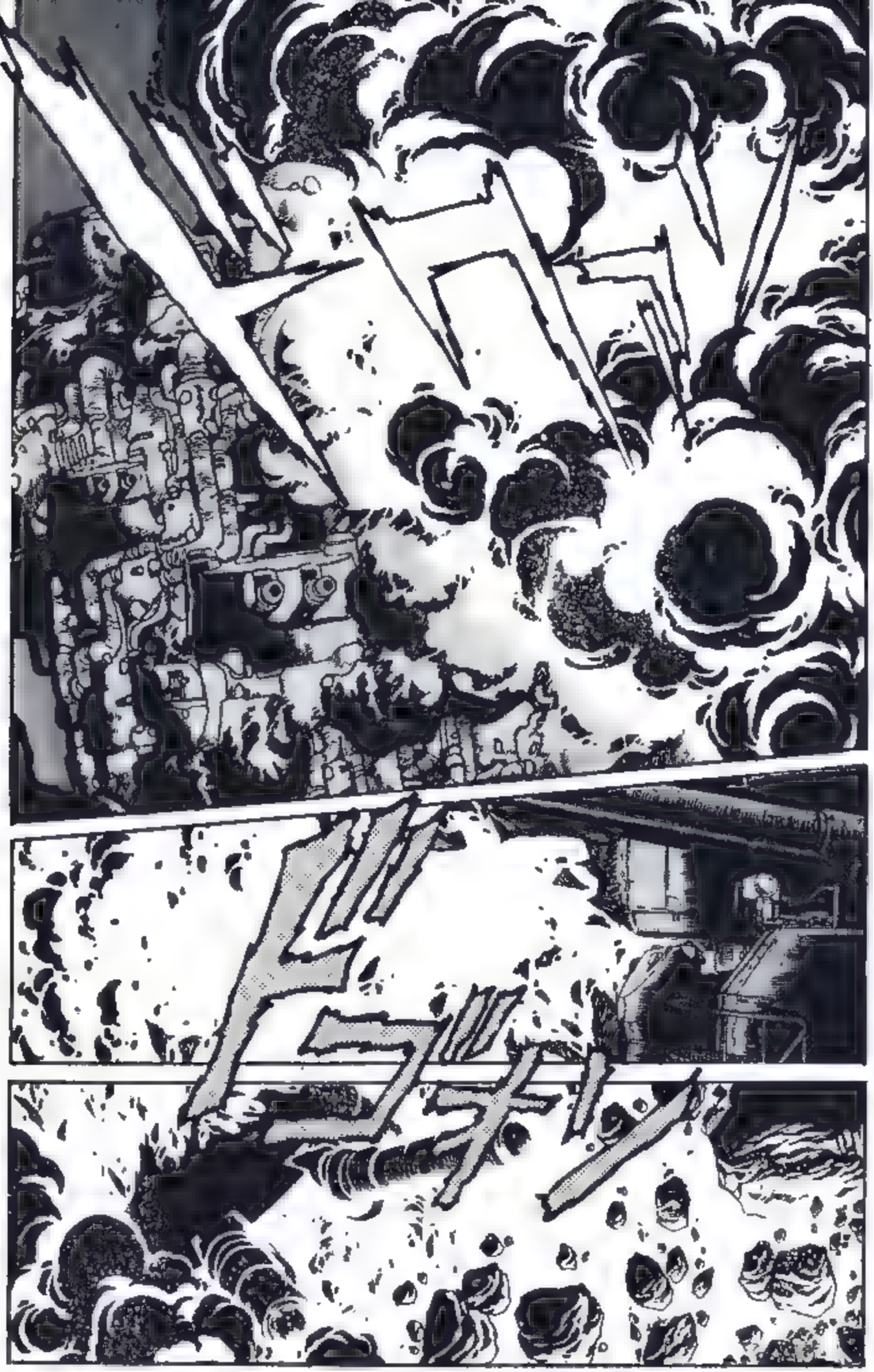

敵艦隊が
動き出した
だと！
はっ
10時の方向を
ご覧下さい
いよいよ
攻めかけて
くるか！

たしかに
それにしても
恐るべき
大艦隊だな
外周警備軍指令 王翼
総司令官は
何と申されて
ましたか？
自由に
戦えと
ただし
三日の間
持ちこたえよ
とのことだ
三日後は
とうせよと？
離中実績
してても
摩王都を離れろ
ということだ
座王都を
捨てろと
いうのですか!?
事実
ここには三日分の
弾薬しかない
全部使い切れとな
これは
お館様直々の
ご命令だ
お館様の!?
ただちに
応戦の準備だ！
急げっ!!
はっ!!

ゴゴゴゴ!!!
ズ ズ ズ ズ ズ

敵艦隊
急速接近！
正面に10個師団は
います！
まもなく
射程圏内に！
ようし
水雷戦隊を
準備させろ！
砲台が
引き受けてる間に
戦艦を襲え!!
ゴゴゴゴゴ

ゴゥッ!!!
ゴゥッ!!!
全艦射撃準備よし!
よし
ほどほどに
撃ち合えよ
撃てえっ!!


FIN

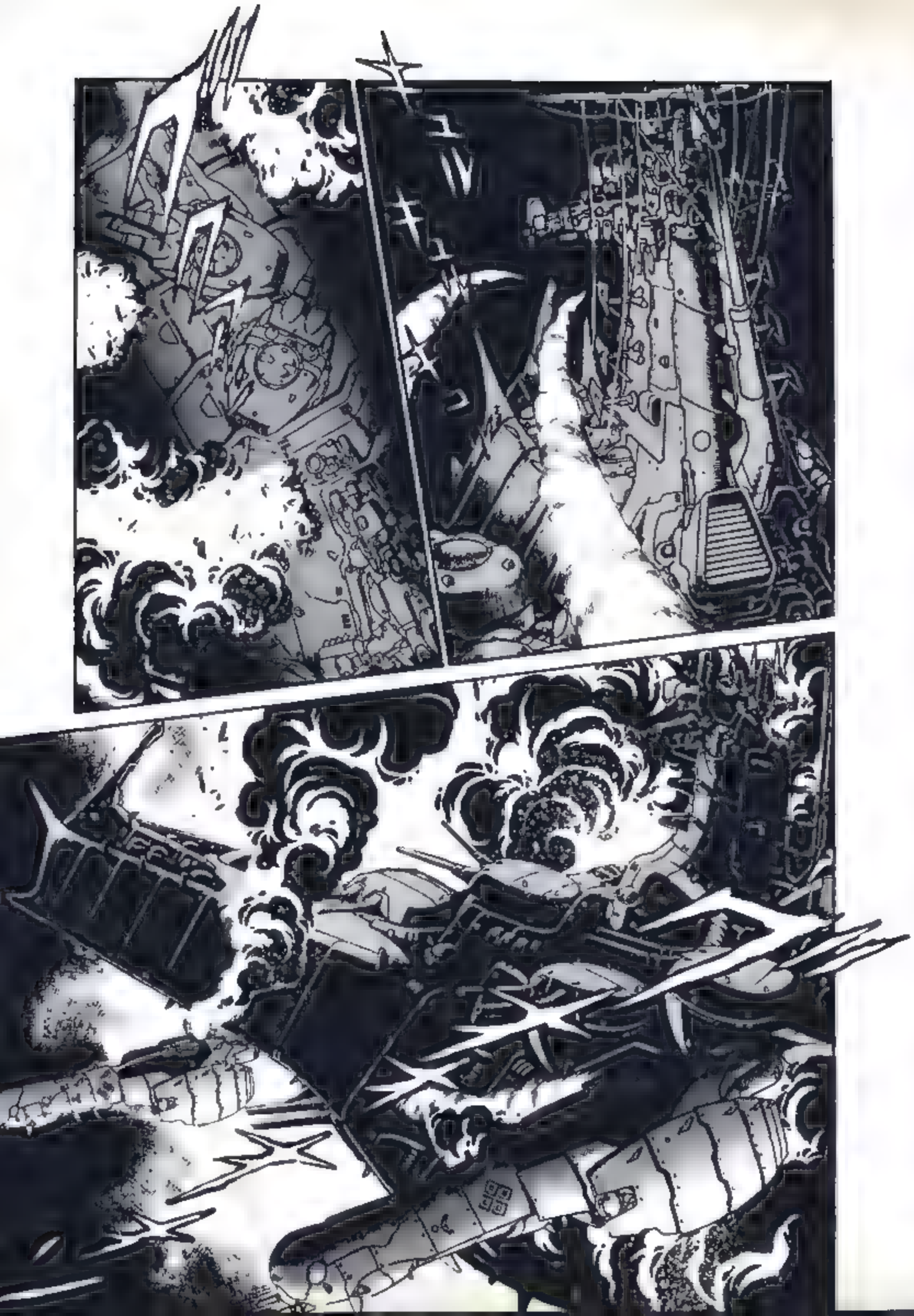
敵艦
射程圏内に
入りました!!
よし
撃てぇ!!

将軍
戦艦群に
少なからずの
損害がでています
大した火力だ
よし
戦艦を下げろ
ゆっくりとな
雷達の
準備は
できてるな
はっ！
四〇七七を
中心に選りすぐった
兵を配備しました
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ

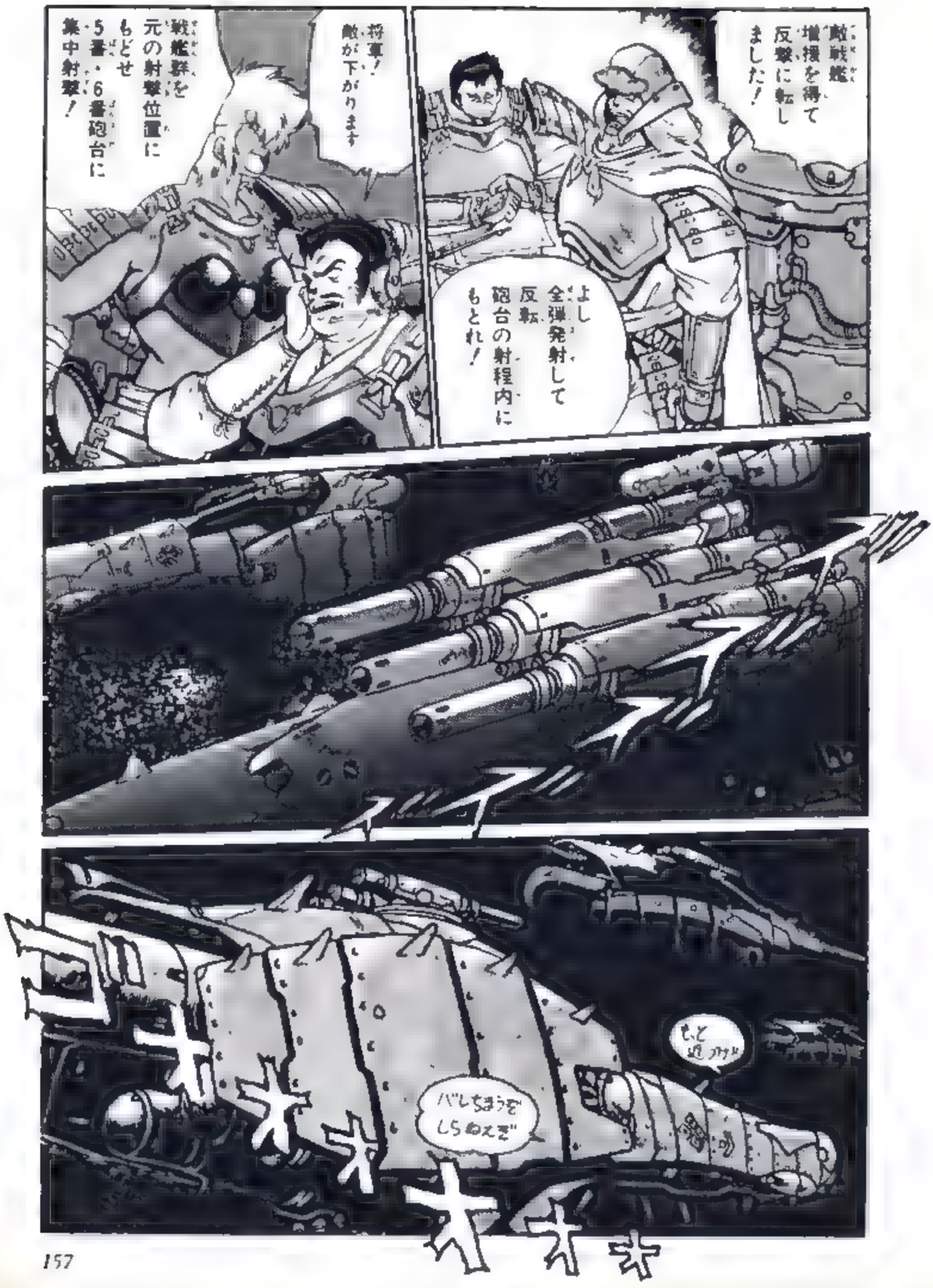
いて〃
ガハハハ
軸のとはいえ駆逐艦ってのは狭いもんだな
戦艦を捕獲しときゃよかったんだ
まあな小さいくせに大出力エンジンと重武装だ居住性なんて考えてねえよな
一発でも食らえば俺達バーベキューだな
けと大穴開いたら外が良く見えて爽快だぜ
師団長始まりますぜ
あれま艦橋も狭いなぁ〜
バーベキュー

この5番と6番砲台の間を実っ切ります
集中砲火を食らうかもなぁ戦艦の援護を信じるしかねーな
ならなぜこの任務を？
当然だろここまでがんばってきたのは座王都に一番乗りするためだせ
そーいうおいしい役を他の連中に先越されてたまるかってんだ！
座王都て待ってるのが酒と女ならともかく雨あられの砲弾じゃ割が合わねえけどな
ゴゴゴゴゴ

敵戦艦
射程圏外に
のがれようと
しています!!
戦闘を
中断させるな
追い討ちを
かけろ!!
雷撃を
食らわせて
挑発してやれ
そうすれば
次は本隊が
やってくるぞ



敵が撃って出たぞ！今、戦艦と交戦中！
よしいくぞ〃
ゴオオオオオオ


敵戦艦増援を得て反撃に転しました！
よし全弾発射して反転砲台の射程内にもどれ！
将軍！敵が下がります
戦艦群を元の射撃位置にもどせ5番・6番砲台に集中射撃！
もと通りだ
バレちまうぞしらねえぞ

敵と並んで行くってのも妙な気分だな

こいつらを全部捕らえたと思えばどうかな

ふふんそう思えば何となくいい気分だ

師団長敵砲台が射撃を再開しました

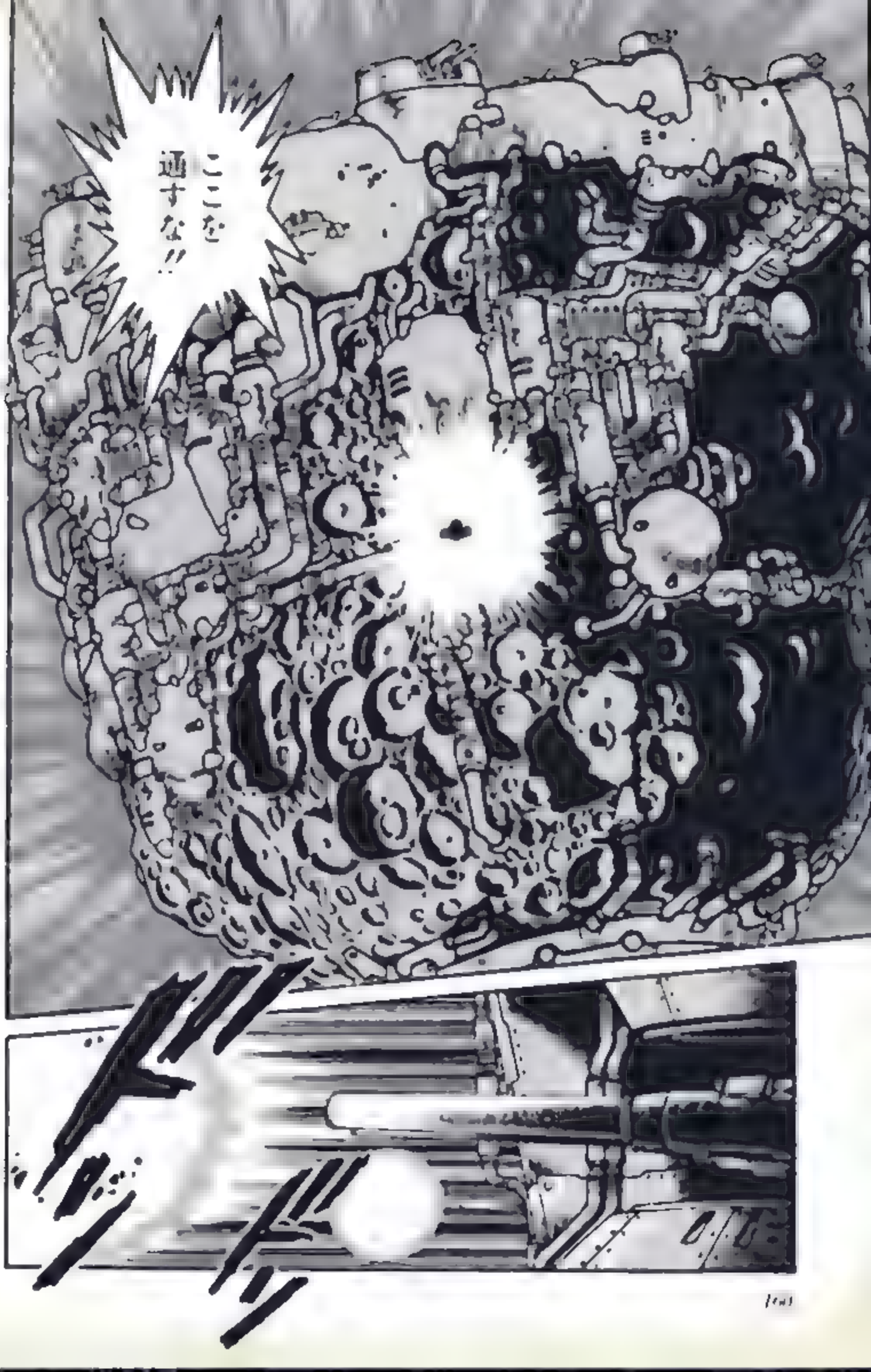
狼刃将軍の戦艦群が近づいたな

戦闘艦より発火信号！「全艦突撃せよ」

よーしこっちも全速だ！

ただし針路は逆だ!!

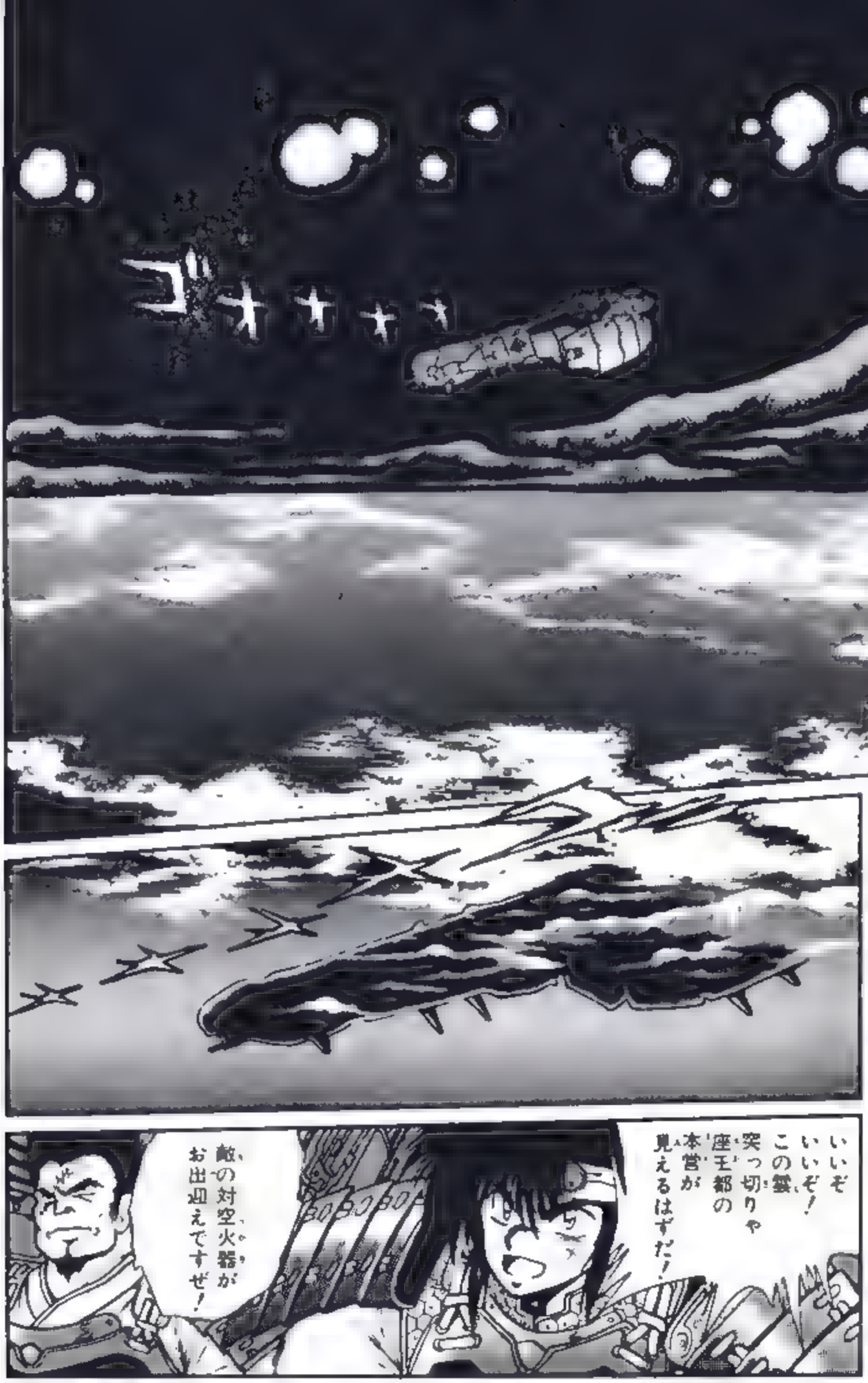
王華様
味方駆逐艦
1隻こちらへ
向かって
きます!!
なに!?
損害が
ひどいのか?
いえ
その艦は
全速を出して
います!
なんだと!?
しまった
そいつは
敵艦だ!
撃て!!
たかが
駆逐艦1隻だ
撃ち墜とせ!!


ここを
通すな!!

やばい
ばれたみたい
だぜ!!
今さら
何いってやがる
突っ込むしか
道はねえぞ!!
うわわっ!!

5番砲台の脇を突破されました!!
逃がすな! 撃て!!
敵戦艦が前進してきます!!
なにっ!?

敵の総攻撃です!!
総司令部に通信
敵艦1隻
防衛ラインを突破!
警戒せよとな!!
戦艦を近づけるな!
時間を稼ぎ敵を消耗させろ!

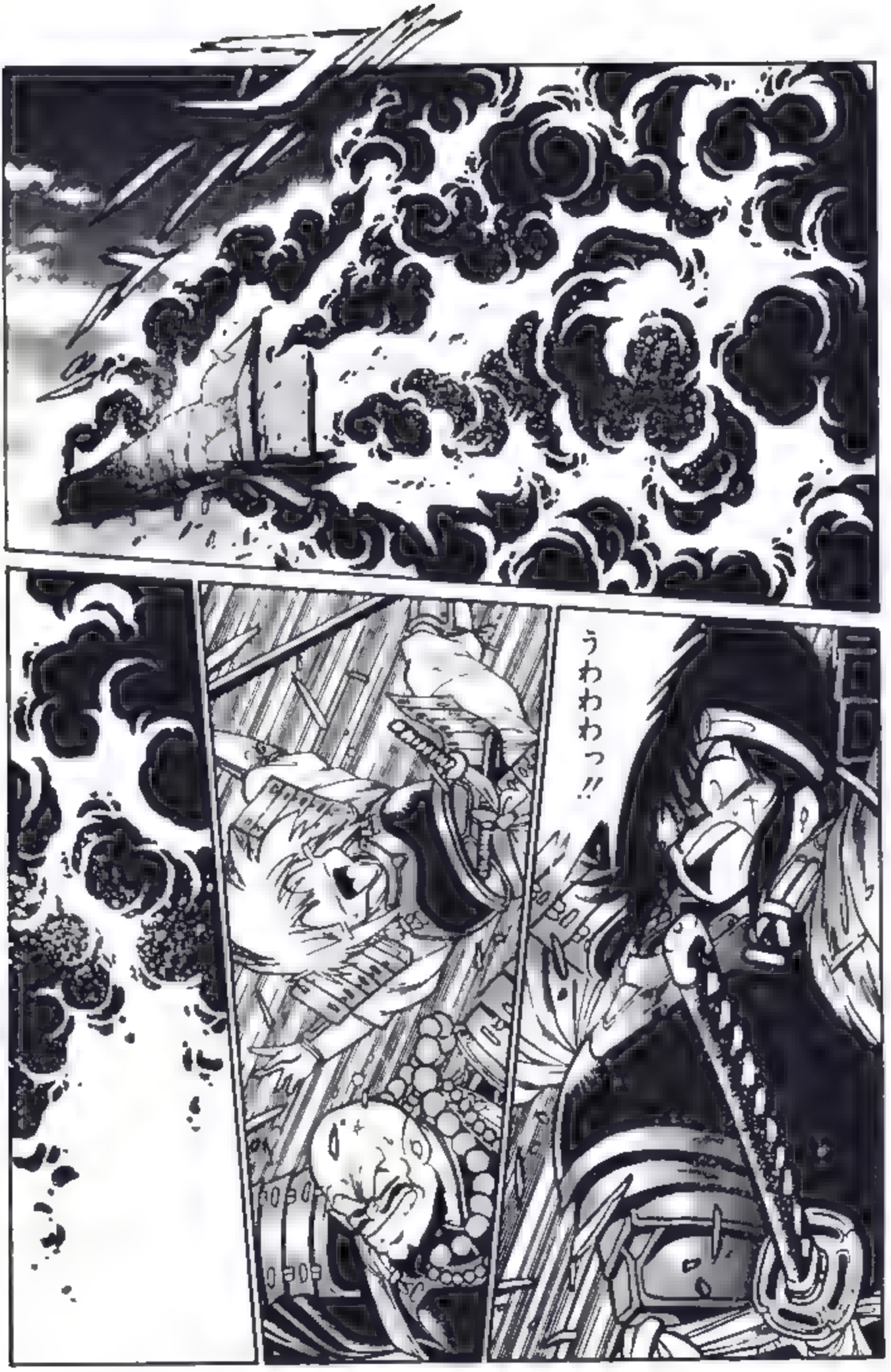

ゴオオオ
いいぞ いいぞ！ この調子 突っ切りゃ 座王都の 本営が 見えるはずだ！
敵の対空火器がお出迎えですぜ！

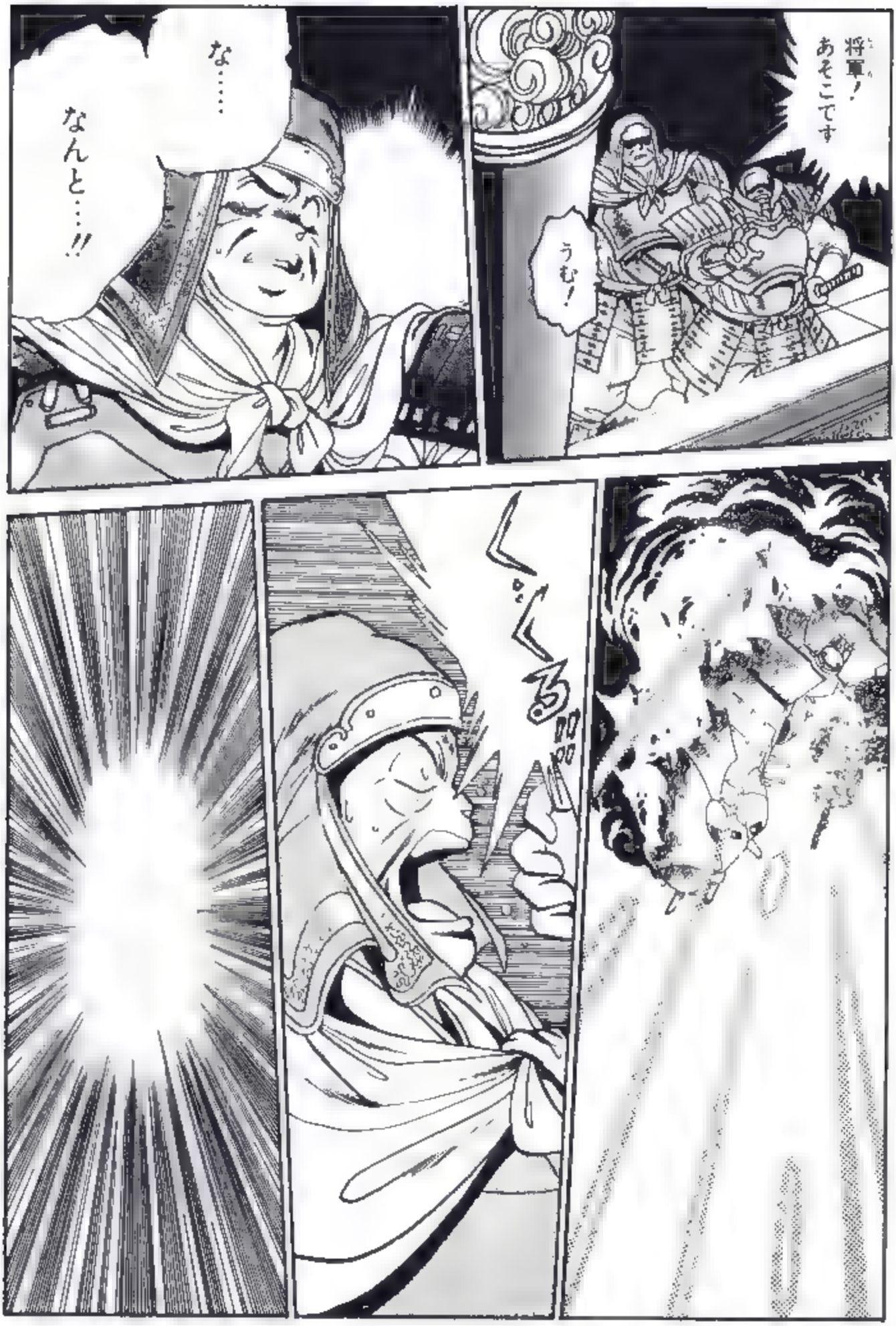
うん!?
あれは
うわっ!!
機雷だ!!

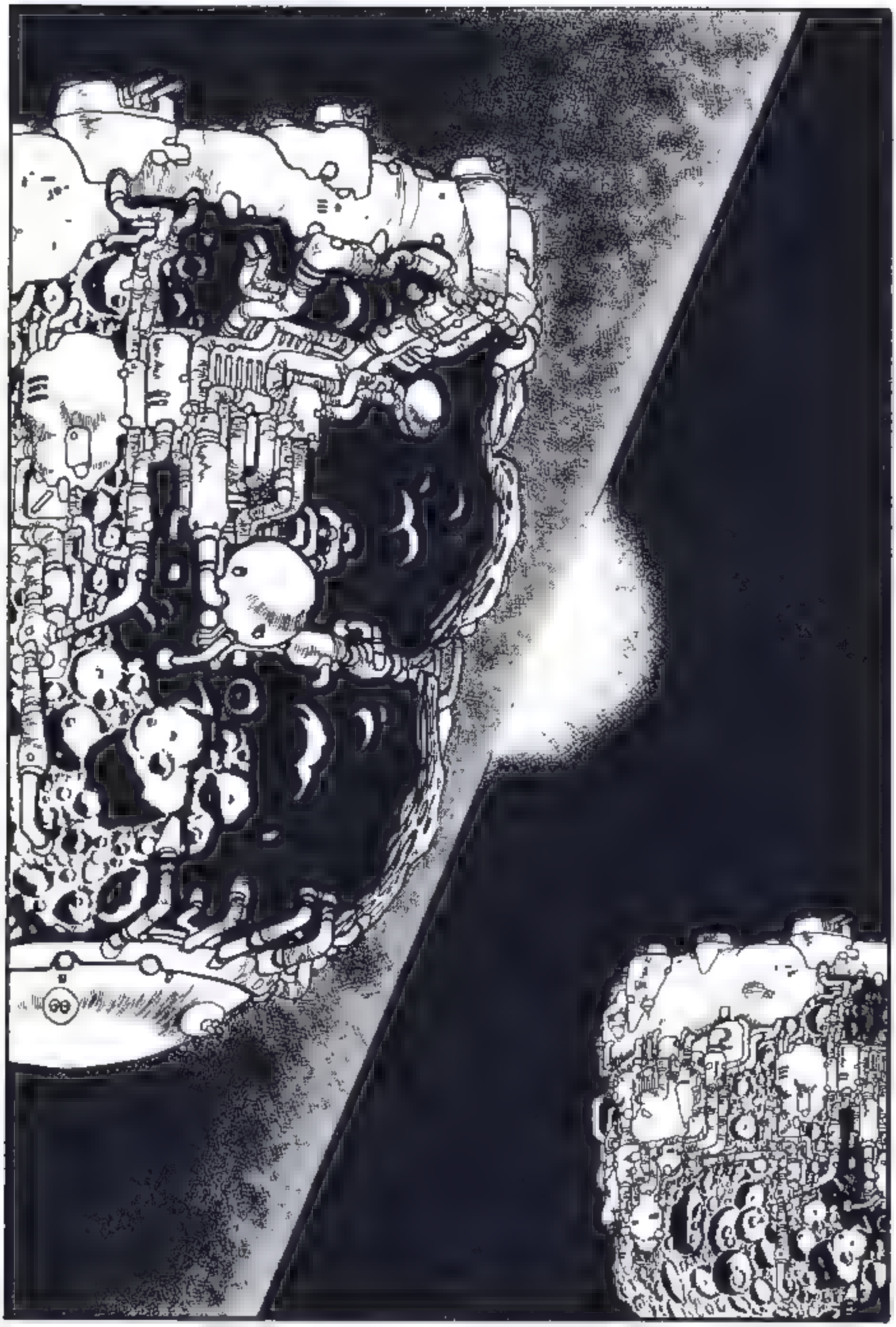
おおいっ!!
ちくしょう 蛇をやられた!! 動かねえ!!
太助! 生きてるか!?
うん! なんか やばいことに なったみたい!!
落ちるぞ!!

一大事でございます！
敵艦1隻防衛ラインを突破！本営上空に侵入しました!!
なにっ!!
防空軍は何しとる!!
迎撃するんだ!!
座王都守備隊総司令官　武尊
DOWOWOW

ドドドドド
くそっ ためだ 推力が落ちた!! 飛んでくれぇ!!
かまわねえ 落ちるにまかせろ!!
ちくしょう こんなところで ムシ焼きにでもなったら どこに化けてやらぁ いいんだよ!!
おいっ そっちに 火が回ったぞ!!
消火剤はもうねえよ!!


うわわわっ!!


将軍！
あそこです
うむ！
な……
なんと……!!



な…なにいっ!!
座王都本城が
陥ちただと!?
はっ 総指令官
武尊将軍は
討ち死に!
外周砲台も
ことごとく
敵の手に…

敵はたかだか
駆逐艦1隻だぞ!
城の陥た
状況を詳しく
申してみよ!!
はっ…
されば敵軍は
船ごと本丸に
突入し
そのため
指揮系統は
乱れ…
斬り込んできた
100名余りの
敵兵に
なすすべもなく
破れさりました…
100名だと!!
城内の守備は
5000は下ら
なかったぞ!!
し…しかし
我が兵は
全て乙装備の
老兵ばかり…
将を失っては
混乱するのみ…
しかも
敵軍は
数は少なくとも
それはもう
阿修羅のごとく…
想像を絶する
戦いぶりでした…

それておまえは
五丈軍の
使者として
ここに
送り込まれた
のか？
はっ…
我々に
降伏しろと？
速やかに
五丈の軍門に
降れば
命だけは
保障すると…
ぐわっ!!
死体を
前方の艦隊に
送りつけてやれ！
これが我々の
返答だとな！

これが連中の返答か
はっ
本城を陥せば戦意を失うと思ったが…
この王華とかいう奴…少しは骨があるな
速やかに座王都の燃料・弾薬を奪いさらに進撃せねばならん！
攻撃を再開しろ!!

第二軍団の総攻撃は数時間続いた

雷の奇襲攻撃で
帝王都の
燃料・弾薬を
早期確保したと
判断した狼刃は
全艦艇に
遠慮なく砲撃させた
こうなると所詮
旧式艦砲を装備した
砲台は
戦艦の相手ではない
はとなる
砲台は沈黙

城兵は
寡兵ながら
よく戦った
千代は
小太郎
残った城兵
一人
一人
運命を共にした

師団長！
孟閣副団長がすぐ来てくれと
おうっ！
いいぞ弾薬庫を見つけたな
兄き――オイラも連れてってよー
じゃあ早くこいっ！

よお孟閣
ここが弾薬庫か？
どうだ
1年分は弾薬が
あったろ？
自分の目で
見て下さいな
♫

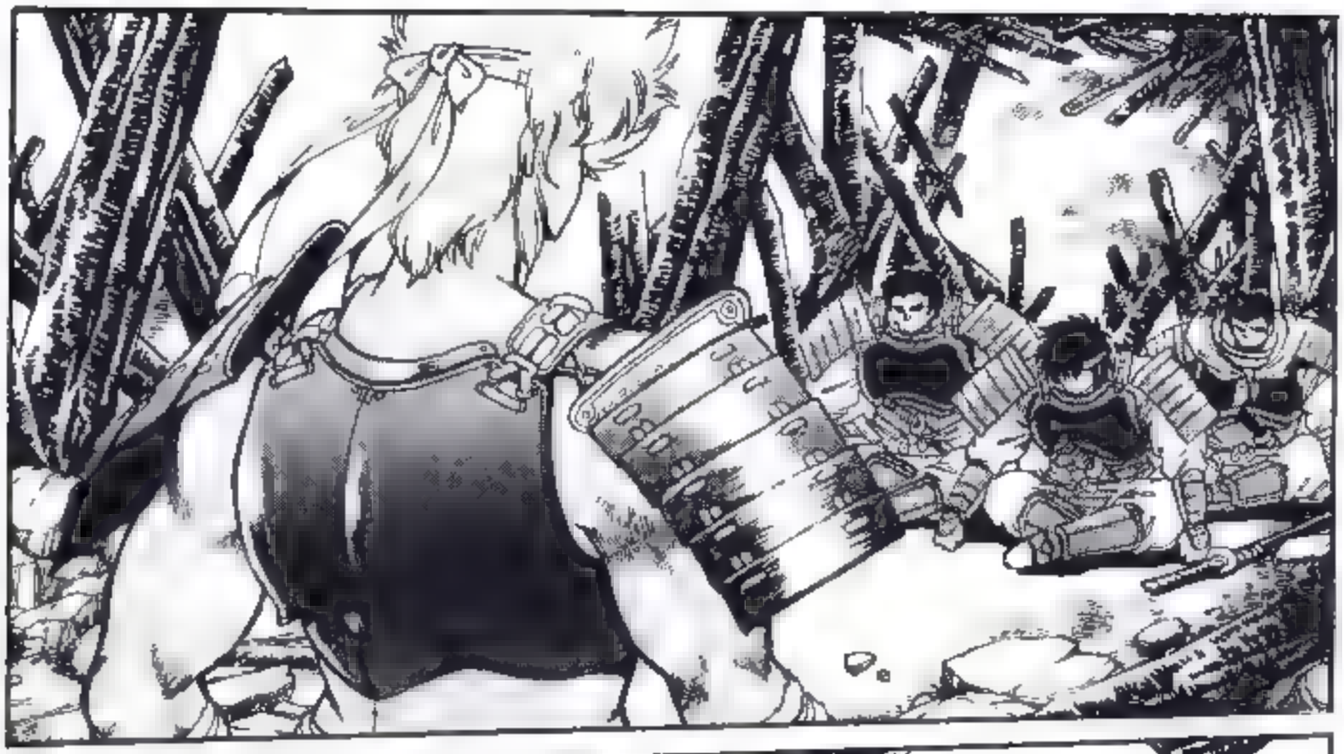
こいつは
どーいうことだよ
何もねーじゃ
ねーか！
他の弾薬庫も
同じです
そんな…！
ここは敵の
大拠点だぞ
!?
地下の
燃料タンクも
空でしたぜ
燃料・弾薬を
処分した様子は
ねえ
ここは元々
空城だった
ようです
くっ…！
捕虜を
連れてこい！
おう！
いいか
俺の聞くことに
正直に答えろ
そうすりゃ
悪い様には
しねえよ

燃料・弾薬はどこに隠してある!?
何がおかしい！死にたいのか!?
これが笑わずにいられるか
飢えた五丈軍がやっとの思いで手に入れたのがこの空城とはな
空城だと？うそをつけ！座王都は南天の城門だ！守り切るにはそれだけの軍需物資がいるはずだ！
どうせおまえさんらはここより先には進めん
五丈の艦隊は腹をすかして足まともつれとる…自滅するやつらにほどこしする気はない！
このやろいわしておけばほざきやがって!!

やっちまえ師団長!!
やめろ! よさねえか!!
こんな連中生かしておく必要はねえぜ!
おまえさん達は罠にはまったのさ もうすぐ袋の口はとじられここから逃げることはできん
なにいっ!!
五丈の狼刃といえば名将と聞いていたがただのうつけ者のようじゃわ
同じ女将でも兵法・智略とも我が智の正宗様とは雲泥の差じゃな!

ちくしょうてめえら！全員ぶち殺してやる!!
人をなめやがって——っ!!
いけねえ師団長！
やめろ!!
うるせえだまってろ!!
おいっおまえらかまうことはねえ
捕虜からなにから血祭りだ城に火をかけろ
おうっそうこなくっちゃ!!
バカヤロウまちやがれ!!

な…
なんだ!?
ヤイカガシ
ぎゃあっ
9000もの南人軍の
捕虜・負傷兵は
一人残らず
なで斬りにされた
一部は
血の海の中で
炎上した

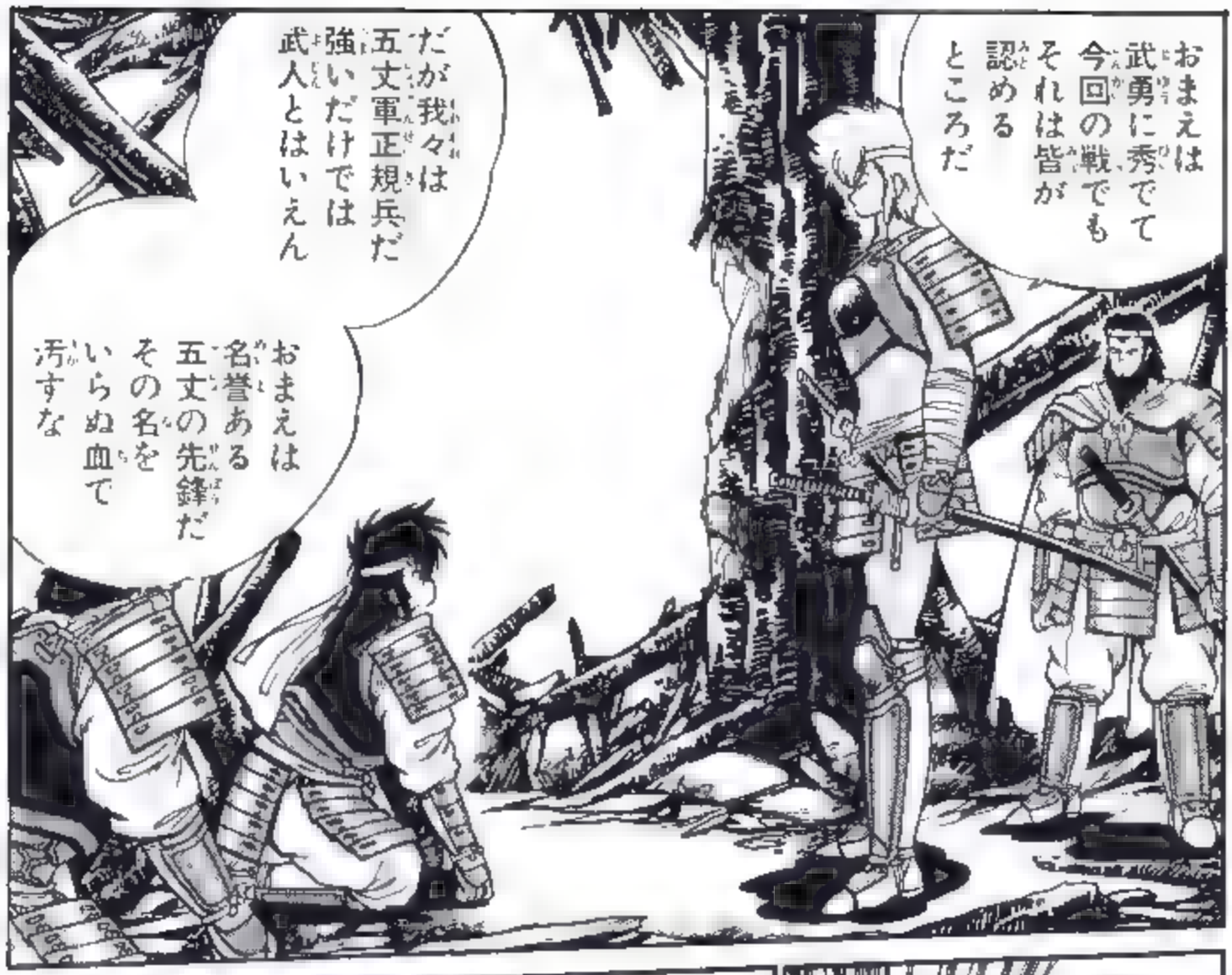


雷
このあり様は
いったい
どーいうことだ

え？
どう見ても
丸腰の兵や
負傷兵を
斬ったとしか
見えんぞ!!
説明しろ!!
けど…
こいつら
俺達のことを
さんざんバカに
しやがったんだ！
空の城を
攻めたとか
飢えた野良犬。
だとか…!!

俺達は
必死に戦って
この城を獲ったんだぜ!!
あれじゃ
死んだ仲間をも
バカにされたと
同じだ!!
それで
連中を
なで斬りに
したのか…!!
あ――っ
許せねえよ!!
ハァハァ!!
な…なに
しやがんだ!!
だまれ
この恥知らずが
そこに
なおれ!!

お待ち下され
将軍!!
孟閑!
おまえが
ついていて
この様は
なんだ!!
副長失格だぞ!!
お言葉
ごもっともですが
雷殿はまだ若く
血気にはやりやすく
ございます
しかも
敵はさんざん
将軍の悪口をいい…
恩ある将軍が
辱められたと
あっては 怒りを
こらえきれないのも
しかたありませぬ
!
師団長を
諫められ
なかったは
この私の責任
この孟閑こそ
罪を負うべきて
ございます!
……
よくわかった
もういい
座王都一番乗りの
功もあるしな
だが雷
これだけは
覚えておけ


おまえは
武勇に秀でて
今回の戦でも
それは皆が
認める
ところだ
だが我々は
五丈軍正規兵だ
強いだけでは
武人とはいえん
おまえは
名誉ある
五丈の先鋒だ
その名を
いらぬ血で
汚すな

もういいぞ
ゆっくり兵を
休めろ
け…けど
まだ弾薬も
燃料も…!!
後の事は
あたしがやる
それより
その顔を
先ってこい
さっぱりしたら
司令部にこい
はっ…!

兄きー
元気出してよー
何か食べなきゃ
死んじゃうよ
ほら――っ！
いや いいって
何か食欲が
ねえんだ
なんだ
おまえらしく
ないぞ
上官にどやされんの
なれてるだろ
別に将軍に
怒られたから
ショゲてるん
じゃねーよ！
俺の一言で
3000人の首を
はねちまった
たった一言で…
何か今まで
うまく
いきすぎて
自分が師団長
だってことを
忘れちまって
たな…
逆に俺の
足りねえ部分の
せいで 部下を
みんな失うって
こともあるんだ
連中が俺に
命を預けても
かまわねえって
男に
ならなきゃな
大丈夫だよ
オイラ前から
兄きに命
預けてんだよ
な！
雲海
え？
そりゃあ
まあ…

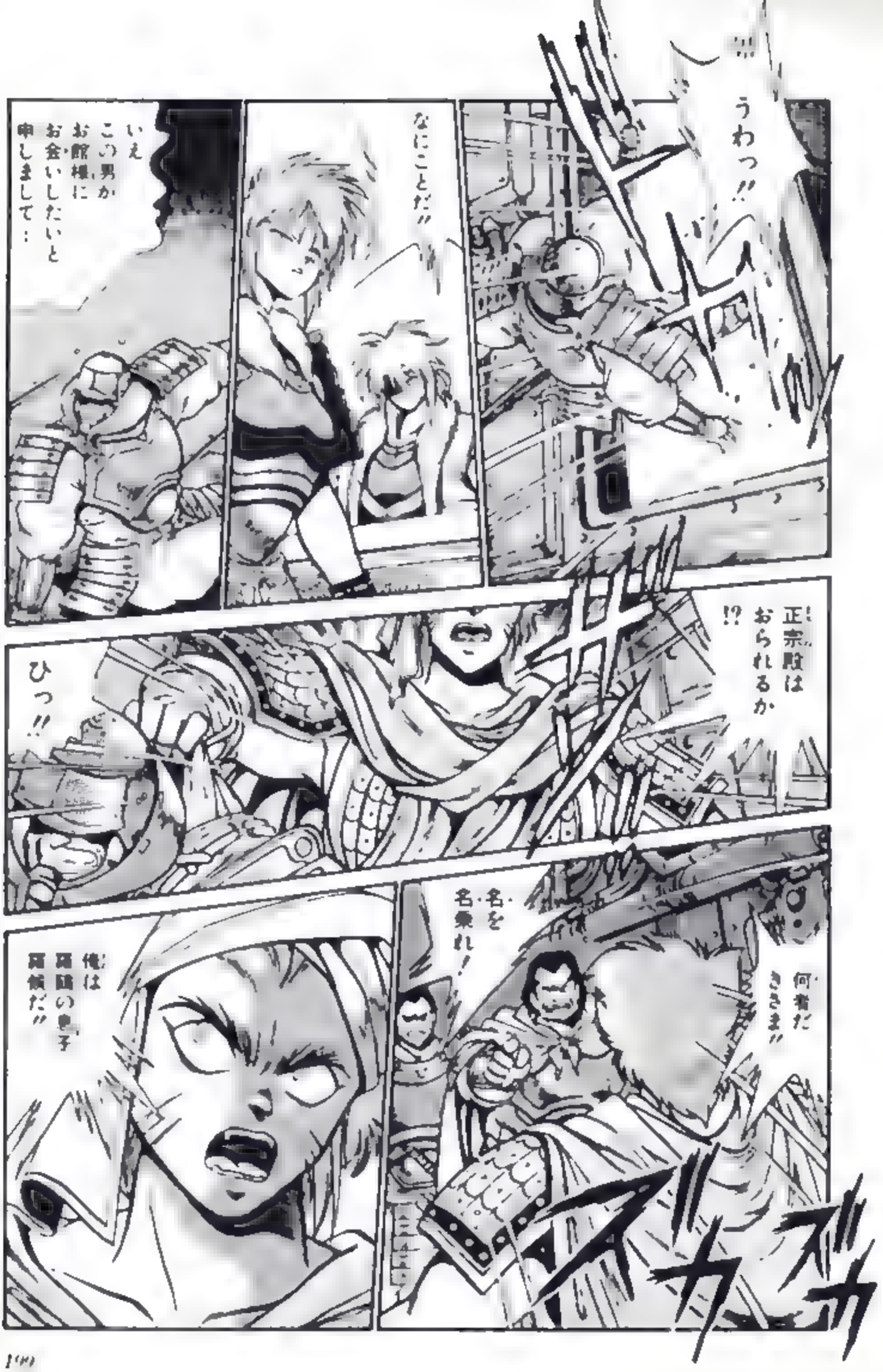
雲海――っ!!
あ――っ
スマンスマン
俺も預けるって
孟閣!
さっきは
すまなかったな
礼を言うぜ
いや…
我々こそ
今までの無礼を
お許し下さい
我々一同
皆あんたに
命を預けますぜ

いや…
その前に
俺はあんた達に
あやまんなきゃ
いけねえ…
俺が短気なせいで
四〇七七の名に
泥を塗っちまってよ…
さっきの事は
もう忘れ
ましょうぜ
だれとて
欠点はある
逆に俺が
連中を斬ってた
かもしれん
欠点は
長所で
補えば
いいし
欠点のある者
同士
補いあって
組織として
完全なら
かまわねえ
俺達は
師団という家を
造るレンガの
ようなもの
レンガ一つ一つの
形がいびつでも
そのすき間を
皆の破片で
埋めていけば
立派な家が
建ちますぜ
家となった
からには
崩れる時は
皆一緒だ
俺達は常に
あんたと共に
ある！

ああ…
これからも
よろしく
頼むぜ！
よかったじゃ
ねーか
雷！
うぶっ！
さあ元気出して
狼刃将軍っとこ
行ってこい！
おうっ！
とけ
とけーっ

孟闇様
このわしからも
礼をいいます
お主
霊海とか
いったな
師団長とは
長いつき合いの
ようだが…
師団長のことを
どう思う？
まあ
見ての通りの
男できあ
ただ…
ただ？
この乱世という
時を得れば
竜にでも虎にでも
なれる男だと
このナマグサは
見ています
竜にでも
虎にでもか…
俺も
最初に合った時
あいつの目を見て
そう思った

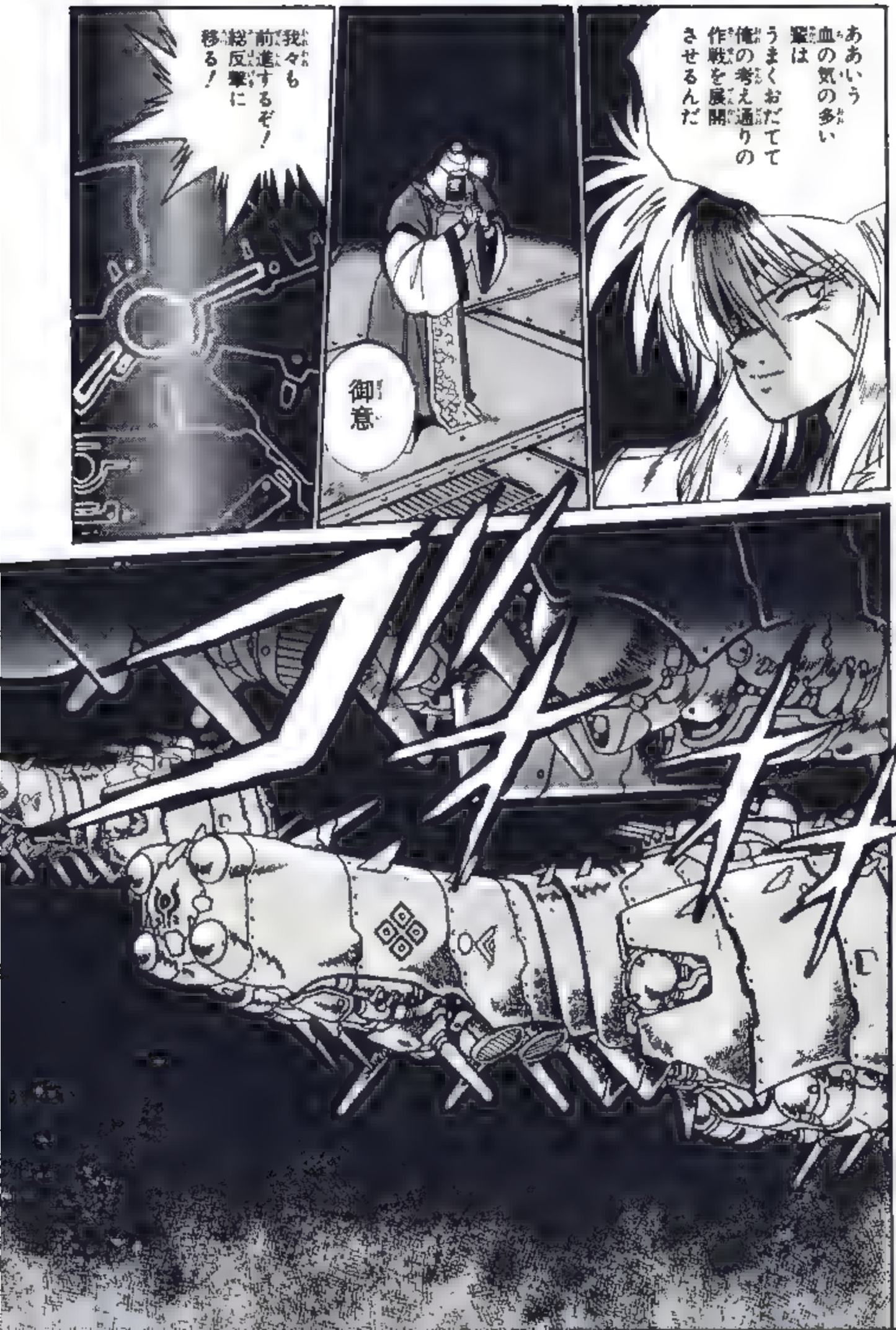
座王都が陥たか…
三日はもちこたえられると思ったが…
こっちのスケジュール表が狂ったぞ
まずいですねまだ包囲網が完成してません
前線から下がった部隊を回す予定でしたが時間が…
今のままじゃ楽々後方に脱出されます
だからといってこの本隊の兵力はさけないぞ
！


うわっ!!
なにごとだ!!
いえ この男が お館様に お会いしたいと 申しまして…
正宗殿は おられるか!?
ひっ!!
何者だ きさま!!
名を 名乗れ!
俺は 羅刹の息子 羅候だ!!

ほう
あの羅鶴殿の
ご子息か
いつ本艦に？
知らせてくれれば
出迎えたものを
そんなことは
どうでもけっこう
俺は陣替えを
頼みにきた！
陣替え？
南天軍の
布陣は
五国が討議して
決めたこと
むやみな
陣替えは
混乱を
招くだけだ
正宗殿！
座王都包囲陣
ただちに
我が軍に
明け渡して
ほしい！
それは
御免こうむる
なぜだ!!
敵将は
我が父を討った
狼刃だぞ!!
今仇を討たねば
どうする!!

だまれ！
南天軍の
総大将は
この正宗だ
私怨のために
軽々しく
陣替えできるか!!
な…！
お館様
願ったりじゃ
ないですか
陣替えの件
認めてやって
下さい
それに
奴に恩を
売れば
後々役に
立ちますよ
わかってる
だから
少し
ジラして
やってるんだ
羅候殿
貴殿の
兵力は？
本国より
精鋭7個師団
連れてきた
弔い合戦で
意気は上がって
いる！
いいだろう
特別に
陣替えを
認めよう
本当で
ござるか
かたじけない！

ただし
大がかりな
陣替えは
敵に脱出路を
与える
それ故
羅候殿は
我が軍と合流し
その大将となり
包囲陣をしいて
くれ
それがしを
包囲陣の
大将に！
貴殿の
父の仇を
討ちたいとの
気持ちは
重々承知
総大将の責任に
おいて貴殿に
おまかせしよう
感謝いたす
これで父の
遺恨を
晴らせまする
ては！
僧李！
はっ！
おまえは
副将として
羅候と共に
行け！
常に奴を
見張れ！
ははっ！

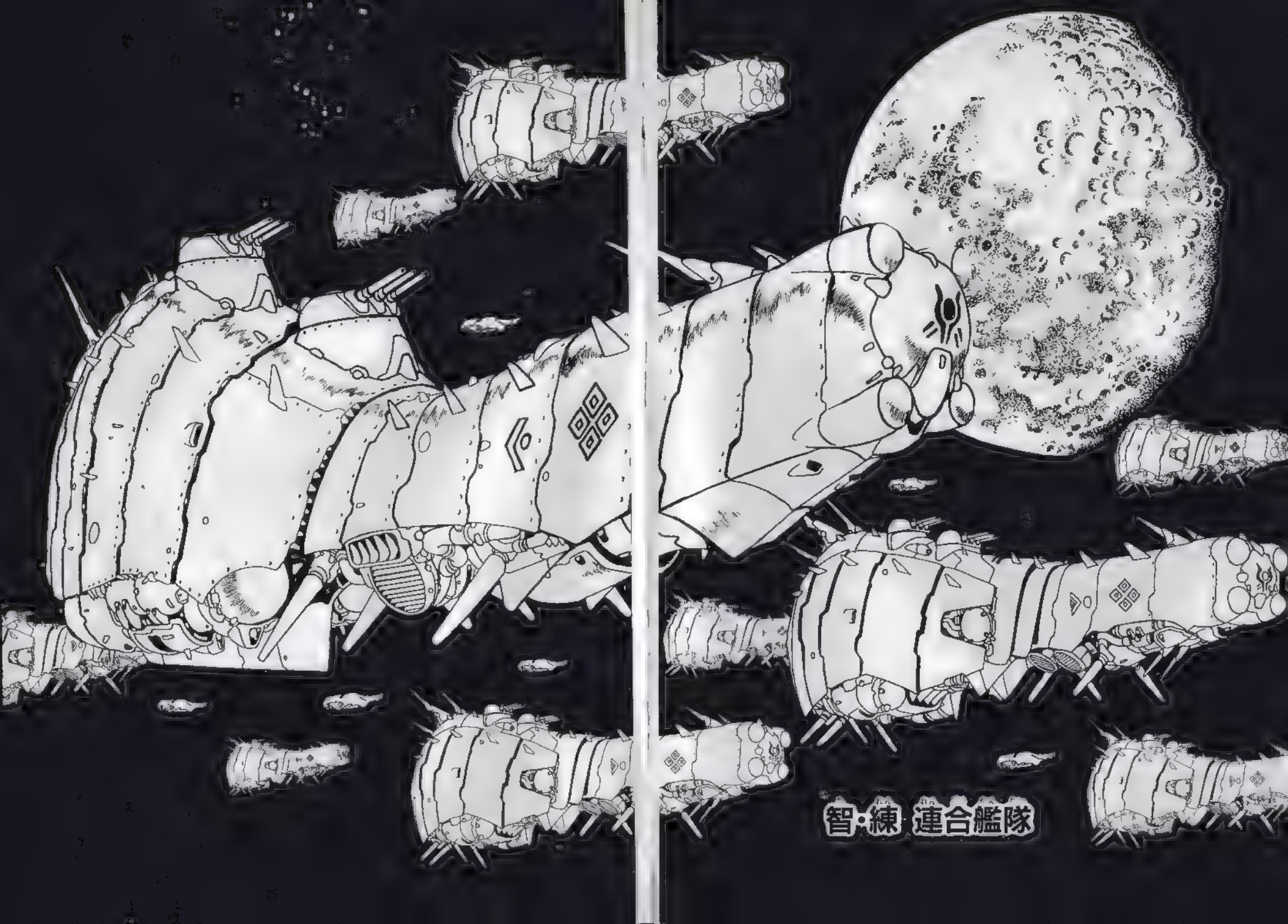

ああいう
血の気の多い
輩は
うまくおだてて
俺の考え通りの
作戦を展開
させるんだ
御意
我々も
前進するぞ！
総反撃に
移る！

ここが空城だったとは…
南天最大の要害にしては いとも簡単に陥るわけだ
このような空城など捨て置き南帝閣を目指すべきです！
いや 今の補給状態ではとてももたん
この座王都は南帝閣ののど元 後続軍が到着するまでここを守る方がいい
将軍！燃料・弾薬共に全力出撃1回分です
補給状態は日増しに悪化していきます…
補給線がのびきった上に骸羅軍が食い潰しているようです

…ったく
あのバカは
…で
その骸羅軍は
どこに
いるんだ？
座王都より
三日の距離で
敵と交戦中です
戦況は？
かんばしくない
ようです
あちらも
補給状態は最悪
のようです
どうやら
南天軍の主力は
我々を素通りさせ
骸羅軍に攻撃を
集中している
ようですな
ざまあみろと
いってやりたいが
今我々が分断
させられると
こっちが
干上がるぞ
将軍！
こうなったら
俺達も討って出て
敵の主力を
骸羅軍と挟み撃ち
するのが一番だぜ
燃料・弾薬が
乏しいが
雷の言う通りだ
後方に下がり
補給線を確保して
体勢を立て直そう

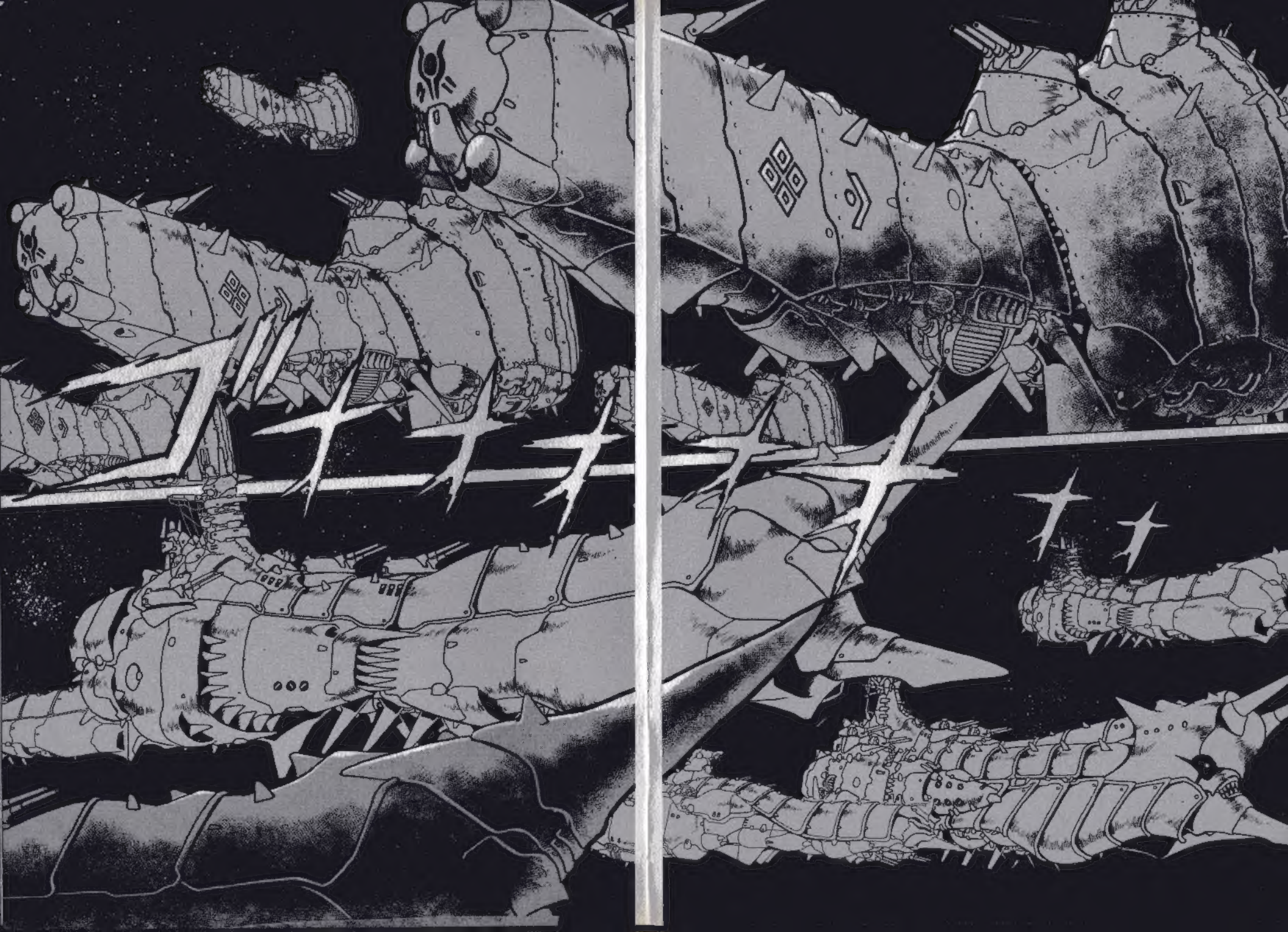
申し上げます!!
南天軍艦隊が現れました!! 急いで艦にお戻り下さい!
何っ!!
してその数は!? 兵力は!?
20個師団は下らないものと……
20個師団!?
そんな大兵力どこから…
罠だ!
連中は我々をここに封じ込めるつもりだ!!

よし 出陣だ
こんな空城と心中する気はない！
敵中突破し骸羅軍と連絡をつける！
おう!!
急げ！
こんな城にかまうな!!
乗船しろ!!
雷!!
これからが正念場だぞ!!
まかしとけって
南天軍なんか
蹴散らしてやらあっ!!


智:練 連合艦隊

五丈のやつら
我々に気付いた
ようですな
発火信号が
いそがしく
なったようだ
狼刃め
生かしては
おかん！
父の仇は
必ず討つ!!

ならば
御自由に
戦いなされ
雷殿が
総大将です
言われる
までも
ないわ！
弾切れの
鉄砲など
連合軍
なくとも
純国軍だけでも
充分でしょう
もとより
そのつもりだ
狙うは
狼刃の首
一つ!!
いけ
っ!!



COMP COMICS DX

# 銀河戦国群雄伝ライ②

著者——真鍋譲治

1991年3月10日 初版発行
1991年12月5日 5版発行

発行者——角川春樹
発行所——株式会社角川書店
東京都千代田区富士見2-13-3
電話03-3817-8521(営業) 03-3221-9461(編集)
振替口座 東京3-195208

装幀——朝倉哲也+design CREST
印刷・製本——共同印刷株式会社

©JOJI MANABE 1991 禁・無断転載・複製

初出／月刊コミックコンプ90年5月号—10月号

落丁・乱丁はお取り替えいたします
ISBN4-04-712013-8 C0379
Printed in Japan

めたもる伊介
❶
中津賢也

西遊少女隊
❶
山本貴嗣

宇宙英雄物語
❶〜❸
伊東岳彦

COMP COMICS
コンプコミックス B6判
既刊ラインナップ

1・2・3で
キメてあげる
❶〜❸
大宮直依

ヤンキー
❶〜❸
山本よしふみ

刑事剣士
Xガリバー
❶〜❸
藤原昌幸